

平成24年度 土岐市市民意識調査報告書

岐阜県 土岐市

目 次

1	調査の概要	1
2	回答者の属性	2
3	市政に対する満足度と今後への期待	6
4	まちの暮らしやすさについて	16
5	男女共同参画について	20
6	公共交通について	24
7	個別の施策・項目について	26
8	自由意見	42
9	参考資料（市民意識調査調査票）	74

1 調査の概要

調査の目的

土岐市では、まちづくりを進めていくための指針となる第五次土岐市総合計画を策定し、平成18年度から平成27年度を計画期間として、それに基づいて市政運営を進めています。

この調査は、第五次土岐市総合計画の施策の大綱である「協働のまちづくりの推進」、「情報共有の推進」を進めるための施策として、市民意見・ニーズを的確に把握することを目的とし、あわせて、総合計画の進捗を図ることを目的に、土岐市の住みやすさや市で行っている施策の満足度等を伺うものです。

調査対象・調査方法

この調査は、平成24年12月1日現在で土岐市に在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した2,000名を対象としています。

調査方法は、郵送による配布、回収です。

調査実施期間

発 送：平成25年1月11日

締め切り：平成25年1月31日

回収状況

発 送 数： 2,000 通

回 収 数： 784 通

回 収 率： 39.2%

返 送 数： 23 通（あて先不明等）

数値の取扱い

比率はすべて百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

前回調査

平成24年1月に同様の調査を行っており、今回の調査結果とあわせて前回調査結果として記載しています。前回調査は今回と同じく18歳以上の市民2,000人を対象とし、849通の回収がありました（回収率42.5%）。

1 （設問3）年齢については、6ページ以降10代と20代をまとめて「10～20代」として表記しています。（設問4）居住年数についても同様に、1年未満と1～4年、5～9年をまとめて「10年未満」、10～14年と15～19年をまとめて「10～19年」と表記しています。

2 回答者の属性

(設問1) 居住地区

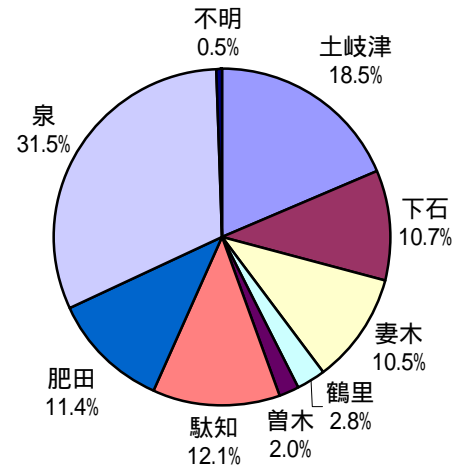
回答者の居住地区は、泉地区が31.5%、土岐津地区が18.5%などとなっており、前回調査と同様に地区別の人口割合とほぼ同様の傾向を示しています。

表．回答者の居住地区

地区	回答者数	割合	前回調査	人口割合
土岐津	145	18.5%	15.9%	16.4%
下石	84	10.7%	11.2%	11.5%
妻木	82	10.5%	11.2%	11.1%
鶴里	22	2.8%	3.2%	2.6%
曾木	16	2.0%	0.8%	1.6%
駄知	95	12.1%	12.2%	14.0%
肥田	89	11.4%	12.1%	10.7%
泉	247	31.5%	32.7%	32.2%
不明	4	0.5%	0.6%	
合計	784	100.0%		

人口割合：平成24年11月末住民基本台帳人口の割合

図．回答者の居住地区 N=784



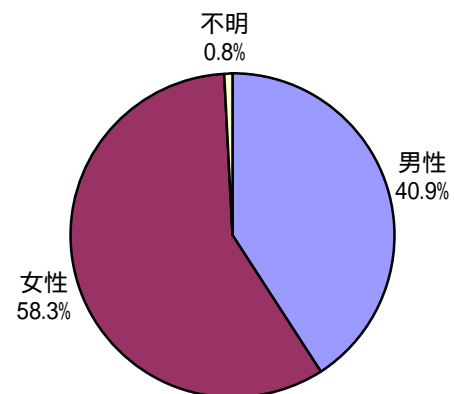
(設問2) 性別

回答者の性別は、女性が58.3%、男性が40.9%となっています。前回調査に比べ、女性の割合が増加し、男性の割合が減少しています。

表．回答者の性別

性別	回答者数	割合	前回調査
男性	321	40.9%	41.5%
女性	457	58.3%	57.4%
不明	6	0.8%	1.2%
合計	784	100.0%	

図．回答者の性別 N=784



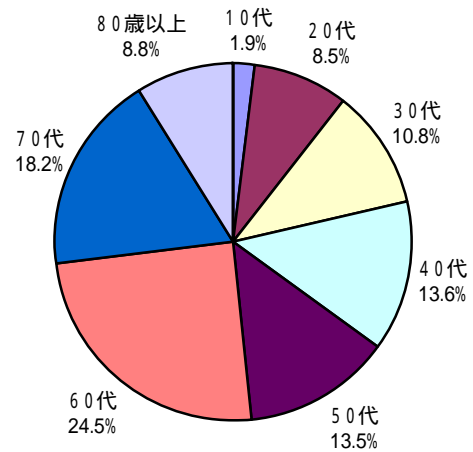
(設問3) 年齢

回答者の年齢は、60代が24.5%、70代が18.2%と多くなっています。前回調査と比較すると60代がやや増加していますが、その他の区分ではほぼ同様の割合となっています。

表．回答者の年齢

年齢区分	回答者数	割合	前回調査
10代	15	1.9%	1.9%
20代	67	8.5%	7.5%
30代	85	10.8%	11.1%
40代	107	13.6%	13.5%
50代	106	13.5%	15.2%
60代	192	24.5%	21.0%
70代	143	18.2%	19.6%
80歳以上	69	8.8%	9.1%
不明	0	0.0%	1.2%
合計	784	100.0%	

図．回答者の年齢 N=784



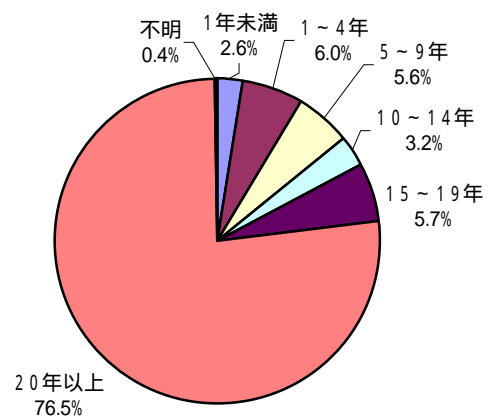
(設問4) 居住年数

回答者の居住年数は、20年以上居住されている方が76.5%と大多数を占めています。前回調査とほぼ同様の割合となっています。

表．回答者の居住年数

居住年数	回答者数	割合	前回調査
1年未満	20	2.6%	3.4%
1～4年	47	6.0%	7.1%
5～9年	44	5.6%	4.0%
10～14年	25	3.2%	3.8%
15～19年	45	5.7%	5.2%
20年以上	600	76.5%	75.3%
不明	3	0.4%	1.3%
合計	784	100.0%	

図．回答者の居住年数 N=784



(設問 5、6) 居住開始・転入理由

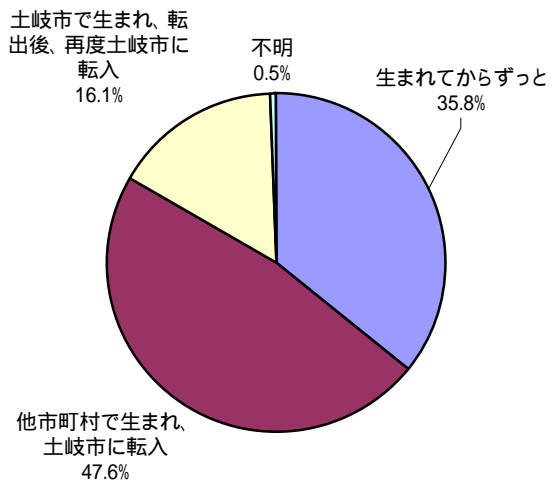
土岐市にいつから住んでいるかについては、「他市町村で生まれ、土岐市に転入」が47.6%と最も多く、「生まれてからずっと」が35.8%と続いています。

「他市町村で生まれ、土岐市に転入」、「土岐市で生まれ、転出後、再度土岐市に転入」と回答された方に対して、転入の理由を尋ねたところ、結婚・離婚が32.9%と最も多く、仕事の都合が29.3%、住宅の取得が14.8%と続きました。

表．回答者の居住開始時期

居住開始時期	回答者数	割合
生まれてからずっと	281	35.8%
他市町村で生まれ、土岐市に転入	373	47.6%
土岐市で生まれ、転出後、再度土岐市に転入	126	16.1%
不明	4	0.5%
合計	784	100.0%

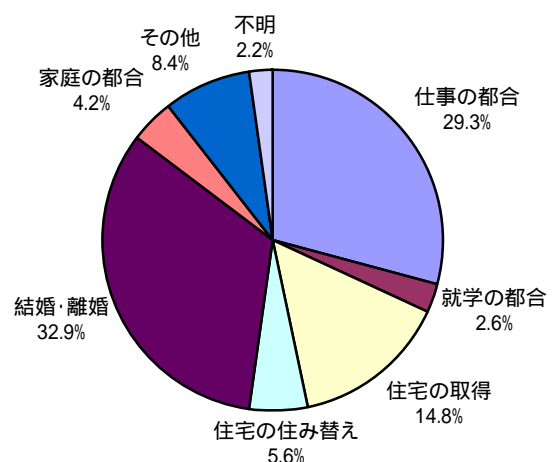
図．回答者の居住開始時期 N=784



表．転入の理由

転入理由	回答者数	割合
仕事の都合	146	29.3%
就学の都合	13	2.6%
住宅の取得	74	14.8%
住宅の住み替え	28	5.6%
結婚・離婚	164	32.9%
家庭の都合	21	4.2%
その他	42	8.4%
不明	11	2.2%
合計	499	100.0%

図．転入の理由 N=499



(設問 7、8) 職業

回答者の職業は、無職（年金生活者を含む）が34.6%、会社員等が26.3%、アルバイト・パートが14.0%の順となっています。60代以上の回答者が多くなったためか前回調査と比べ、無職の割合が増えています。

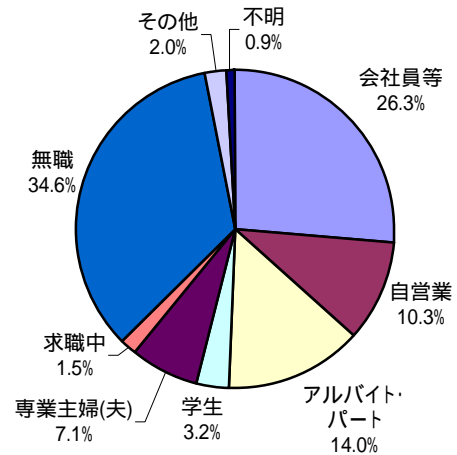
土岐市の地場産業である陶磁器関連の職業に就業する人は仕事を持つ人の18.1%となっています。

表．回答者の職業

職業	回答者数	割合	前回調査
会社員等	206	26.3%	27.6%
自営業	81	10.3%	11.0%
アルバイト・パート	110	14.0%	16.1%
学生	25	3.2%	1.6%
専業主婦(夫)	56	7.1%	6.8%
求職中	12	1.5%	1.2%
無職	271	34.6%	33.2%
その他	16	2.0%	0.6%
不明	7	0.9%	1.9%
合計	784	100.0%	

図．回答者の職業

N=784

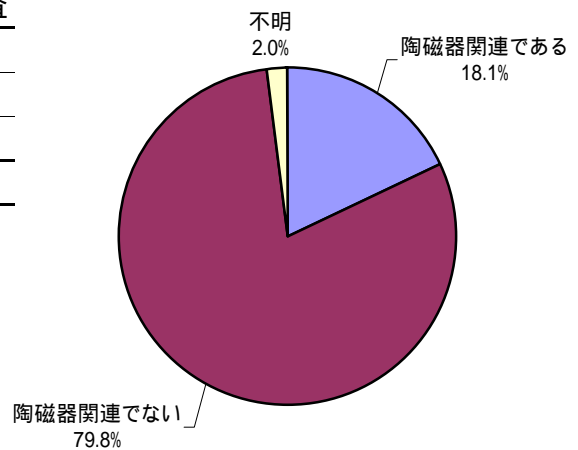


表．陶磁器関連産業の割合

職業	回答者数	割合	前回調査
陶磁器関連である	72	18.1%	19.0%
陶磁器関連でない	317	79.8%	78.4%
不明	8	2.0%	2.6%
合計	397	100.0%	

図．陶磁器関連産業の割合

N=397

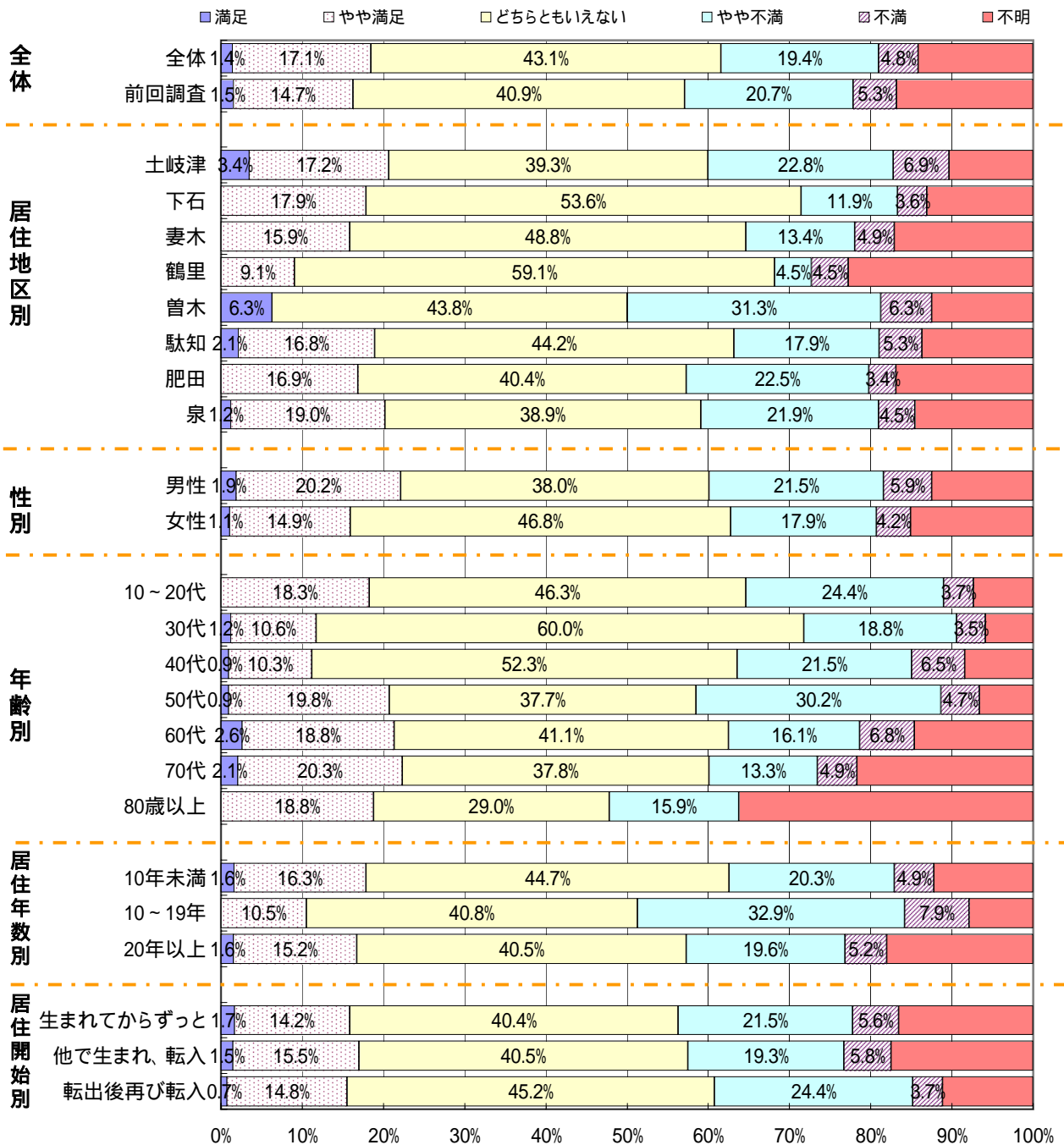


3 市政に対する満足度と今後への期待

(設問9 - 1) 市政を総合的に評価した満足度

市の取り組みを総合的に評価した満足度を5段階で尋ねたところ、「満足」「やや満足」を合わせた満足度は18.5%ですが、「不満」「やや不満」を合わせた不満度は24.2%となり、満足よりも不満と評価する割合が上回っています。前回調査と比較すると「満足」「やや満足」と評価した割合がやや高くなり、「不満」「やや不満」と評価した割合がやや低くなりました。年齢別では、60代と70代以上で満足と評価した割合が高くなり、10～20代、50代では不満と評価した割合が高くなっています。

図．市政を総合的に評価した満足度



(設問9 - 2) 個別施策の満足度・重要度

個別の施策について、満足度と重要度を5段階評価で尋ねました。施策の満足度については、どの項目においても「どちらでもない」の回答が最も多かったのに対し、重要度に関しては、「重要」・「やや重要」の回答が多く、今後の施策に対し高い関心を持っていることがうかがえます。

【満足度・不満度】

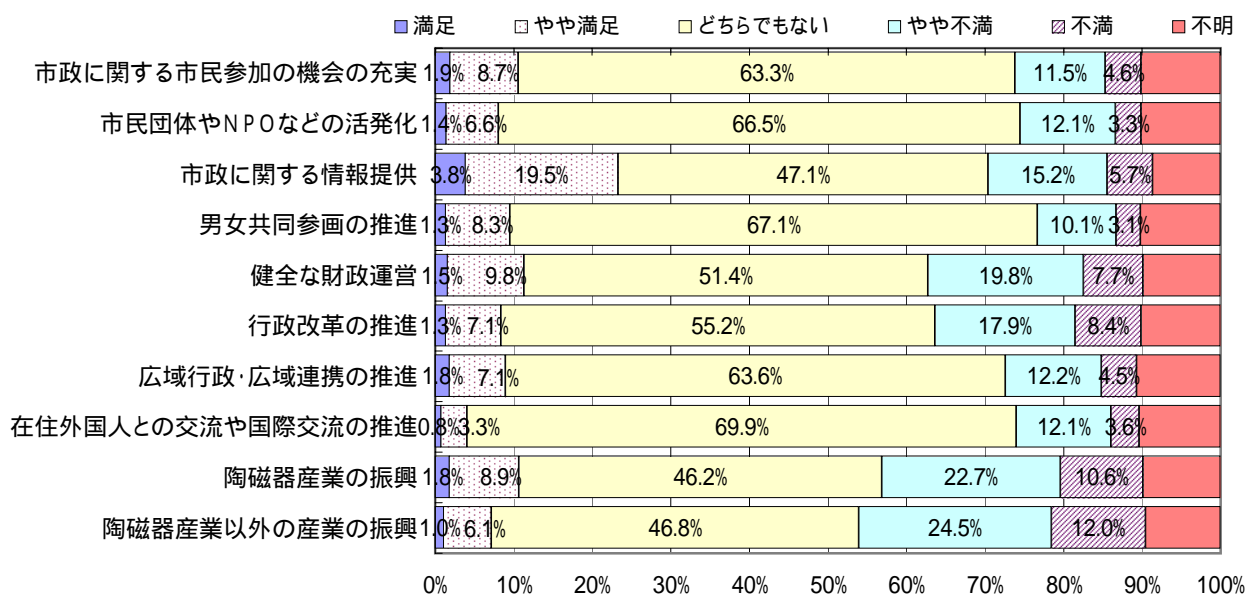
「満足」「やや満足」をあわせた満足度は「ごみ処理対策」が44.1%と最も高く、「資源のリサイクル対策」が40.6%、「上水道の整備」が38.3%と続いています。

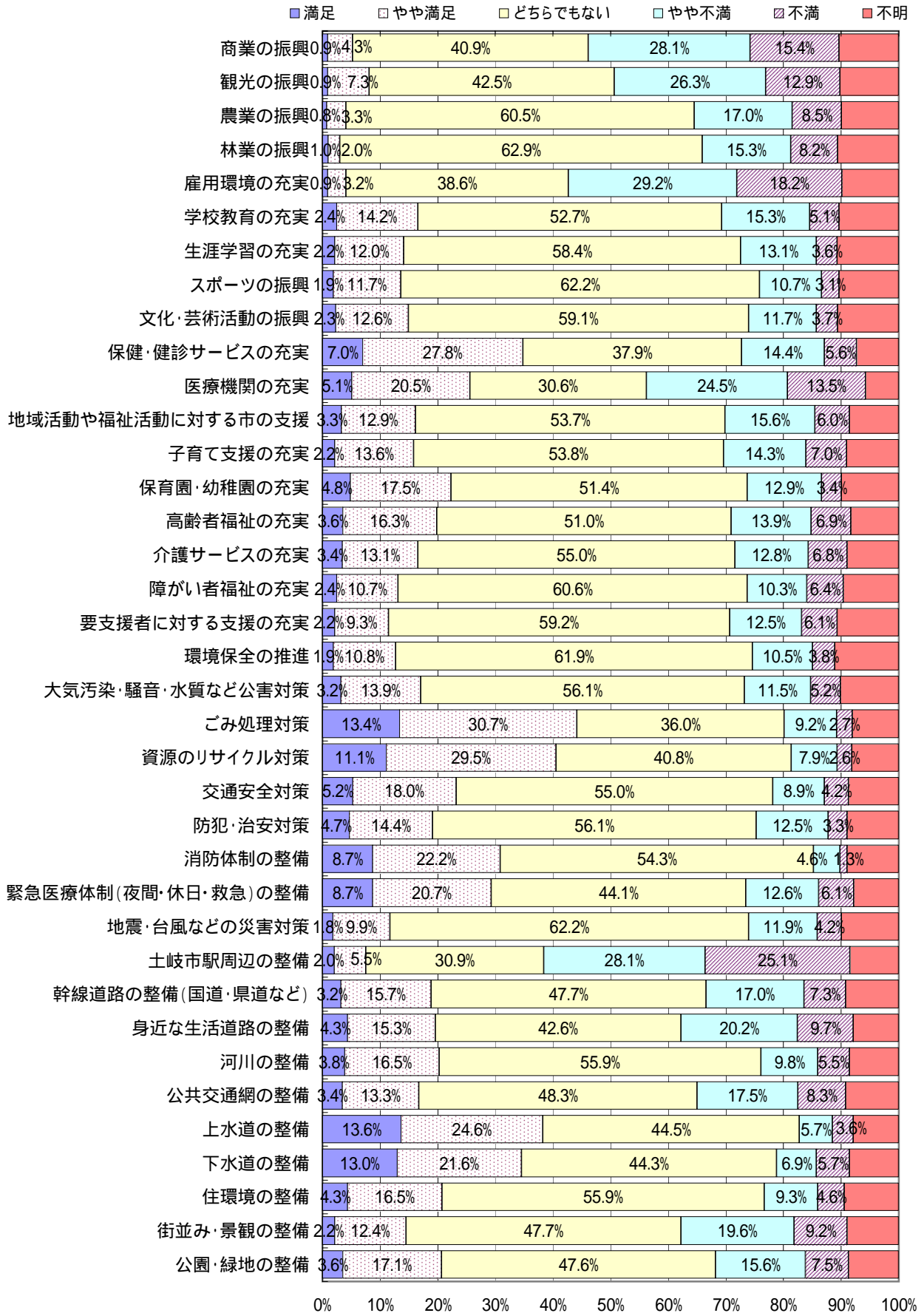
「不満」「やや不満」をあわせた不満度は「土岐市駅周辺の整備」が53.2%と最も不満度が高く、「雇用環境の充実」が47.4%、「商業の振興」が43.5%と続いています。

満足度・不満度の高い項目はいずれも前回調査とほぼ同じ項目になりました。

満足度の高い項目	今回	前回調査
ごみ処理対策	44.1%	44.3%
資源のリサイクル対策	40.6%	39.9%
上水道の整備	38.2%	39.0%
保健・健診サービスの充実	34.8%	35.3%
下水道の整備	34.6%	30.9%
不満度の高い項目	今回	前回調査
土岐市駅周辺の整備	53.2%	53.9%
雇用環境の充実	47.4%	48.6%
商業の振興	43.5%	43.3%
観光の振興	39.2%	38.5%
医療機関の充実	38.0%	38.2%

図．施策の満足度



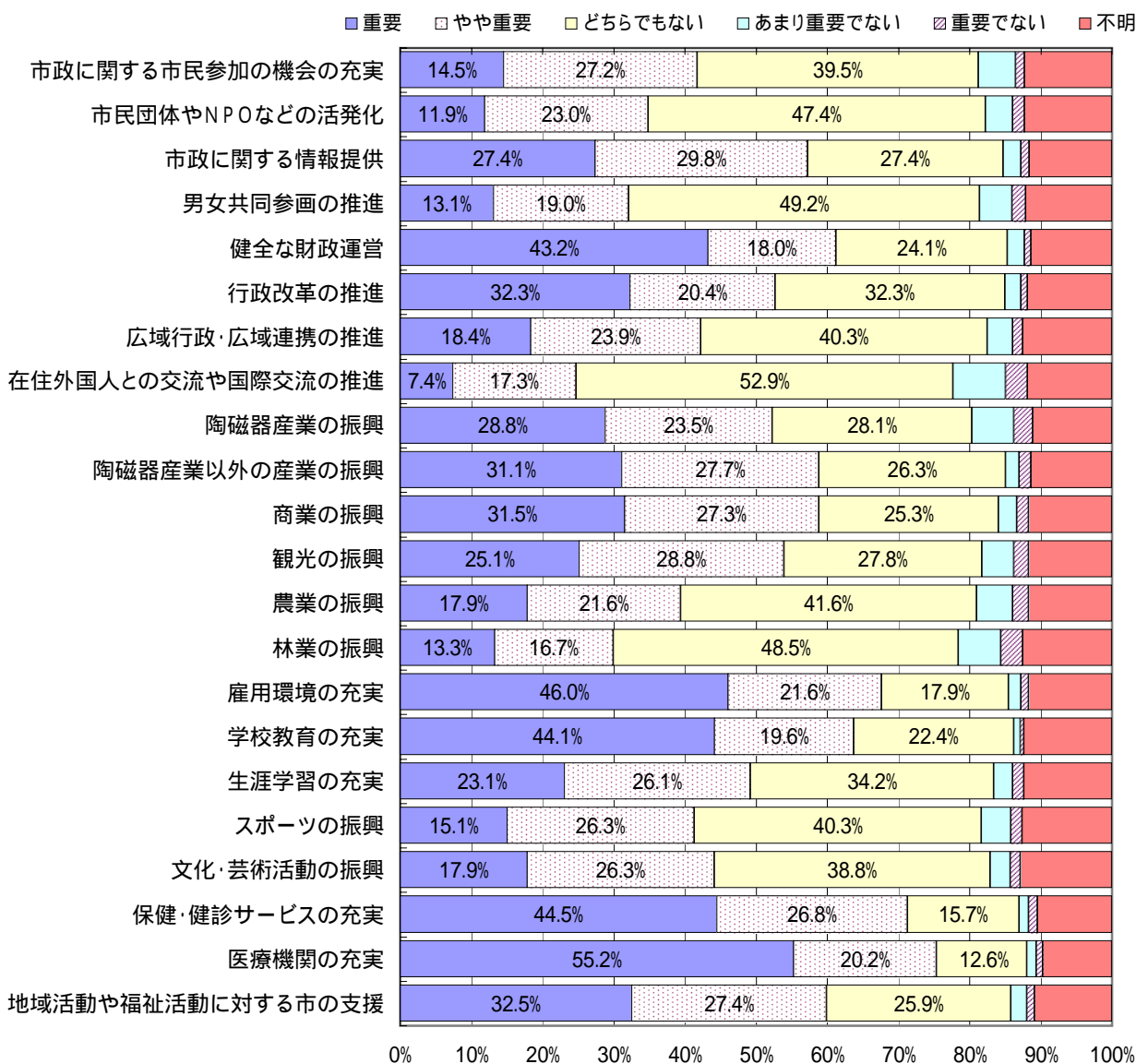


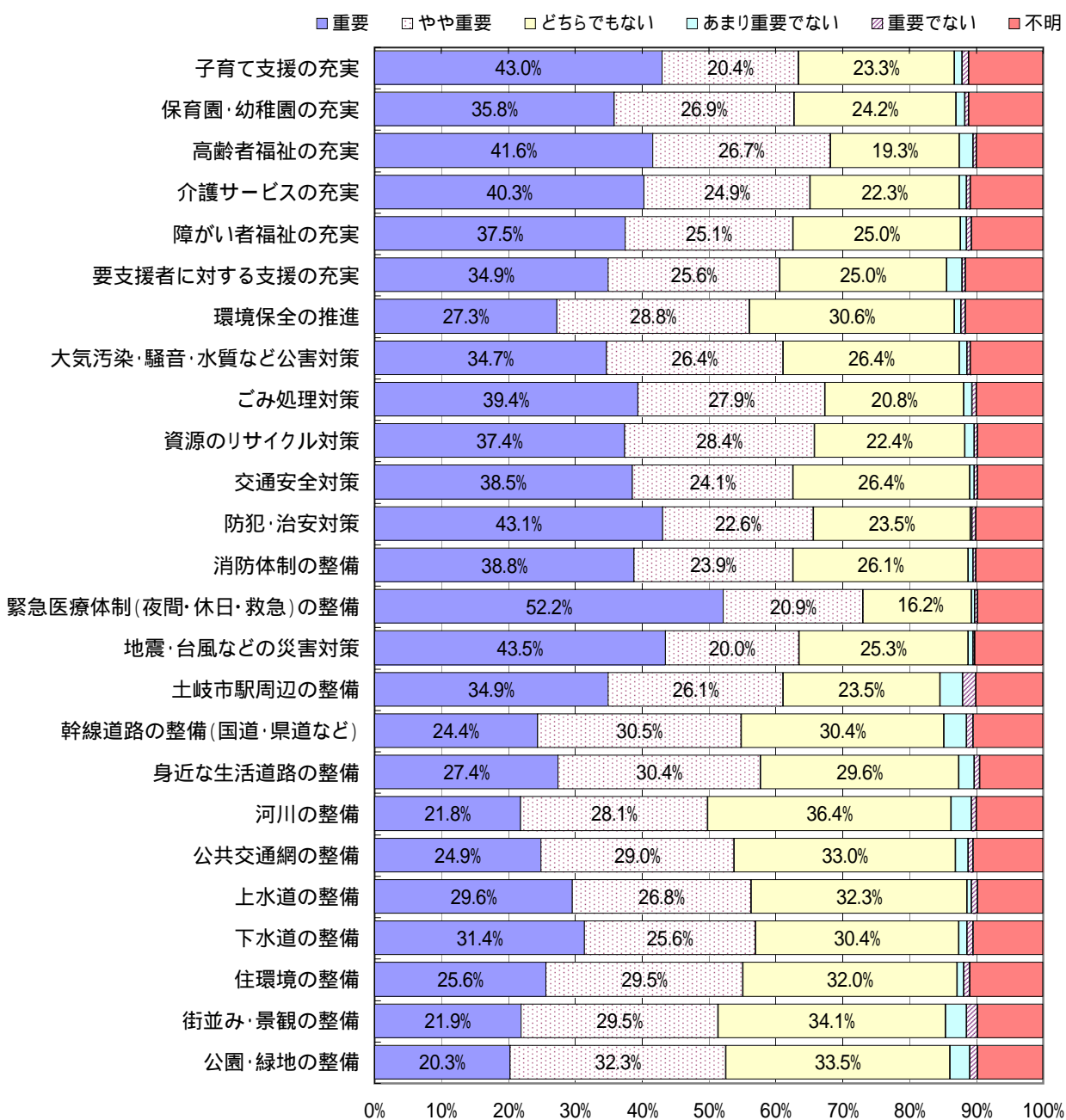
【重要度】

「重要」「やや重要」をあわせた重要度は、「医療機関の充実」が75.4%と最も重要であると評価され、「緊急医療体制の整備」が73.1%、「保健・健診サービスの充実」が71.3%と続いています。前回調査と比較すると、上位の施策については同じ施策があげられていま

重要度の高い項目	今回	前回調査
医療機関の充実	75.4%	医療機関の充実 75.9%
緊急医療体制の整備	73.1%	緊急医療体制の整備 71.8%
保健・健診サービスの充実	71.3%	保健・健診サービスの充実 69.1%
高齢者福祉の充実	68.3%	雇用環境の充実 66.7%
雇用環境の充実	67.6%	高齢者福祉の充実 66.2%

図．施策の重要度





【満足度・重要度指数】

満足度と重要度について、下表のように点数化し、平均値をとったものを、満足度指数、重要度指数と呼び、指数により施策分野別の数値を比較します。

満足度	重要度	点数
満足	重要	+ 1 . 0
やや満足	やや重要	+ 0 . 5
どちらともいえない	どちらともいえない	0
やや不満	あまり重要でない	- 0 . 5
不満	重要でない	- 1 . 0

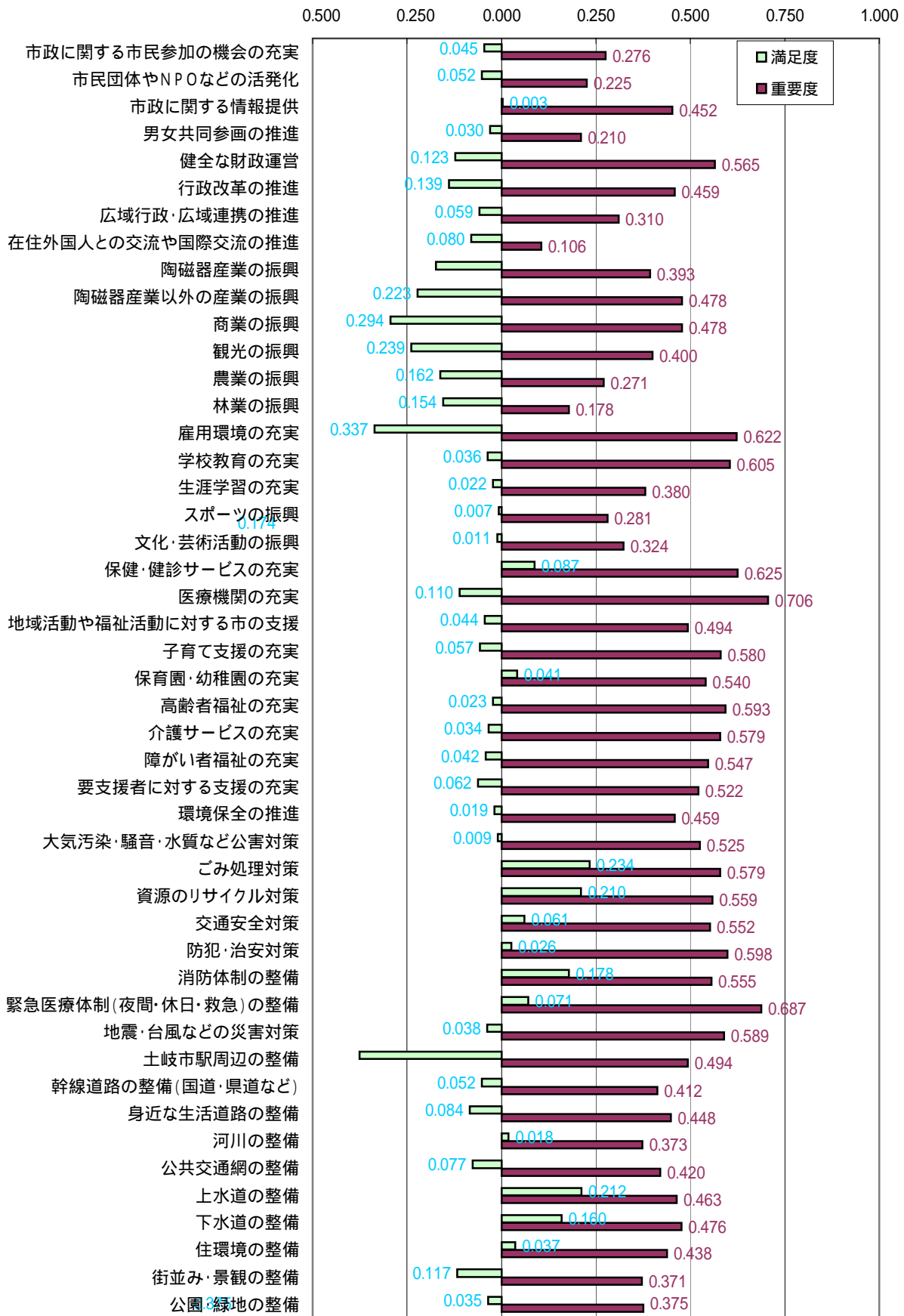
表．施策の満足度指数・重要度指数

凡例) 増加幅が「0.05」より大きい
 減少幅が「0.05」より大きい

項目	満足度			重要度		
	今回	前回	増減	今回	前回	増減
市政に関する市民参加の機会の充実	0.045	0.098	0.052	0.276	0.331	0.054
市民団体やNPOなどの活発化	0.052	0.079	0.027	0.225	0.263	0.038
市政に関する情報提供	0.003	0.034	0.037	0.452	0.474	0.022
男女共同参画の推進	0.030	0.049	0.019	0.210	0.200	0.009
健全な財政運営	0.123	0.194	0.071	0.565	0.600	0.034
行政改革の推進	0.139	0.179	0.040	0.459	0.523	0.065
広域行政・広域連携の推進	0.059	0.093	0.035	0.310	0.339	0.029
在住外国人との交流や国際交流の推進	0.080	0.087	0.007	0.106	0.123	0.018
陶磁器産業の振興	0.174	0.191	0.017	0.393	0.399	0.006
陶磁器産業以外の産業の振興	0.223	0.243	0.020	0.478	0.545	0.067
商業の振興	0.294	0.305	0.011	0.478	0.526	0.048
観光の振興	0.239	0.252	0.013	0.400	0.439	0.039
農業の振興	0.162	0.165	0.003	0.271	0.285	0.014
林業の振興	0.154	0.132	0.022	0.178	0.166	0.011
雇用環境の充実	0.337	0.362	0.025	0.622	0.645	0.023
学校教育の充実	0.036	0.036	0.001	0.605	0.574	0.031
生涯学習の充実	0.022	0.042	0.020	0.380	0.425	0.045
スポーツの振興	0.007	0.003	0.004	0.281	0.321	0.040
文化・芸術活動の振興	0.011	0.029	0.018	0.324	0.319	0.004
保健・健診サービスの充実	0.087	0.048	0.039	0.625	0.637	0.012
医療機関の充実	0.110	0.150	0.040	0.706	0.740	0.035
地域活動や福祉活動に対する市の支援	0.044	0.082	0.038	0.494	0.519	0.026
子育て支援の充実	0.057	0.069	0.012	0.580	0.568	0.012
保育園・幼稚園の充実	0.041	0.016	0.025	0.540	0.520	0.020
高齢者福祉の充実	0.023	0.055	0.032	0.593	0.594	0.001
介護サービスの充実	0.034	0.048	0.013	0.579	0.600	0.021
障がい者福祉の充実	0.042	0.072	0.031	0.547	0.525	0.023
要支援者に対する支援の充実	0.062	0.072	0.010	0.522	0.521	0.000
環境保全の推進	0.019	0.011	0.008	0.459	0.451	0.008
大気汚染・騒音・水質など公害対策	0.009	0.005	0.004	0.525	0.495	0.030
ごみ処理対策	0.234	0.259	0.025	0.579	0.589	0.010
資源のリサイクル対策	0.210	0.240	0.030	0.559	0.533	0.026
交通安全対策	0.061	0.041	0.020	0.552	0.521	0.031
防犯・治安対策	0.026	0.010	0.016	0.598	0.598	0.000
消防体制の整備	0.178	0.162	0.016	0.555	0.543	0.013
緊急医療体制(夜間・休日・救急)の整備	0.071	0.014	0.085	0.687	0.714	0.027
地震・台風などの災害対策	0.038	0.086	0.049	0.589	0.630	0.041
土岐市駅周辺の整備	0.375	0.420	0.045	0.494	0.527	0.033
幹線道路の整備(国道・県道など)	0.052	0.092	0.040	0.412	0.414	0.001
身近な生活道路の整備	0.084	0.119	0.035	0.448	0.467	0.019
河川の整備	0.018	0.017	0.001	0.373	0.385	0.012
公共交通網の整備	0.077	0.112	0.036	0.420	0.425	0.005
上水道の整備	0.212	0.254	0.042	0.463	0.430	0.033
下水道の整備	0.160	0.184	0.024	0.476	0.448	0.029
住環境の整備	0.037	0.048	0.011	0.438	0.403	0.034
街並み・景観の整備	0.117	0.126	0.009	0.371	0.354	0.017
公園・緑地の整備	0.035	0.057	0.022	0.375	0.347	0.028
平均	0.043	0.061	0.018	0.459	0.468	0.009

指数が1に近いほど、満足度・重要度が高いことを示します。

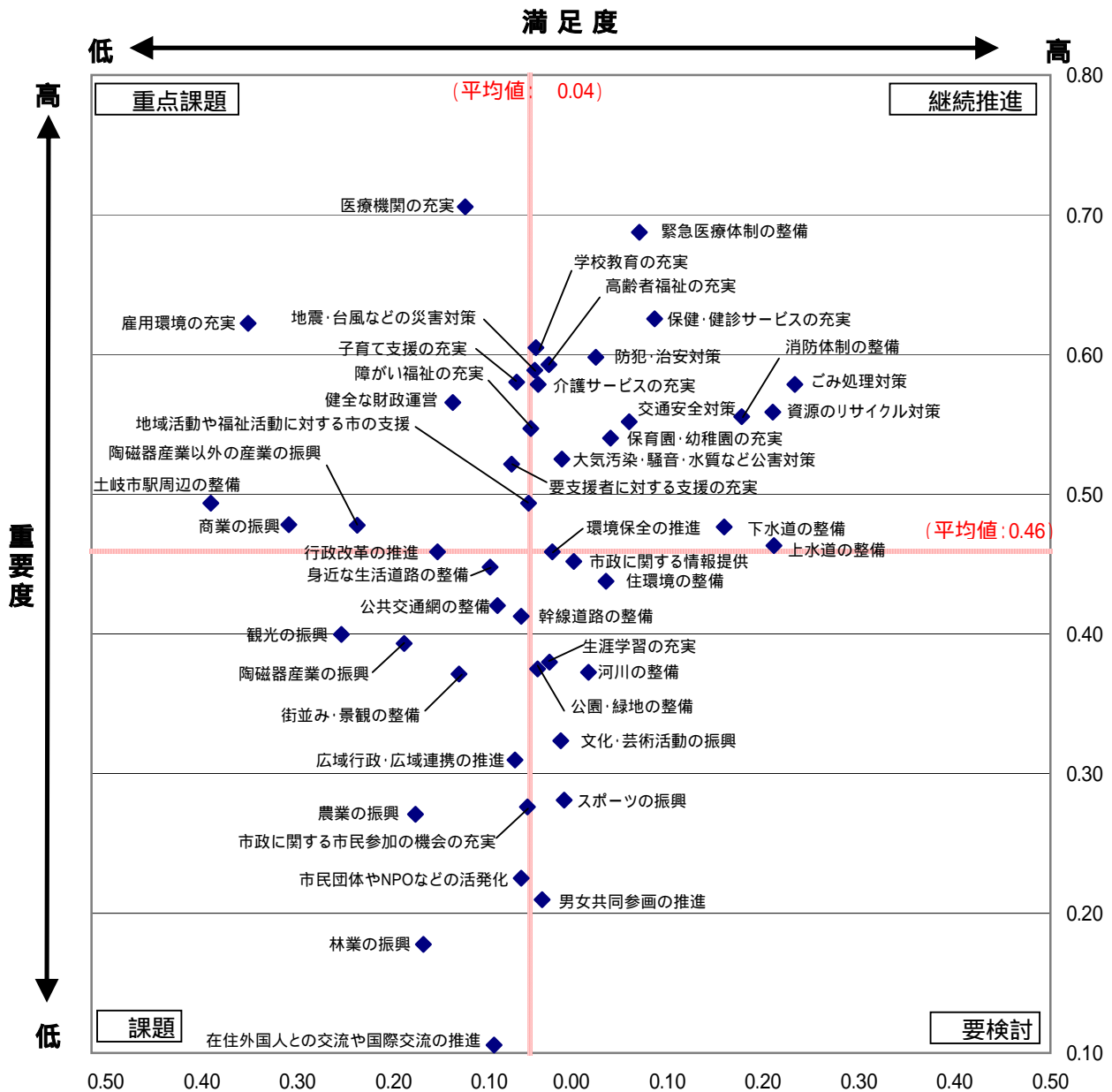
図．施策の満足度指数・重要度指数



【満足度・重要度指数による各施策の評価】

満足度指数と重要度指数を2軸とするマトリクスを用いて各施策の評価を行うと、以下の図のようになります。満足度指数の平均値は“ 0.04 ”、重要度指数の平均値は“ +0.46 ”であり、この平均値で区分される4つの領域のどこに分布しているかで、どの施策を重点的に行っていくかという施策評価の目安が分かります。

図．満足度と重要度指数による施策評価マトリクス



区分	満足度	重要度	施策評価の目安
重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
継続推進	平均以上	平均以上	継続的に満足度を得られるよう施策を推進する
課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であるが、重要度が低いため優先度は低い
要検討	平均以上	平均未満	施策に一定の評価が得られており、継続の必要性を検証する

満足度が低く、重要度の高い 重点課題施策としては、「雇用環境の充実」、「土岐市駅周辺の整備」、「医療機関の充実」などの施策があげられています。

(設問10) 今後推進すべき施策

設問9の47項目の施策のうち、今後特に力を入れて取り組むべき項目を上位3つまで尋ねたところ、「医療機関の充実」が最も多く、次いで「高齢者福祉の充実」があげられました。

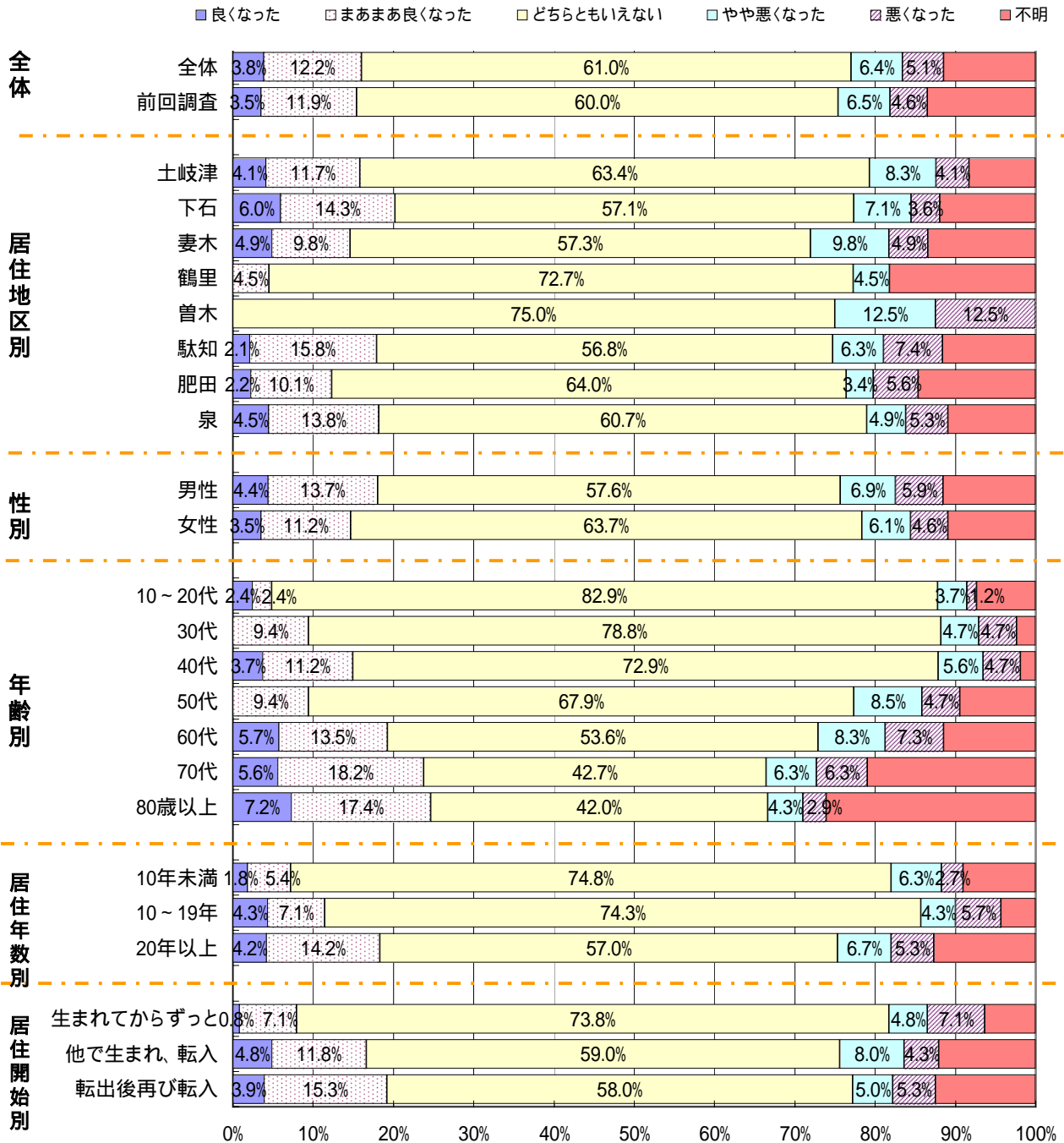
表．今後推進すべき施策

順位	施策	件数	順位	施策	件数
1	医療機関の充実	173	25	市政に関する情報提供	22
2	高齢者福祉の充実	159	25	街並み・景観の整備	22
3	土岐市駅周辺の整備	152	27	公園・緑地の整備	21
4	介護サービスの充実	112	28	住環境の整備	20
5	雇用環境の充実	102	29	文化・芸術活動の振興	18
6	子育て支援の充実	82	29	大気汚染・騒音・水質など公害対策	18
6	緊急医療体制の整備	82	29	ごみ処理対策	18
8	学校教育の充実	77	32	生涯学習の充実	17
9	健全な財政運営	66	33	下水道の整備	16
9	陶磁器産業の振興	66	34	資源のリサイクル対策	14
11	保健・健診サービスの充実	60	35	地域活動や福祉活動に対する市の支援	12
12	地震・台風などの災害対策	59	36	市政に関する市民参加の機会の充実	10
13	保育園・幼稚園の充実	56	36	環境保全の推進	10
13	防犯・治安対策	56	36	河川の整備	10
15	陶磁器産業以外の産業の振興	53	39	市民団体やNPOなどの活発化	8
16	身近な生活道路の整備	51	39	上水道の整備	8
17	商業の振興	43	41	スポーツの振興	7
18	障がい者福祉の充実	38	41	消防体制の整備	7
19	要支援者に対する支援の充実	36	43	男女共同参画の推進	6
20	幹線道路の整備(国道・県道など)	28	44	広域行政・広域連携の推進	4
21	行政改革の推進	26	44	林業の振興	4
21	観光の振興	26	46	農業の振興	3
23	公共交通網の整備	24	47	在住外国人との交流や国際交流の推進	1
24	交通安全対策	23		全体	1,926

(設問11) 市政に対する満足度の5年前との比較

市政に対する満足度を5年前と比較し、5段階評価で尋ねたところ、「良くなった」「まあまあ良くなった」が16.0%と「悪くなった」「やや悪くなった」の11.5%を上回りましたが、前回調査と比較すると「良くなった」「まあまあ良くなった」の割合は高くなっていますが「悪くなった」「やや悪くなった」の割合も高くなっています。地区別でみると、濃南地区で「良くなった」「まあまあ良くなった」の割合が低くなっています。

図・市政に対する満足度の5年前との比較



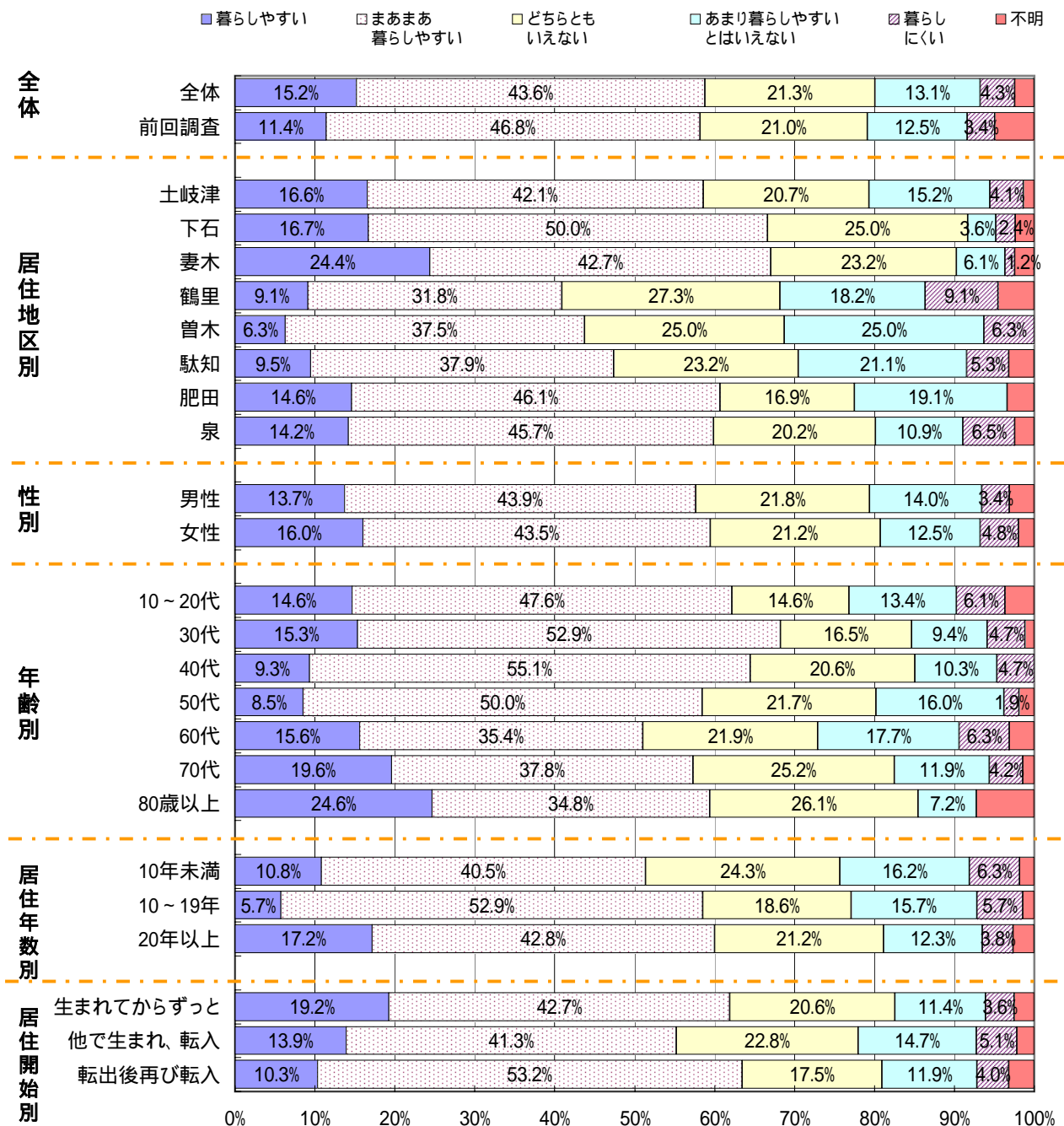
4 まちの暮らしやすさについて

(設問12) 土岐市の暮らしやすさ

土岐市は暮らしやすいまちかどうかを5段階評価で尋ねたところ、「暮らしやすい」「まあまあ暮らしやすい」が58.8%と、「暮らしにくい」「あまり暮らしやすいとはいえない」の17.4%を上回っています。前回調査に比べ、「暮らしやすい」と感じる人の割合が高くなりましたが、それ以上に「暮らしにくい」と感じる人の割合が高くなっています。

居住地区別では、鶴里・曾木・駄知地区で「暮らしやすい」と評価する割合が低くなっており、下石・妻木地区では「暮らしにくい」と評価する人の割合が低くなっています。

図．土岐市の暮らしやすさ

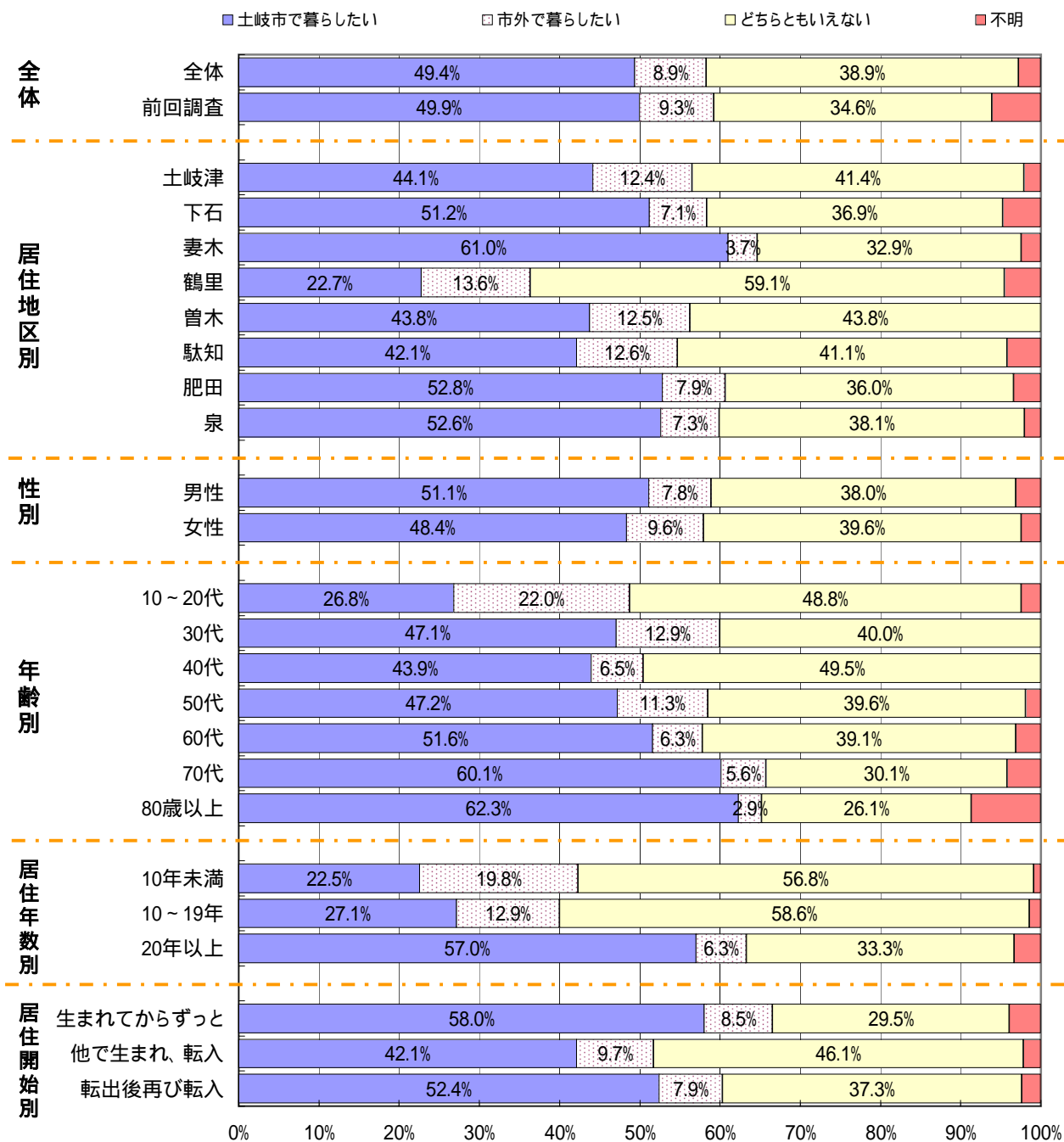


(設問13) 今後の居留意向

今後も土岐市で暮らしたいかどうかを尋ねたところ、「土岐市で暮らしたい」が49.4%と「市外で暮らしたい」の8.9%を上回っています。

居住地区別では、鶴里地区で「土岐市で暮らしたい」の割合が最も低くなっており、妻木地区では最も高くなっています。年齢別では年齢が高くなるほど、「市外で暮らしたい」の割合が低くなっています。また、居住年数別では居住年数が20年以上では「土岐市で暮らしたい」の割合が大幅に高くなっています。

図. 今後の居留意向

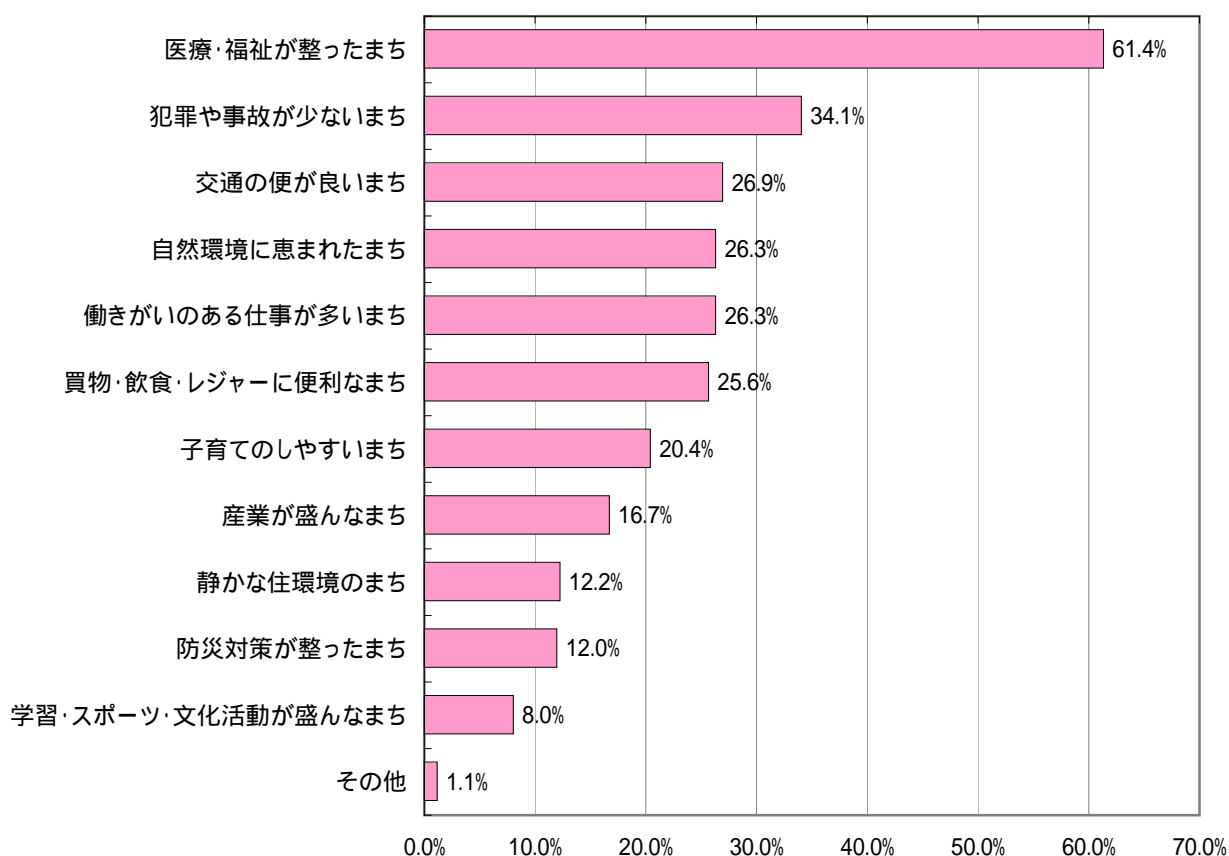


(設問14) 住みたいまち

どんなまちに住みたいかを尋ねたところ、「医療・福祉が整ったまち」が61.4%と最も多く、「犯罪や事故が少ないまち」が34.1%、「交通の便が良いまち」が26.9%と続きました。前回調査も今回と同様に「医療・福祉が整ったまち」、「犯罪・事故が少ないまち」の割合が高くなっています。居住地区別住みたいまち、その他すべての区分別において、「医療・福祉が整ったまち」の割合が最も高くなっています。年齢別では10～40代で「子育てのしやすいまち」の割合が高くなっており、また、60～80代以上で「交通の便が良いまち」の割合が高くなっています。それぞれの年代における住みたいまちの違いがわかります。

図．住みたいまち

N=784 (複数回答)



表．居住地区別住みたいまち (上位3つ)

	1位	2位	3位
土岐津	医療・福祉 (67.6%)	犯罪、事故 (33.8%)	自然環境 (27.6%)
下石	医療・福祉 (65.5%)	犯罪、事故 (44.0%)	仕事 (32.1%)
妻木	医療・福祉 (62.2%)	犯罪、事故 (39.0%)	買物・飲食 (25.6%)
鶴里	医療・福祉 (54.5%)	自然環境、買物・飲食 (31.8%)	犯罪・事故、交通の便 (27.3%)
曾木	医療・福祉 (62.5%)	仕事 (56.3%)	交通の便 (37.5%)
駄知	医療・福祉 (53.7%)	交通の便 (38.9%)	買物・飲食 (33.7%)
肥田	医療・福祉 (61.8%)	犯罪、事故 (34.8%)	交通の便、買物・飲食 (28.1%)
泉	医療・福祉 (59.5%)	犯罪、事故 (34.0%)	買物・飲食 (28.3%)

表．性別住みたいまち（上位3つ）

	1位	2位	3位
男性	医療・福祉 (57.3%)	犯罪・事故 (31.5%)	自然環境 (25.2%)
女性	医療・福祉 (64.6%)	犯罪・事故 (35.2%)	交通の便 (30.4%)

表．年齢別住みたいまち（上位3つ）

	1位	2位	3位
10～20代	医療・福祉 (46.3%)	犯罪・事故 (45.1%)	子育て (43.9%)
30代	医療・福祉 (55.3%)	犯罪・事故 (42.4%)	子育て (41.2%)
40代	医療・福祉 (55.1%)	犯罪・事故 (42.1%)	子育て (37.4%)
50代	医療・福祉 (76.4%)	仕事 (35.8%)	犯罪・事故 (34.0%)
60代	医療・福祉 (61.5%)	交通の便 (29.7%)	自然環境 (27.6%)
70代	医療・福祉 (60.1%)	交通の便 (34.3%)	自然環境 (30.1%)
80歳以上	医療・福祉 (75.4%)	犯罪・事故、買物・飲食(34.8%)	交通の便 (30.4%)

表．居住年数別住みたいまち（上位3つ）

	1位	2位	3位
10年未満	医療・福祉 (60.4%)	犯罪・事故 (38.7%)	子育て (36.9%)
10～19年	医療・福祉 (52.9%)	犯罪・事故 (37.1%)	買物・飲食 (31.4%)
20年以上	医療・福祉 (62.5%)	犯罪・事故 (33.0%)	仕事 (27.5%)

表．居住開始別住みたいまち（上位3つ）

	1位	2位	3位
生まれてからずっと	医療・福祉 (58.7%)	犯罪・事故 (37.0%)	交通の便 (29.2%)
他で生まれ、転入	医療・福祉 (61.9%)	犯罪・事故 (32.7%)	自然環境 (27.1%)
転出後再び転入	医療・福祉 (65.9%)	犯罪・事故 (31.7%)	仕事 (30.2%)

その他の内容

- ・あいさつのしやすいまち
- ・光熱費が高すぎるので安くしてほしい。
- ・全国から注目される、独自の取り組みで成果を上げているまち
- ・全体が生き生きとしたまち
- ・無駄のないまち

5 男女共同参画について

(設問15) 世帯構成について

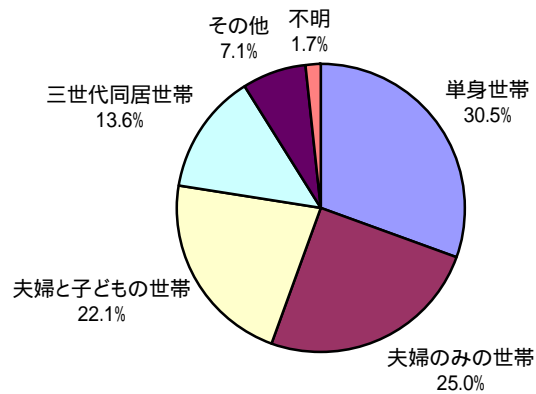
世帯構成について尋ねたところ、単身世帯が最も多く30.5%となり、次いで夫婦のみの世帯が25.0%、夫婦と子どものみの世帯が22.1%となっています。また、三世帯同居世帯は13.6%となっており、核家族の世帯構成割合が高くなっています。

表．世帯構成

性別	回答者数	割合
単身世帯	239	30.5%
夫婦のみの世帯	196	25.0%
夫婦と子どもの世帯	173	22.1%
三世帯同居世帯	107	13.6%
その他	56	7.1%
不明	13	1.7%
合計	784	100.0%

図．世帯構成

N=784

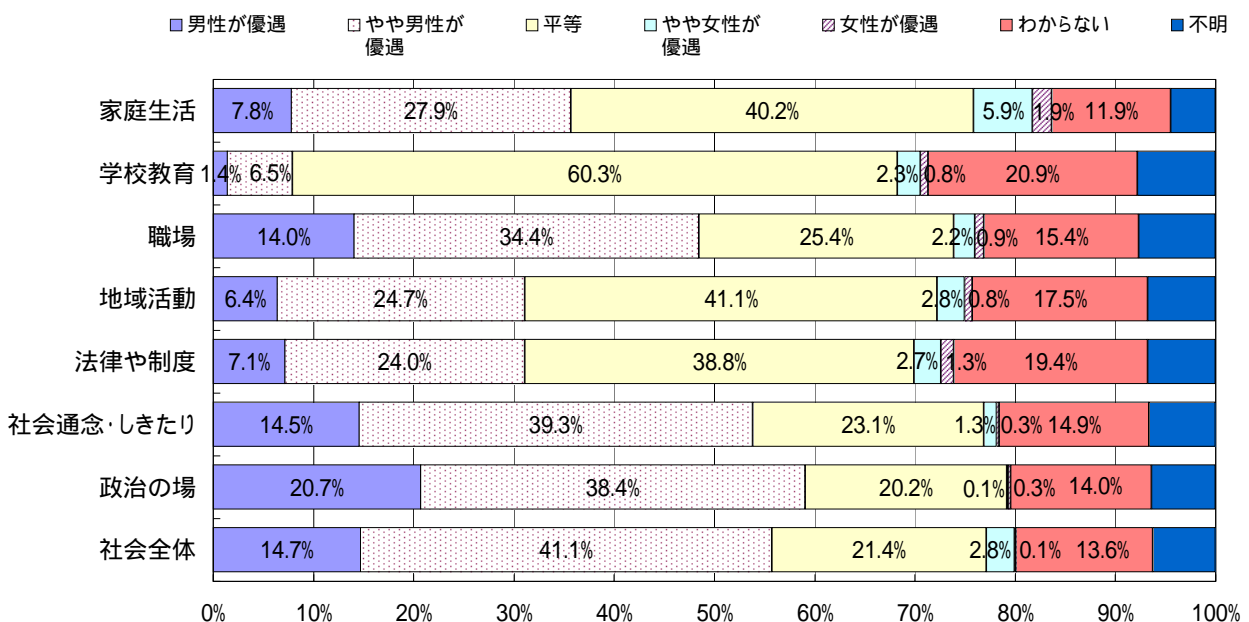


(設問16) 男女の地位について

各分野における男女の地位について尋ねたところ、学校教育の場における男女の地位は、やや男性が優遇されているという回答が多いものの、60.3%の方が「平等」と感じています。それ以外の全ての分野では、「女性が優遇されている」と回答した割合は10%未満となっており、中でも政治の場、社会全体、社会通念やしきたり、職場において、男女間の優遇の差に大きな隔たりが見られる結果になりました。

図．各分野における男女の地位

N = 784



(設問17) 生活全般についての現状と理想

生活全般についての現状と理想について尋ねたところ、現状では「仕事を優先させている」と回答した割合は男性が28.7%、女性が21.2%ですが、理想では男女ともに5%前後となっています。また、「仕事と家庭・地域生活の両立」については、現状の割合では男性が26.2%、女性が28.7%となっていますが、理想としては男性が50.8%、女性が52.7%となっており、現状と理想の間には大きなギャップがあるようです。

図. 生活についての現状 N=784

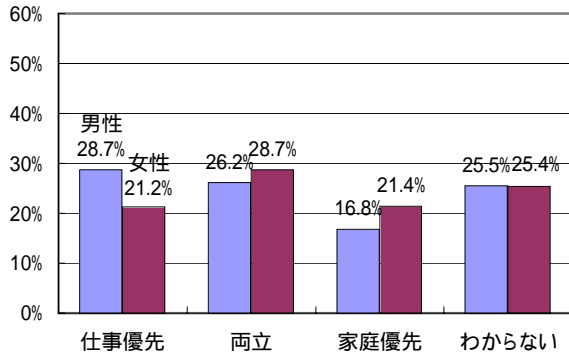
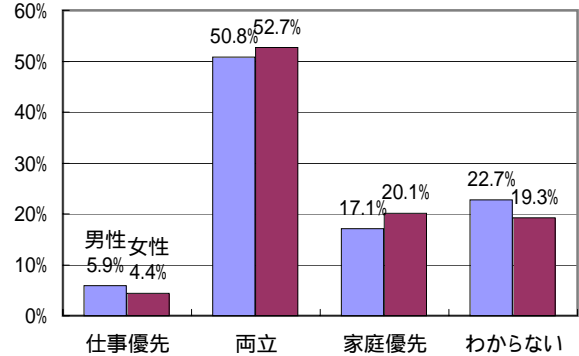


図. 生活についての理想 N=784



(設問18) 結婚、家庭等について

結婚や家庭等についてどう思うかを尋ねたところ、「結婚は個人の自由」に「賛成」・「やや賛成」と回答した割合は、男性よりも女性の方が高くなりました。男性の意見として「子どもをもつ必要はない」に反対する回答は44.2%となり、女性よりも高い割合となりました。また、「夫は仕事、妻は家庭」に反対する女性の割合は38.7%となりました。

図. 結婚、家庭等について (男性) N=321

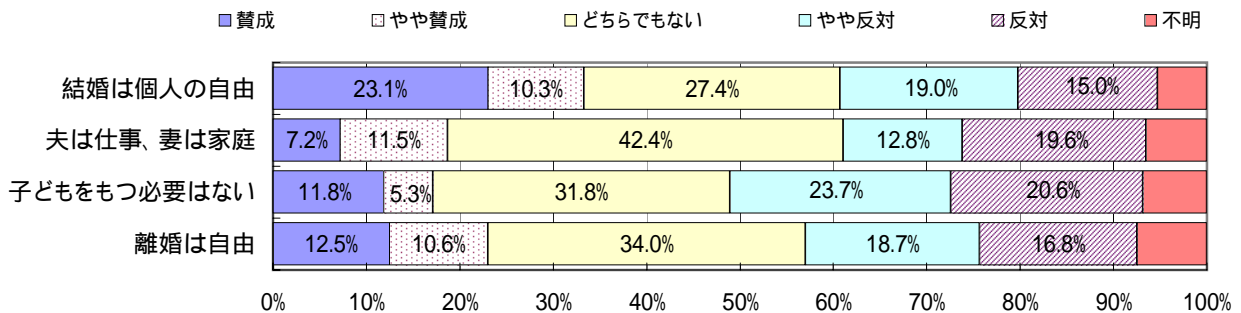
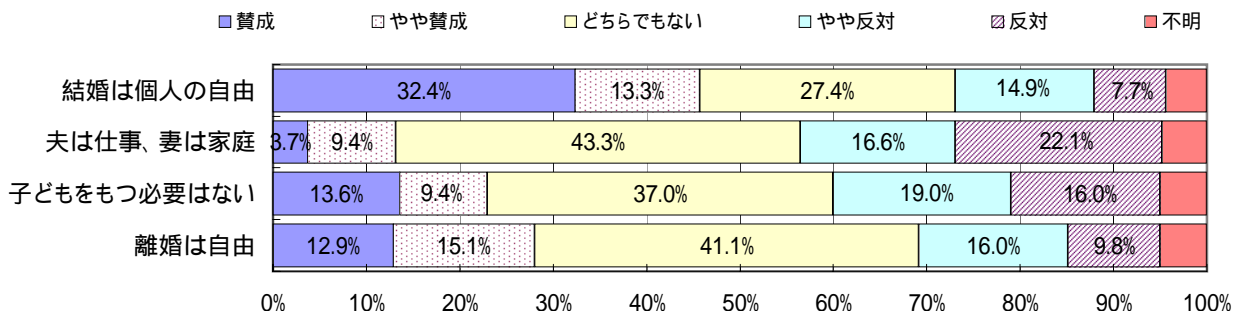


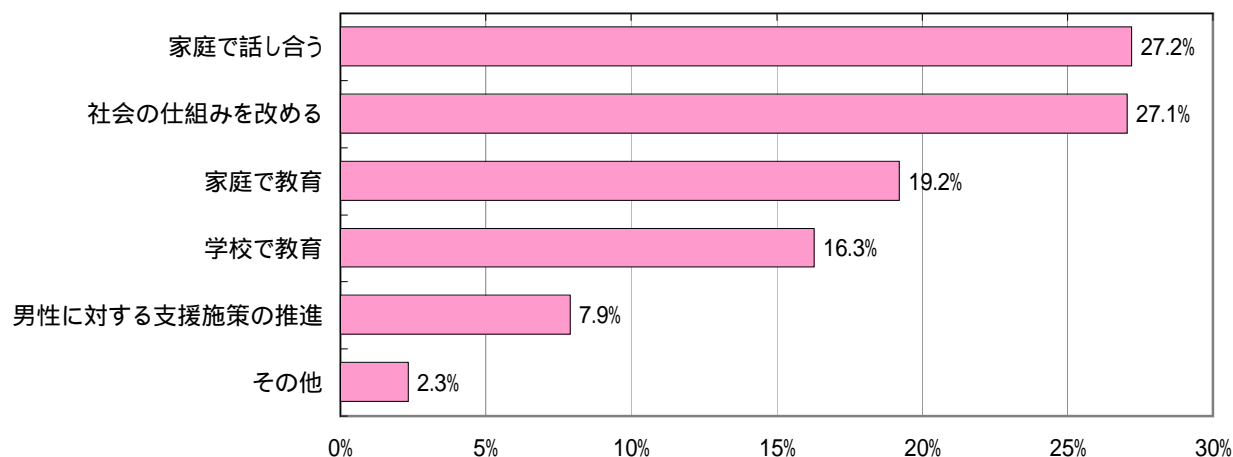
図. 結婚、家庭等について (女性) N=457



(設問19) 男女がともに家庭生活や地域活動に参加していくための取り組み

男女がともに家庭生活や地域活動に参加していくための取り組みについて尋ねたところ、「家庭で話し合う」と回答した割合は27.2%となり、次いで「社会の仕組みを改める」と回答した割合が27.1%と続きました。

図．男女がともに家庭生活や地域活動に参加していくための取り組み N=784 (複数回答)



その他の内容

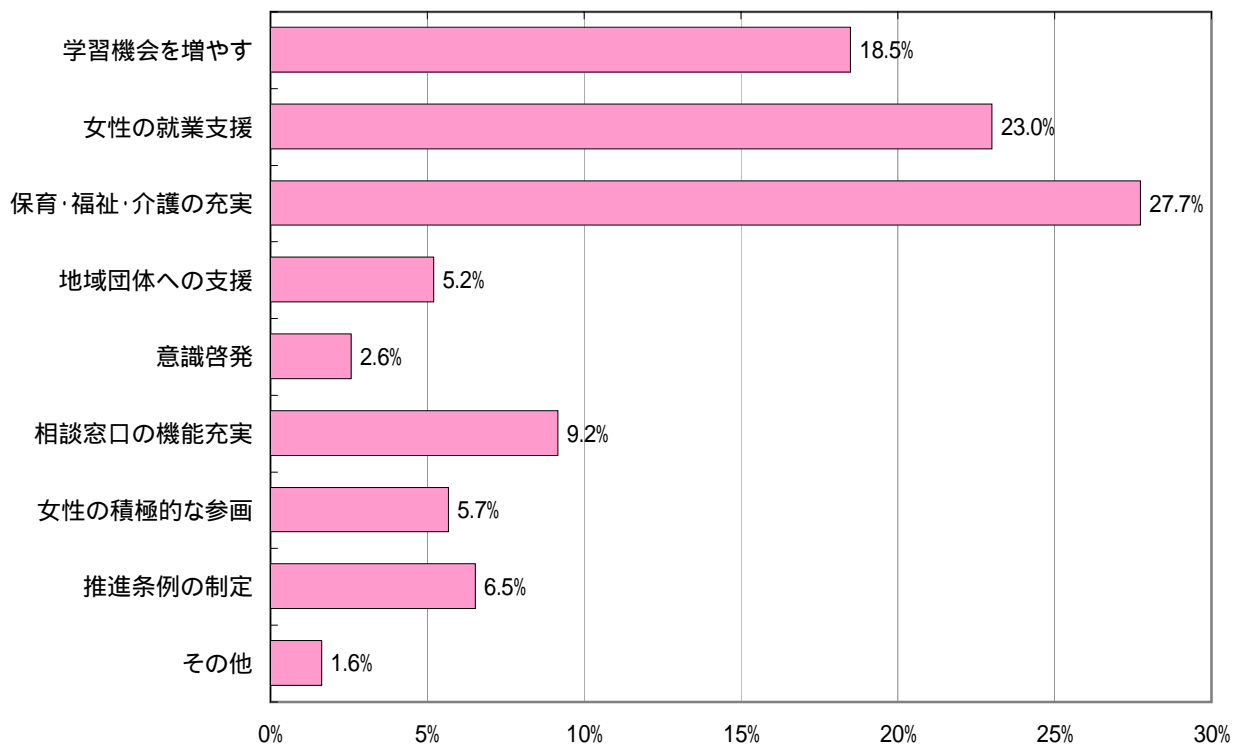
- ・わからない。
- ・倫理(道徳)の良し悪しの判断や思いやりの心を育てることが必要。
- ・やれる人がやればいい。
- ・役割を与えられた時に苦と思わない人間を作る。人のために時間を使ったり、行動したりすることは当たり前と教える。
- ・役割が終わり静かに残りの人生を暮らしている。
- ・平等すぎても上手くいかないのでは。
- ・病児保育・病後児保育の受け入れ、保育時間延長、放課後教室受け入れ時間の拡大など子育ての支援拡大。
- ・成りゆき。
- ・特になし。
- ・地域活動をなくす。
- ・男女平等の精神では、男女の区別はない。質問が軽視そのものである。
- ・地域活動に参加したくない。町民運動会など必要なし。皆仕方なく参加してる。休日にわざわざ他人と関わりたくない。
- ・男性が1人前の給与が取れない中で女性の給与はもっと低い。同じくらいの給与とバランスならば必然的に参加できる。
- ・小学校の放課後教室に休みが多く(振替が休日等)、利用していても仕事を休まざるをえない。
- ・社会の制度を変える。男性に対し強制力を持つしくみで。
- ・高齢化が進んでいるにもかかわらず、土岐市は地域活動が多すぎる。個人や性別によって事情が異なるので一律に参加を促す行為そのものをやめるべき。
- ・家庭生活と町内会活動は同一次元の問題ではない。家庭内のことは家族で話し合うしかない。男性が威張っている封建的な町内会は改善できるのか。
- ・男に逆らうなという年寄りをなくす。

(設問20) 男女共同参画社会の実現に向けて必要と思われる取り組み

男女共同参画社会の実現に向けて必要と思われる取り組みを尋ねたところ、「保育や介護サービスを促進し、福祉・介護施設を充実させる」が27.7%となり、次いで「企業や事業主への啓発活動と、女性の就業を支援する」が23.0%、「学校教育や社会教育、生涯学習の場で男女平等に関する学習の機会を増やす」が18.5%となりました。

図．男女共同参画社会の実現に向けて必要と思われる取り組み

N=784 (複数回答)



その他の内容

- ・企業に補助をし環境を作る。
- ・女性が就業した際のリスクを軽減させる仕組みをつくる。
- ・助成等の増額。
- ・女性を優遇する制度、仕事を廃止すべき。
- ・男女にこだわる考え方をしないことを教育する。
- ・男女平等などと言いすぎない。
- ・男性の育児休暇。
- ・男性の意識改革。
- ・必要かどうかわからない。
- ・平等・公平・差別・区別などの本来の意味をはき違えないように正しく理解する必要がある。
- ・もっと町内などの人たちとのつきあいをしたいが、つつましく暮らしている。

6 公共交通について

(設問 2 1、2 2) 市民バスの利用状況について

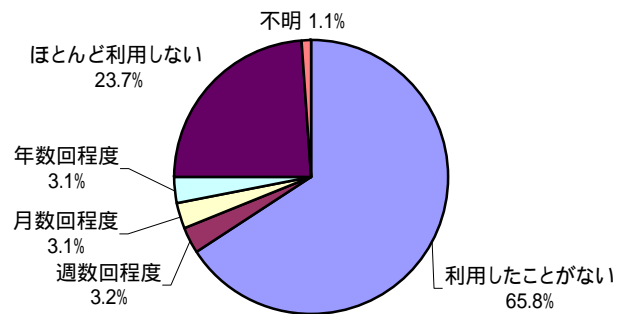
市民バスの利用頻度について尋ねたところ、65.8%が「利用したことがない」、23.7%が「ほとんど利用しない」と回答し、年に数回以上利用する割合は9.4%となっています。また、設問 2 1で市民バスを「利用したことがない」、「ほとんど利用しない」と回答した方が普段利用する交通手段は、「自家用車」と回答した割合が77.9%となり、次いで「家族・知人等による送迎」が6.6%、「徒歩・自転車」が6.1%と、公共交通機関の利用が少ない結果となっています。

表．市民バスの利用頻度

利用頻度	回答者数	割合
利用したことがない	516	65.8%
週数回程度	25	3.2%
月数回程度	24	3.1%
年数回程度	24	3.1%
ほとんど利用しない	186	23.7%
不明	9	1.1%
合計	784	100.0%

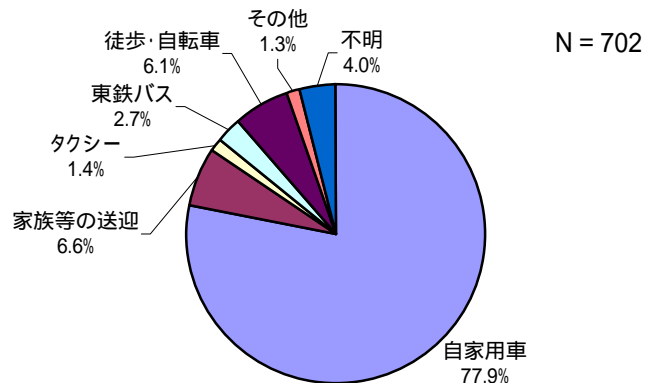
図．市民バスの利用頻度

N=784



図表．設問 2 1で「利用したことがない」、「ほとんど利用しない」と回答した方の交通手段

交通手段	回答者数	割合
自家用車	547	77.9%
家族等の送迎	46	6.6%
タクシー	10	1.4%
東鉄バス	19	2.7%
徒歩・自転車	43	6.1%
その他	9	1.3%
不明	28	4.0%
合計	702	100.0%



(設問 2 3、 2 4) JR土岐市駅の利用状況について

JR土岐市駅の利用状況を尋ねたところ、「年数回程度」利用する割合が39.7%となり、次いで「ほとんど利用しない」が25.0%となりました。

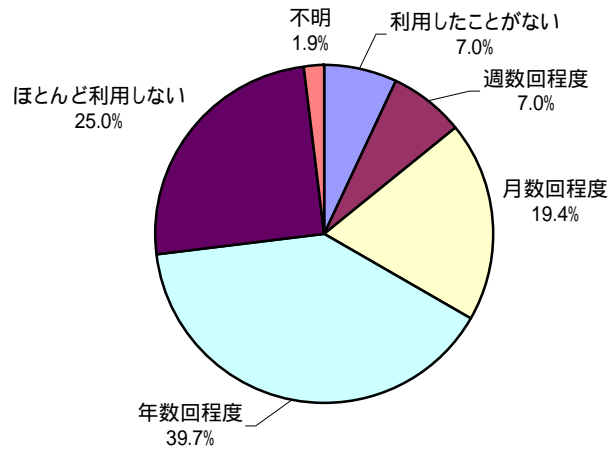
JRを利用する人の土岐市駅までの交通手段としては、「自家用車」が54.8%、「徒歩・自転車」が22.6%となりました。

表．JR土岐市駅の利用頻度

利用頻度	回答者数	割合
利用したことがない	55	7.0%
週数回程度	55	7.0%
月数回程度	152	19.4%
年数回程度	311	39.7%
ほとんど利用しない	196	25.0%
不明	15	1.9%
合計	784	100.0%

図．JR土岐市駅の利用頻度

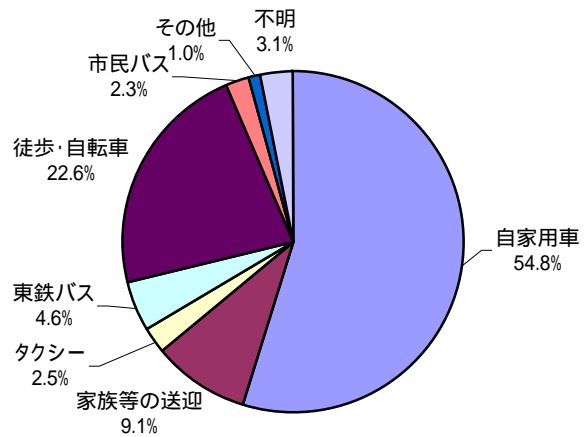
N=784



図表．設問 2 3 で JR土岐市駅を年数回以上利用すると回答した方の駅までの交通手段

N = 518

交通手段	回答者数	割合
自家用車	284	54.8%
家族等の送迎	47	9.1%
タクシー	13	2.5%
東鉄バス	24	4.6%
徒歩・自転車	117	22.6%
市民バス	12	2.3%
その他	5	1.0%
不明	16	3.1%
合計	518	100.0%



7 個別の施策・項目について

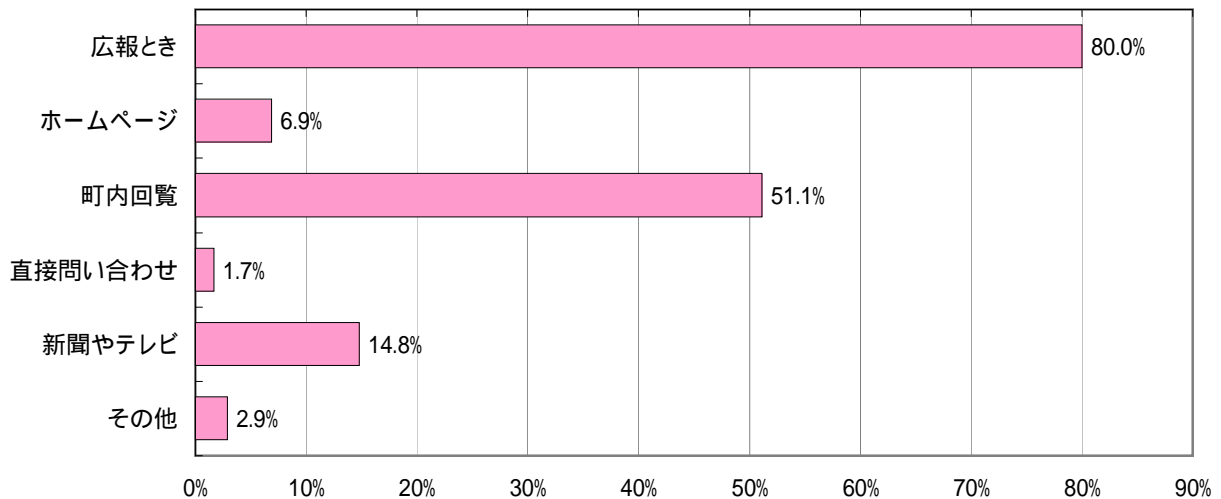
(設問25) 市政情報やイベント情報等の入手方法

市政に関する情報や市のイベント等の情報を何から得ているかを尋ねたところ、「広報とき」が80.0%と最も多く、以下、「町内回覧」が51.1%、「新聞やテレビ」が14.8%と続いています。

多くの区分で同様の結果となりましたが、地区別では鶴里地区、年齢別では10代～30代で「新聞やテレビ」よりも「市のホームページ」の割合が高くなっています。

図．市政情報等の入手方法

N=784 (複数回答)



表．居住地区別市政情報等の入手方法 (上位3つ)

	1位		2位		3位	
土岐津	広報とき	(76.6%)	町内回覧	(46.2%)	新聞やテレビ	(11.0%)
下石	広報とき	(84.5%)	町内回覧	(52.4%)	新聞やテレビ	(9.5%)
妻木	広報とき	(80.5%)	町内回覧	(58.5%)	新聞やテレビ	(15.9%)
鶴里	広報とき	(77.3%)	町内回覧	(59.1%)	ホームページ	(9.1%)
曾木	広報とき	(87.5%)	町内回覧	(68.8%)	新聞やテレビ	(18.8%)
駄知	広報とき	(83.2%)	町内回覧	(50.5%)	新聞やテレビ	(16.8%)
肥田	広報とき	(84.3%)	町内回覧	(53.9%)	新聞やテレビ	(9.0%)
泉	広報とき	(78.1%)	町内回覧	(48.6%)	新聞やテレビ	(20.2%)

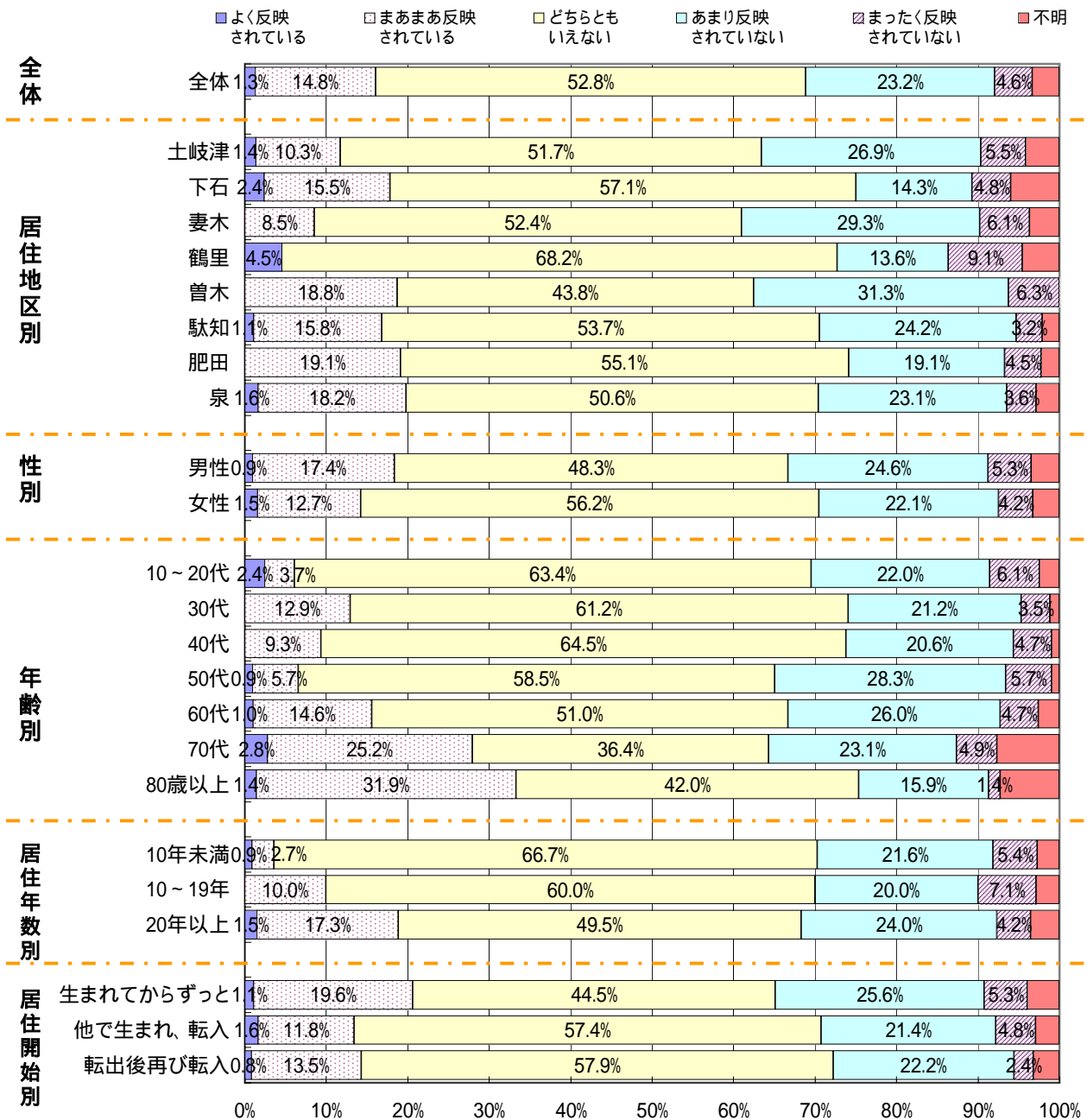
表．年齢別市政情報等の入手方法 (上位3つ)

	1位		2位		3位	
10～20代	広報とき	(63.4%)	町内回覧	(26.8%)	ホームページ	(24.4%)
30代	広報とき	(84.7%)	町内回覧	(47.1%)	ホームページ	(10.6%)
40代	広報とき	(83.2%)	町内回覧	(49.5%)	新聞やテレビ	(15.0%)
50代	広報とき	(84.0%)	町内回覧	(60.4%)	新聞やテレビ	(17.0%)
60代	広報とき	(82.3%)	町内回覧	(57.8%)	新聞やテレビ	(16.1%)
70代	広報とき	(78.8%)	町内回覧	(52.4%)	新聞やテレビ	(18.9%)
80歳以上	広報とき	(78.3%)	町内回覧	(52.2%)	新聞やテレビ	(23.2%)

(設問26) 市民の意見の反映状況

市民の意見が市政に反映されているかどうかを尋ねたところ、全てにおいて「どちらともいえない」が最も多くなっていますが、「よく反映されている」「まあまあ反映されている」と反映されているとの評価が16.1%であるのに対して、「まったく反映されていない」「あまり反映されていない」と反映されていないとの評価が27.8%となり、反映されていないとの評価が大きく上回っています。居住地区別では妻木・曾木・肥田地区では「反映されている」との評価がありません。年齢別では30代～40代で「反映されている」と評価した人はおらず、70代以上になると「反映されている」と評価する割合が高くなっています。

図．市民の意見の反映状況

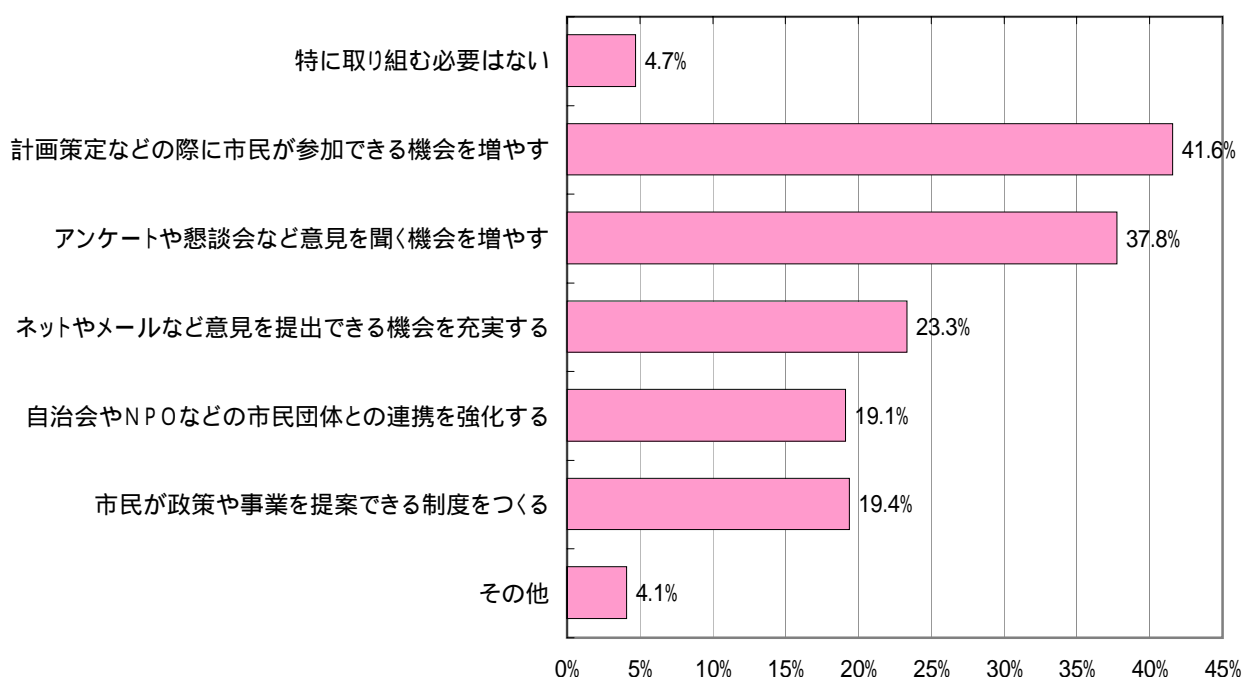


（設問 27）市民の意見を反映させるための取り組み

市民の意見を市政に反映させるためにどんな取り組みが必要であるかを尋ねたところ、「計画策定などの際に市民が参加できる機会を増やす」が41.6%と最も多く、次いで「アンケートや懇談会など意見を聞く機会を増やす」が37.8%、「ネットやメールなど意見を提出できる機会を充実する」が23.3%と続きました。「特に取り組む必要はない」は4.7%となり、多くの市民は意見を反映させるための取り組みが必要であると考えています。居住地区別では鶴里地区で、年齢別では10～40代で「ネットやメールなど意見を提出できる機会を充実する」の割合が高くなっています。また、年齢別の60代以上で「自治会等との連携強化」が3位となっています。

図．市民の意見を反映させるための取り組み

N=784（複数回答）



表．居住地区別市民の意見を反映させるための取り組み（上位3つ）

	1位	2位	3位
土岐津	アンケートや懇談会(28.4%)	計画策定に参加(26.1%)	ネット等での意見提出(17.6%)
下石	計画策定に参加(35.2%)	アンケートや懇談会(24.0%)	自治会等との連携強化(18.4%)
妻木	計画策定に参加(28.3%)	アンケートや懇談会(21.3%)	市民提案事業(18.1%)
鶴里	アンケート、自治会(24.0%)	計画策定、ネット(16.0%)	特に必要ない、市民提案事業(8.0%)
曾木	計画策定に参加(32.1%)	アンケートや懇談会(25.0%)	ネット等での意見提出(14.3%)
駄知	アンケートや懇談会(28.5%)	計画策定に参加(25.7%)	ネット等での意見提出(14.6%)
肥田	計画策定に参加(28.7%)	アンケートや懇談会(20.9%)	市民提案事業(15.5%)
泉	計画策定に参加(26.7%)	アンケートや懇談会(25.3%)	ネット等での意見提出(17.8%)

表．年齢別市民の意見を反映させるための取り組み（上位3つ）

	1位	2位	3位
10～20代	アンケートや懇談会(26.5%)	ネット等での意見提出(25.0%)	計画策定に参加 (22.7%)
30代	計画策定に参加 (27.3%)	ネット等での意見提出(24.2%)	アンケートや懇談会 (16.7%)
40代	アンケートや懇談会(28.7%)	ネット等での意見提出(25.1%)	計画策定に参加 (18.6%)
50代	計画策定に参加 (27.7%)	アンケートや懇談会 (25.4%)	ネット等での意見提出(18.1%)
60代	計画策定に参加 (32.1%)	アンケートや懇談会 (23.4%)	自治会等との連携強化(16.6%)
70代	計画策定に参加 (30.8%)	アンケートや懇談会 (24.6%)	自治会等との連携強化(19.0%)
80歳以上	アンケートや懇談会(36.1%)	計画策定に参加 (32.5%)	自治会等との連携強化(13.3%)

表．居住年数別市民の意見を反映させるための取り組み（上位3つ）

	1位	2位	3位
10年未満	計画策定に参加 (24.7%)	アンケートや懇談会 (24.2%)	ネット等での意見提出(21.4%)
10～19年	計画策定に参加 (26.0%)	ネット等での意見提出(24.0%)	アンケートや懇談会 (19.2%)
20年以上	計画策定に参加 (28.6%)	アンケートや懇談会 (26.1%)	ネット、自治会 (13.4%)

その他の内容

- ・4の項目（インターネットや電子メールなど自宅から意見を提出できる機会を充実する）を市長・議員が議会で検討する。
- ・あまりよくわからない。
- ・アンケート調査や懇談会の意見をちゃんと取り上げてほしい。結果をみて終わりでは反映されない。アンケートを取って満足するだけならやる必要がない。
- ・意見に対する回答を市がホームページ等で積極的に公表する(反映している内容を公開する)。
- ・意見を出しても市が取り上げてくれない。
- ・意見を出そうという人は少ないのでは。
- ・このアンケートに市長選挙の際の公約を記載し、実行されているかどうか市民の反応を感じてください。選ばれた人は自分の意見を曲げず、公約通りに実行してもらいたい。公約を実行できなければ、辞職してもらおうようなシステムにしてほしい。
- ・市議会議員が市民の代弁者であるという自覚に乏しい。
- ・市職員が市民と接して自然と感じ取り、自発的に考え実施してほしい。
- ・市職員の意識改革。
- ・市職員の意識の向上。
- ・市職員は市民としての生活なのだから想像力を働かせて考えて。
- ・市政に関係する人が心を改め責任を持つ。
- ・市政に都合が悪くても、市民の声を無視しない。
- ・市政に反映させる意見を取り上げない限り無用。
- ・市政はどんな計画策定など、市としての案を進めることはあるか。
- ・市長とのコミュニケーションできる機会を今の2倍に増やす。市政に前向きな考えを持っている者にとっては歯がゆい。
- ・市長の権限を強くし、市長が重要だと思ったことを早く実行する。
- ・女性の意見を求める。

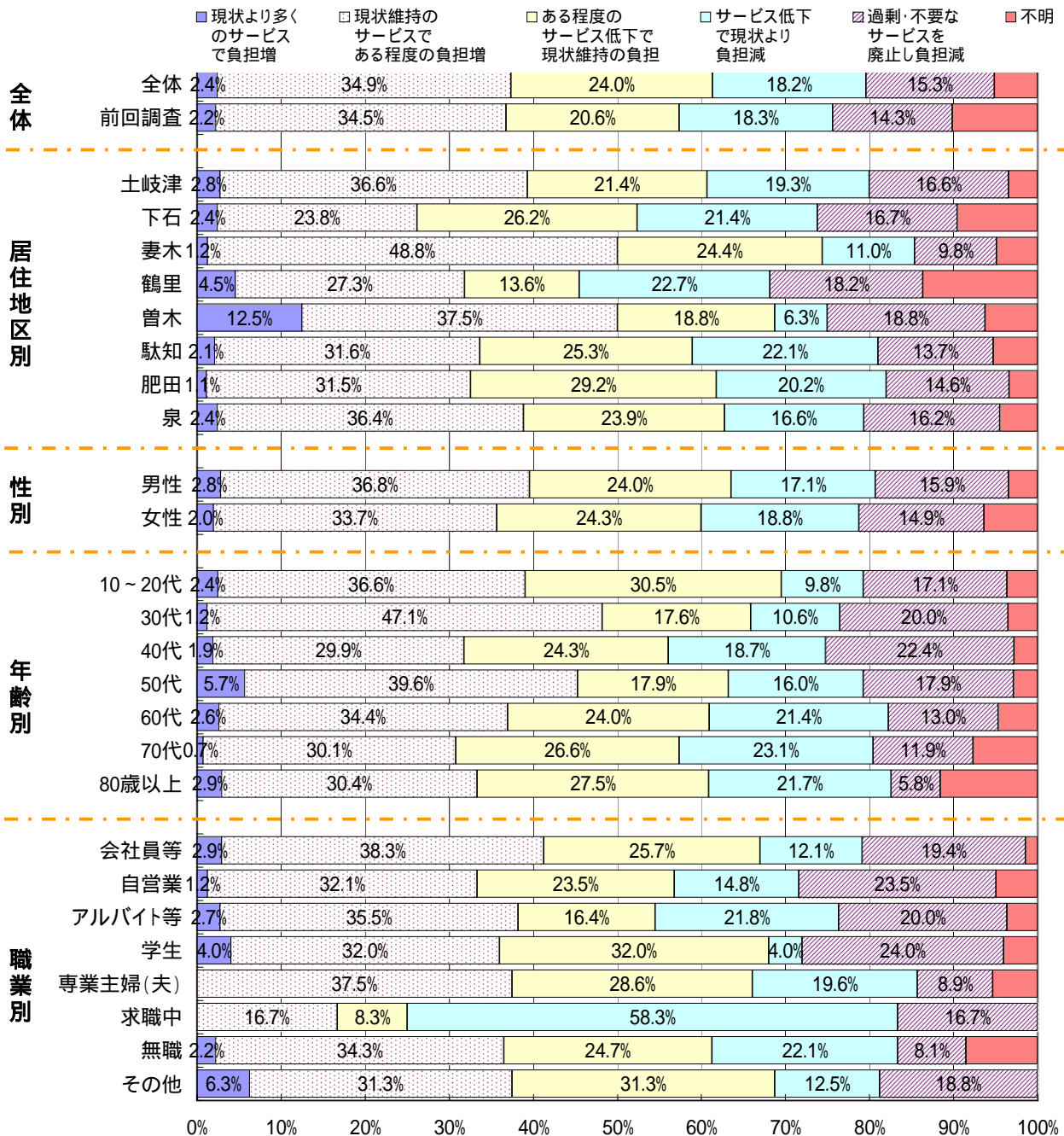
・市民も市職員も同じ人間（生活者）として主人公意識を持ち諸処の課題・問題に同じ目線で考え協力していく意識改革。

- ・全て。
- ・町内会に入っていないため、全く市政に参加できない。
- ・提案しても予算がないとの回答で却下されることが多い。改めるべき。
- ・どんな意見もホームページで公開し、それに対しての市の意見も公開する。
- ・何をやっても無駄。
- ・人の言うことの聞くことが出来る市議に意見を伝える。
- ・まず市民の方向を見る。
- ・無駄。取り組んだところで改善されない。
- ・若い世代の人口を増やすところから。
- ・わからない。

(設問28) 行政サービスと市民負担のあり方

今後市の財政状況は、少子高齢化の進展など社会情勢の変化により、さらに厳しさを増していくと考えられます。その際、施設の使用料の値上げやごみ処理料金の有料化など市民の負担が増える可能性があります。そのまま負担を増やすべきなのか、他のサービスを縮小（例えば公民館講座の縮小、各種補助金の廃止、老朽化した施設の更新時期の延長など）したほうがいいのかを尋ねました。結果、「現状のサービスを維持するため、ある程度の負担が増えても仕方がない」が34.9%と最も多く、「ある程度サービスが低下しても、負担は現状のままがよい」が24.0%、「最低限のサービスが受けられればよいので、負担を減らしてほしい」が18.2%と続きました。前回調査と比較するとほぼ同様の結果となりました。

図．行政サービスと市民負担のあり方



選択肢の「過剰・不要なサービスを廃止し、負担を減らしてほしい」について、過剰・不要なサービスの内容について尋ねたところ、以下のような意見がありました。

過剰・不要なサービス

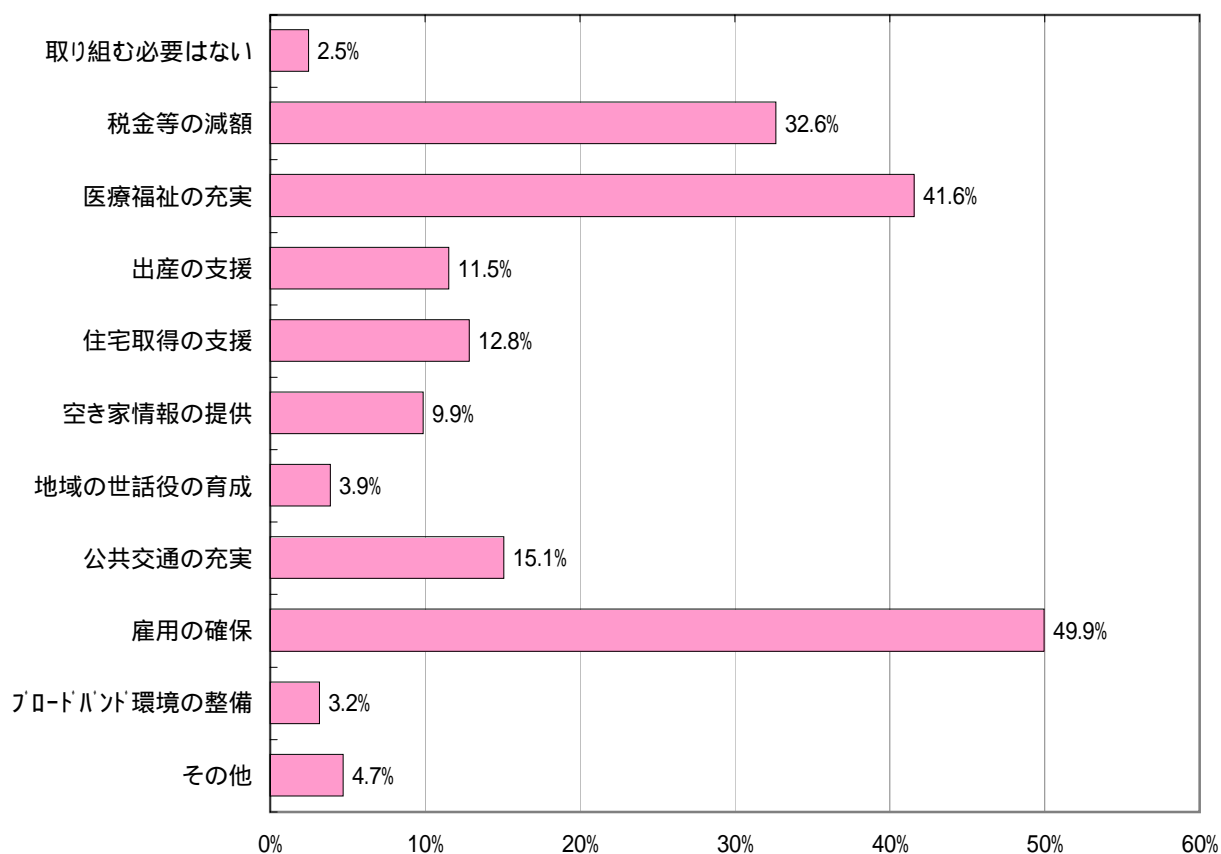
- ・老人が優遇されすぎている。
- ・利用の少ない施設の職員の削減。
- ・メタボ検診をやめて乳がん検診・子宮頸がんの予防の100%の補助と義務付けを。救急車の利用を有料化すべき。
- ・無意味な質問をせず、まずは行革から。
- ・窓口の人が多すぎる。市役所職員数が多すぎる。
- ・防災放送・広報等の印刷物・道路整備。
- ・不用な道路が多い。
- ・負担を強要する設問がおかしい。
- ・福祉の医療費は無料でなく一部負担があってもいいと思う。
- ・福祉関係を多少減らす。
- ・病院・役所の人員。
- ・バーデンパークの無料利用券の廃止。
- ・チラシをばらまいたり、広報は回覧にするなど。
- ・町内会費で募金・寄付金をとられ、役員の酒代でつかわれるので税金と同じだ。
- ・生活補助金の見直し。国民年金者より金額も補助制度も多い。
- ・生活保護対象者に何から何まで支給するのではない方法。
- ・生活保護者の見直し。
- ・私立保育園の保育料負担（市立へ行くべき）。
- ・職員・給料・施設。
- ・市職員の削減。公共施設の職員が多い。
- ・市職員が経費で を買ったと自慢していた。
- ・市職員、特にパート人数を削減。
- ・財政的に市民サービスを重視した市財政を。
- ・サービス内容が分からないので書けない。
- ・サービス向上＝負担増が前提の質問であり、いかがなものか。
- ・国民総背番号制であるべき。
- ・高齢者優遇の制度。
- ・公務員の人数を三分の二に減らしても問題ない。
- ・公務員多すぎ。リストラ必要。
- ・広報が何を話しているのか聞こえない。全ての家に聞こえるように考えてほしい。
- ・厳しい財政では重要度の話し合い。
- ・介護保険使いすぎ。
- ・介護サービス減。
- ・多くのサービスを受けたいが、あまり負担がかからないようにしてほしい。
- ・医師が確保できないのなら、近隣の市民病院を合併して効率をあげる。
- ・新しいハコもの・道路・水利権・市による営利事業。
- ・公務員の賃金を地域平均とする。

(設問29) 人口減少対策の取り組み

土岐市は平成8年をピークに年々人口が減少しています。人口の減少は市税や地方交付税の減収になるほか、地域の活力喪失につながるため、何らかの対策が必要であると考えられることから、どのような取り組みを行うべきか尋ねました。結果、「企業誘致等による雇用の確保」が49.9%と最も多く、「医療・福祉の助成等の充実」が41.6%、「税金・公共料金の減額」が32.6%と続きました。

図．人口減少対策の取り組み

N=784 (複数回答)



表．居住地区別人口減少対策の取り組み (上位3つ)

	1位	2位	3位
土岐津	雇用の確保 (52.6%)	医療福祉の充実 (40.7%)	税金等の減額 (31.9%)
下石	雇用の確保 (53.7%)	医療福祉の充実 (35.8%)	税金等の減額 (34.7%)
妻木	雇用の確保 (50.5%)	医療福祉の充実 (43.2%)	税金等の減額 (36.8%)
鶴里	医療福祉の充実 (40.7%)	税金等の減額、雇用の確保 (29.6%)	
曾木	住宅取得の支援、空き家情報の提供、雇用の確保 (42.9%)		
駄知	雇用の確保 (48.1%)	医療福祉の充実 (46.2%)	税金等の減額 (33.7%)
肥田	雇用の確保 (55.3%)	医療福祉の充実 (39.8%)	税金等の減額 (28.2%)
泉	雇用の確保 (48.9%)	医療福祉の充実 (43.9%)	税金等の減額 (32.7%)

表．年齢別人口減少対策の取り組み（上位3つ）

	1位	2位	3位
10～20代	医療福祉の充実（47.5%）	雇用の確保（35.0%）	税金等の減額（30.0%）
30代	医療福祉の充実（39.4%）	雇用の確保（34.0%）	税金等の減額（28.7%）
40代	雇用の確保（55.7%）	医療福祉の充実（49.6%）	税金等の減額（34.8%）
50代	雇用の確保（62.8%）	医療福祉の充実（38.8%）	税金等の減額（34.9%）
60代	雇用の確保（59.0%）	医療福祉の充実（44.4%）	税金等の減額（36.5%）
70代	雇用の確保（49.4%）	医療福祉の充実（38.0%）	税金等の減額（31.9%）
80歳以上	雇用の確保（40.3%）	医療福祉の充実（35.1%）	税金等の減額（27.3%）

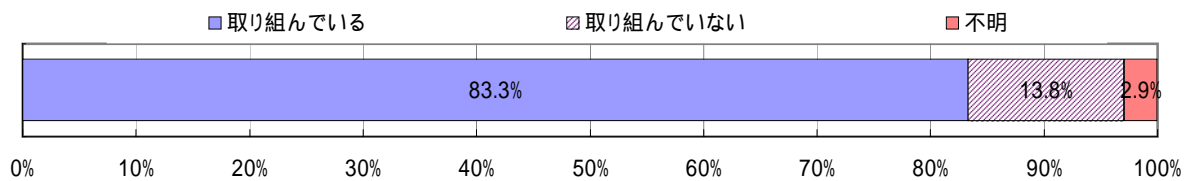
その他の内容

- ・ JRの多治見駅止まりを土岐・瑞浪・中津川までのばす。
- ・ 安心・安全と感じられるまちづくり（魅力の向上）。
- ・ 今の国民健康保険料は持ち家の単身世帯には負担が大きい。固定資産税を払った上に、国民保険料も上乘せされる。世帯割の点でも不平等。
- ・ 駅周辺の整備・活性化。
- ・ 駅を見ればわかる。土岐市駅は東濃では最低の駅である。
- ・ 大型商業施設の誘致。
- ・ 買い物しやすい場所に大型スーパーがほしい。バスの本数が増えてほしい。免許のない老人、子供のために。
- ・ 子育て・育児支援。
- ・ 最低賃金を上げる。
- ・ 市が企画する民営事業の推進。
- ・ 市内に楽しめるところが少ない。
- ・ 出産後、1年くらい補助がほしい。
- ・ 総合病院に産科を作る。
- ・ 地域産業の育成が第一。
- ・ 町内会の健全化をしないと若い人はどんどん出ていく。
- ・ 土岐市駅に停車する電車の本数を多くする。駅発のバスの本数を多くする（午後から妻木方面へ行く交通手段が多治見経由しかない）。
- ・ 土岐市の自然は素晴らしい。これをまず保護することが重要。そしてそれを広くアピールすることにより新しい住人は増加するのでは。
- ・ 都市計画をしっかりと行い、市外に土岐市の魅力を出す。一つは地場産業を活かして。
- ・ 名古屋のベッドタウンとして、住に徹したまちづくり。

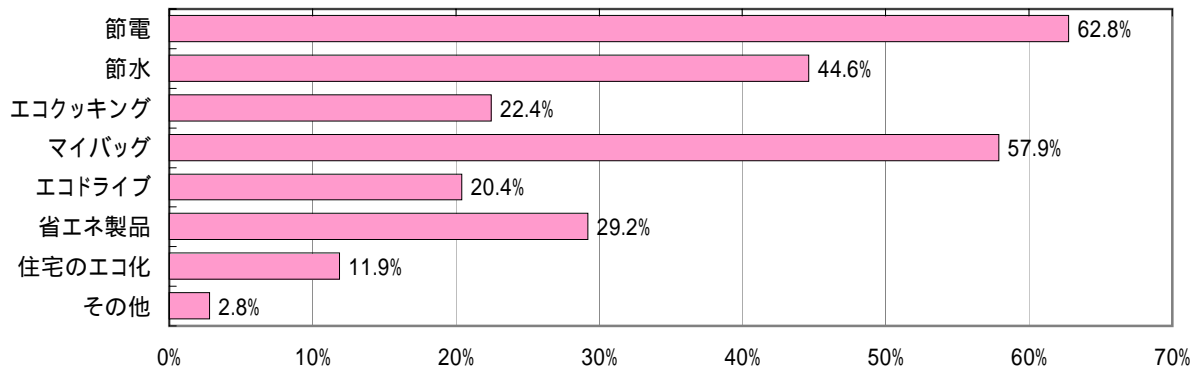
(設問30) 地球温暖化防止のための取り組み

地球温暖化防止のための取り組みを尋ねたところ、83.3%が何らかの取り組みを行っています。取り組みの内容は、「冷暖房の適切な温度設定、こまめな消灯など節電に努めている」が62.8%と最も多く、以下、「マイバッグ、マイボトルを持ち歩いている」が57.9%、「蛇口をこまめに閉めるなど節水に努めている」が44.6%と続いています。

図．地球温暖化防止のための取り組みの有無 N=784



図．取り組みの内容 N=784 (複数回答)



その他の内容

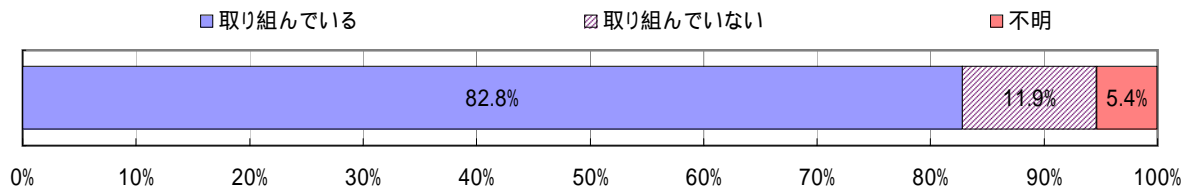
- ・ NGOへの参加。
- ・ 油は捨てずに端切れでふき取る。
- ・ 雨水利用。
- ・ エコになる物は分別し資源に出す（生ごみは自宅に埋める）。
- ・ 温暖化なのか寒冷化なのか実のところまだわかっていない
- ・ 車もパソコンも携帯も何も使っていない。
- ・ 子どもと地球温暖化について話し合い、実践するようにしている。
- ・ ごみを減らす。
- ・ 資源を無駄に使わない。ある物で何とかする。
- ・ 仕事でも経費節約のためかなり努力している。
- ・ 質素倹約の生活が地球温暖化防止の一環。
- ・ 自然の摂理は人間にははむかうことが出来ない。温暖化は自然現象である。例えば地球の自転の誤差など。
- ・ 消費を抑えている。良い素材の物を買う。
- ・ 植物を庭に植えて育てている。
- ・ 土地をアスファルト化しない。
- ・ 薪ストーブ使用。
- ・ ラップは塩ビを使用せずポリエチレン製のものを使用。
- ・ リサイクルできるものを資源回収に出す。

(設問31) 交通安全に関する取り組み

交通安全に関する取り組みについて尋ねたところ、82.8%が何らかの取り組みを行っていると回答しています。取り組みの内容は、「飲酒運転をしないだけでなく、させないことも徹底している」が54.5%と最も多く、以下、「歩行・自転車利用・運転しながら携帯電話を使用しないようにしている」が40.3%となっています。

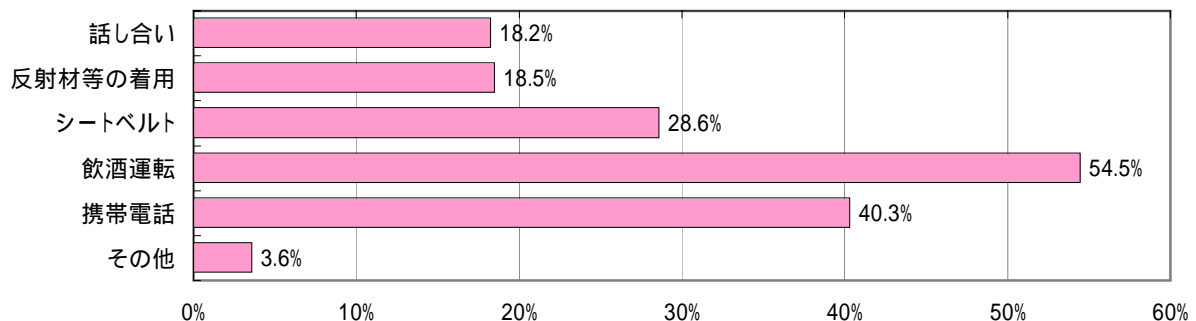
図．交通安全に関する取り組みの有無

N=784



図．取り組みの内容

N=784 (複数回答)



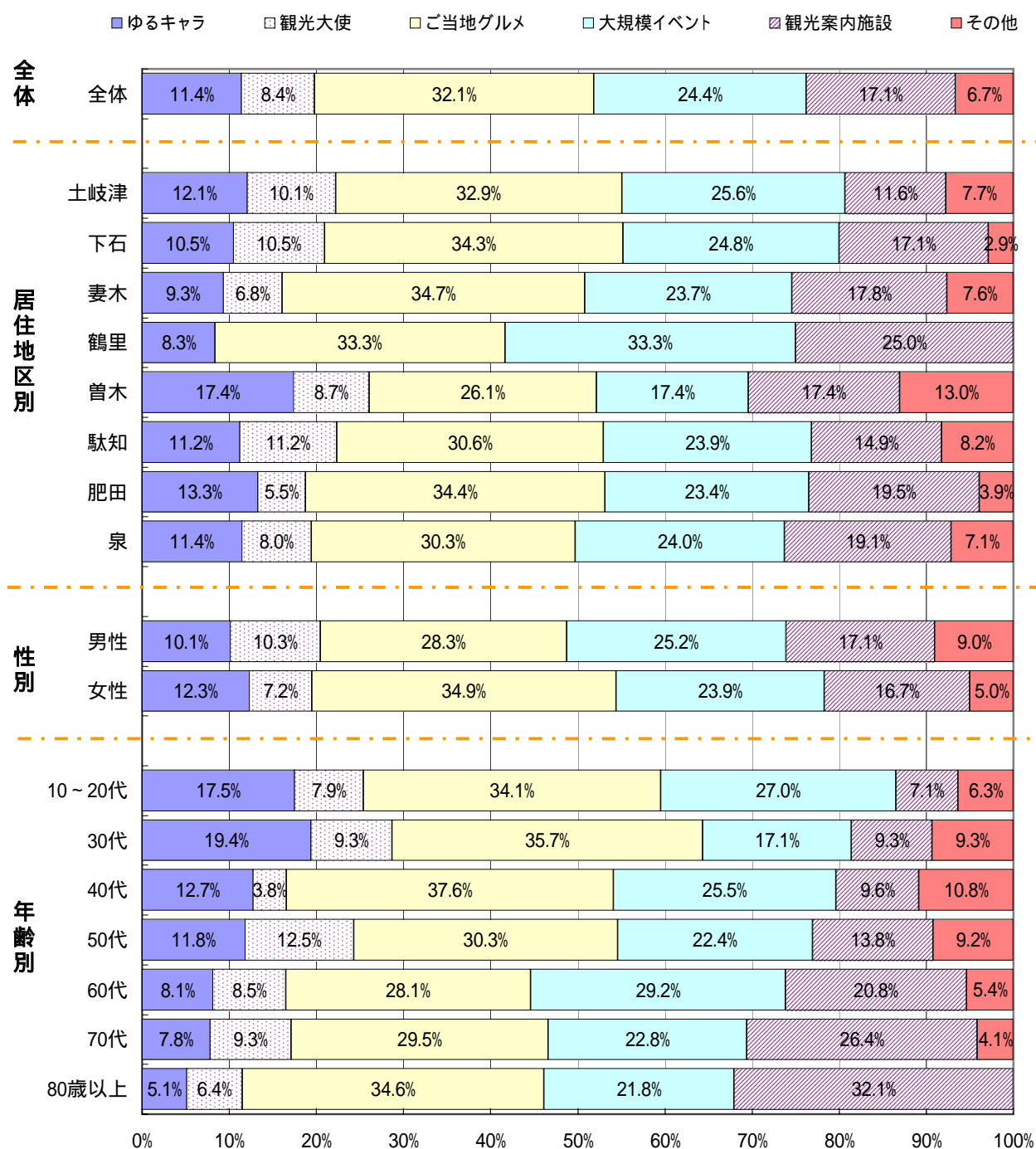
その他の内容

- ・雨や雪の日、夜などは外出を控えている。
- ・運転スピードを控えめにする。
- ・運転する人を送り出すとき、「気を付けて」の一声をかけるようにしている。
- ・運転速度を一定にする。
- ・横断歩道を利用する。
- ・基本的な交通規則を遵守している。
- ・急な飛び出しをする自動車、自転車に特に気を払う。
- ・気を付けていても事故に合うことがあると自覚すること。
- ・車に乗らず歩く。
- ・携帯電話不使用。
- ・交差点での安全再確認。急いでいる車は先に行かせる。
- ・最近特に目立つのが歩行者・自転車の信号無視。
- ・時間に余裕をもち行動。
- ・自転車のマナーが悪い。自転車利用者にも罰則をかけると良い。
- ・地元の道は狭いため、30キロで走行している。ゾーン30を設定すべき。
- ・通学路での児童の登校の見守り。
- ・土岐川両面の通路舗装をしてからきいてもらいたい。
- ・早めの点灯・安全運転に取り組んでいる。
- ・毎朝、子供と注意することを確認する。
- ・法定速度を順守し厳密に一時停止も実施。歩行者としても横断歩道では自動車の停止を促すよう意思表示をしている。

(設問32) 観光について

美濃焼以外で土岐市の観光及び観光PRのために必要なものを尋ねたところ、全体では「ご当地グルメ」が32.1%となり、次いで「大規模イベント」が24.4%、「観光案内施設」が17.1%となりました。性別に見ると、男性は女性と比較して「観光大使」が多かったものの、「ご当地グルメ」に関しては女性の割合のほうが高くなりました。また、年齢別では、10～30代において「ゆるキャラ」の割合が高くなり、年齢が高くなるにつれて「観光案内施設」の充実を求める意見が多くなりました。

図．美濃焼以外で土岐市の観光及び観光PRのために必要なもの N=784（複数回答）



その他の内容

- ・PR活動。
- ・PRするものが少なすぎるためそれを作り出してほしい。
- ・アウトレット・商業施設の充実。
- ・アウトレット近辺の人が多く集まる場所でもっとPR・イベント等できないか。
- ・アウトレット周辺に飲食店や映画館等の誘致。
- ・アウトレット周辺に商業施設を誘致、充実させる。
- ・アウトレット近くに食の施設を作る。
- ・アウトレットとの提携。
- ・アウトレットのからみ。
- ・今ある自然を保護しアピールする。
- ・今さら無理。
- ・駅と駅周辺の活性化。
- ・駅前整備。
- ・駅前のシャッター通りをなくす。
- ・駅や道路通行中に話しかけられても、観光案内所のパンフレットの場所を説明しづらい。
- ・駅を中心に町の立て直しをしてから観光！！（アウトレットに来る客にアンケートをすべき）
- ・大型ショッピングセンターの誘致。
- ・音楽フェスティバル。
- ・温泉と地元食材の料理をセットでPRする。
- ・各地域でのライトアップ等（民家・庭・池等）。
- ・観光PRではなく、住んでみたい町になるように市自体をPRする。
- ・観光案内所が現在、駅の2階にあるが皆に周知されていない。もっと目に付くところに変えてはどうか。
- ・観光スポットが必要。
- ・観光するところがない。
- ・観光する場所がない。レジャー施設等を検討しては。
- ・観光地そのものの充実。ショッピングセンター等の充実。小さなスーパーは多々あるが、1ヶ所で事足りる大きな所がない。
- ・観光地の充実。
- ・観光では何も資源がない。
- ・観光に来てもらう必要などない。
- ・観光の必要性を感じない。
- ・観光パンフの充実。
- ・観光要素として特に重要な魅力的なものは土岐市には存在していない。ゆるキャラやB級グルメ等は他の地域の二番煎じで無駄なPRでは。観光に注力する必要はない。ただ、土岐市をあるがままに紹介して訪れてくれる人に便利のようにマップ・観光案内・休憩スポット・ベンチ等の整備を地道に推進。
- ・観光よりも住民が困らないようにすることが先。
- ・企業誘致。
- ・コラボ。
- ・自然が利用できないか。

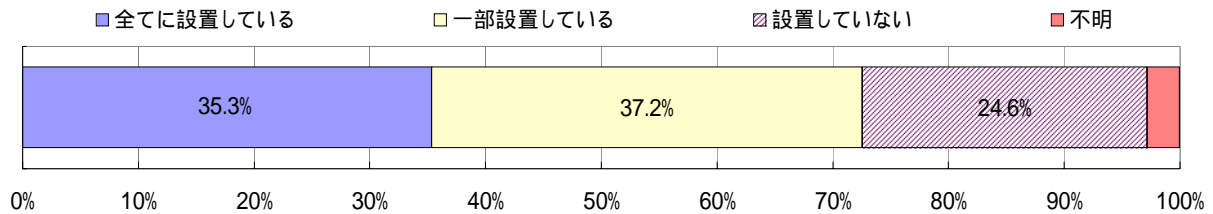
- ・市中心部での美濃焼に関連しない大型施設。中心地への集客施設。
- ・市内から見える恵那山・中央アルプス・御嶽山などは絶景。このビューポイントを活かしては。
- ・市内の陶芸家などの協力を得てイベントコースを作り土岐市のイメージアップを図る。
- ・市民のために必要なもので特徴のある物。
- ・ショッピングセンターを作る。ジャスコ、アピタ等の大型スーパーや遊園地、動物園、大規模花火大会。
- ・大規模商業施設の誘致。
- ・大規模なイベントができる施設をつくる。
- ・地域整備。
- ・知名度。
- ・テレビ・メディアの広告。
- ・テレビ番組に取り上げてもらう。
- ・土岐川リバーサイドの街づくり、再開発。
- ・土岐市出身者とは限らない。今から土岐市に関わらせながら将来大使になってほしい人を作る。
- ・土岐市でしか手に入らない商品・食品の開発。
- ・土岐市にしかない観光名所を作る（瑞浪の大皿・狛犬のような）。
- ・土岐市の観光は何があるか・・・話し合い。
- ・土岐市の魅力をもう一度ゼロから見直す。
- ・土岐市ブランド育成。
- ・とっくりとっくん。
- ・とっくりとっくん含め、7レンジャーみたなものを作る。町の各PRに市の助成を出すなど。
- ・どの施設もあと少し何か物足りない。
- ・何も無い。
- ・ネット案内拡大充実。
- ・農業工場。
- ・必要なし。
- ・人が集まる観光施設。
- ・古くて味のある建物・街並みが残っており、歩くのに良いと思うので、ウォーキングマップ（駐車場案内・ルート等）を作り歩いてもらえるようにする。
- ・文化育成。
- ・ホテル・温泉・アウトレット・テーマパーク・映画館を作る。
- ・街並み整備。特に駅前周辺から文化プラザ・市役所までのメインロード。
- ・ミス土岐。
- ・美濃焼以外に何が。風景？ PRする前に土岐市の特徴が弱い。
- ・美濃焼関係を充実する。
- ・美濃焼そのもの。
- ・無駄なことに税金を使わない方が良い。
- ・焼き物以外で観光客を呼び込む要素を創出する必要がある。

(設問33、34) 火災警報器の設置状況

火災警報器の設置状況は、「(必要な箇所)全てに設置している」が35.3%、「一部設置している」が37.2%、「設置していない」が24.6%となりました。また、設置していない理由としては、「義務化されていることを知らなかった」、「設置費用負担が大きい」、「自分で設置することが難しい」などがあげられました。

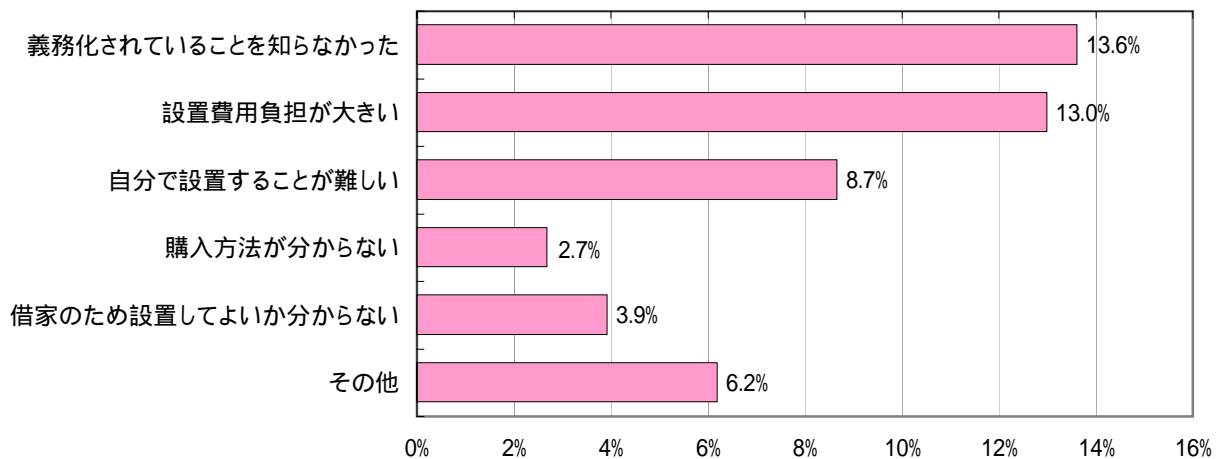
図．火災警報器の設置状況

N=784



図．火災警報器を設置していない理由

N=485 (複数回答)



その他の内容

- ・家が平屋で狭いため。
- ・いずれ設置する。
- ・改築予定のため。
- ・買ったが設置時間がない。
- ・義務付けに疑義あり。
- ・警報器があっても作動しないかもしれないし作動しても死ぬ時はどんな対策をしようが死ぬ。
- ・購入したが設置していない。
- ・寝室が1階ですぐ出られるため。
- ・寝室が決まっていないため。
- ・その気がない。
- ・建て替え予定のため。
- ・賃貸アパートのため、不動産屋に連絡してあるがまだ設置してもらえない。
- ・つつい先延ばしになっている。
- ・必要性がない。
- ・もらいものがあるが面倒。
- ・忘れていた。

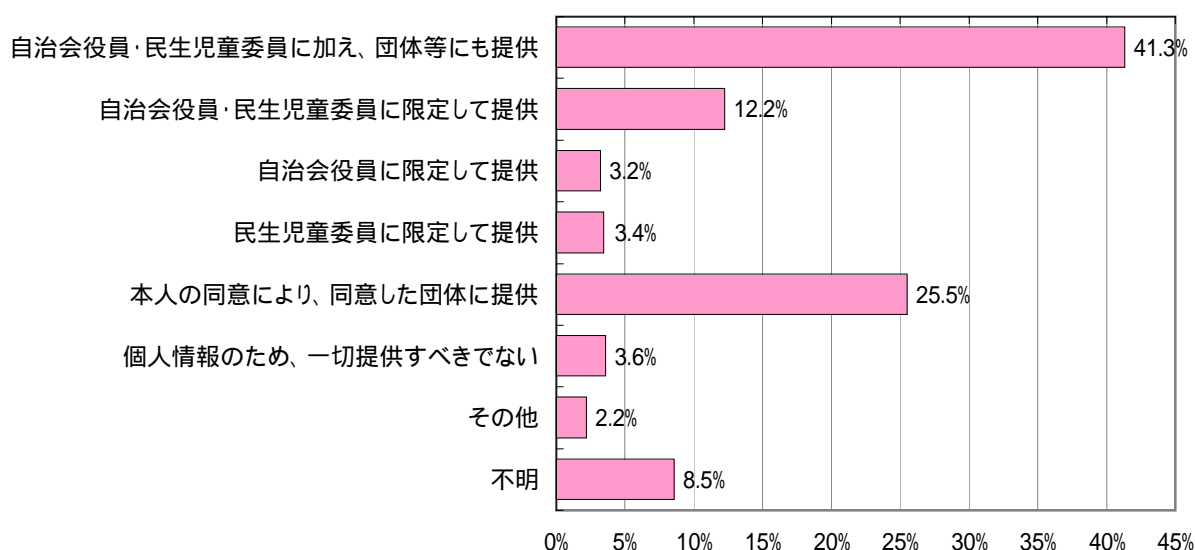
(設問35) 要援護者情報の提供について

災害時や平常時における要援護者の支援・見守りなどのため、自治会役員や民生児童委員等に対し、本人の同意の有無にかかわらず、市が要援護者情報を提供することについて尋ねたところ、「自治会役員と民生児童委員に加え、地域を支える団体等（消防団や老人クラブ等）にも情報提供すべきである」という回答が41.3%となり、次いで「本人が同意した場合に、同意した団体等に限定して情報提供すべきである」が25.5%、「自治会役員と民生児童委員に限定して情報提供すべきである」が12.2%という結果になりました。

要援護者 … 独居高齢者・高齢者のみの世帯・要介護3以上の者、身体障害者1級または2級の者・90歳以上の高齢者等

図．要援護者情報の提供について

N=784



その他の内容

- ・1が良いが本人の同意を取るつけるのが難しいのか。同意を取り付けたうえで1が理想的。この質問だと現状が分からない。
- ・1と5のバランスをどうとるのが問題。
- ・2が基本的にいいと考えるが自治会役員は公職ではないため、信頼性・信用性に欠ける。
- ・3.11に被害を受けた地域で起きているが、ケースバイケースの判断では。
- ・同じ班の人が要援護者を把握し支援・見守りをする。
- ・自治会に入っていない者には情報もないのに要援護者支援・見守りはできるのか。
- ・情報提供を受けた者に対して、市が責任を押し付けることになるため、市が責任逃れをすべきではない。
- ・情報の守秘義務とともに、情報を共有して万一の時にすぐに活用できる体制であること。
- ・条例で定めた方が処理しやすい。
- ・住んでいる町内の独居老人（女性）の多くは役員に対して不信感を持っているため無理。
- ・隣保班が知らなければ役に立たない。
- ・必要性をPRして援護を受ける側にも意識付けが必要。
- ・要援護者の支援等を行う人に対し、何らかの形で個人情報の保護に関する義務を負わせた上で、情報提供を積極的に行うべき。
- ・わからない。

8 自由意見

(設問24) 市政についての自由意見

市政について、意見や提言、改善すべき点等を記入していただきました。全体の35.2%となる276人から意見をいただきました。意見総数(内容に応じて意見を分けたもの)は521件となりました。

表. 属性別自由意見回答者

区 分	有効回答数	自由意見回答数	割合
総数	784	276	35.2%
(居住地区別)			
土岐津	145	54	37.2%
下石	84	21	25.0%
妻木	82	21	25.6%
鶴里	22	4	18.2%
曾木	16	9	56.3%
駄知	95	38	40.0%
肥田	89	29	32.6%
泉	247	99	40.1%
不明	4	1	25.0%
(性別)			
男性	321	112	34.9%
女性	457	162	35.4%
不明	6	2	33.3%
(年齢別)			
10～20代	82	32	39.0%
30代	85	37	43.5%
40代	107	40	37.4%
50代	106	41	38.7%
60代	192	62	32.3%
70代	143	49	34.3%
80歳以上	69	15	21.7%
(居住年数別)			
10年未満	111	45	40.5%
10～19年	70	30	42.9%
20年以上	600	201	33.5%
不明	3	0	0.0%
(居住開始別)			
生まれてからずっと	281	98	34.9%
他で生まれ、転入	373	134	35.9%
転出後再び転入	126	42	33.3%
不明	4	2	50.0%
(職業別)			
会社員等	206	70	34.0%
自営業	81	30	37.0%
アルバイト・パート	110	43	39.1%
専業主婦(夫)	56	26	46.4%
無職	271	86	31.7%
学生、求職中、その他	53	21	39.6%
不明	7	0	0.0%

【分野別意見】

第五次総合計画で定められた6つの基本目標別に自由意見を振り分け、それぞれの回答件数をみると、行財政、情報共有等に関する「参画」の分野が131件、25.1%と最も多く、次いで生活基盤の整備等に関する「創出」の分野が129件、24.8%、産業、農林業、雇用等に関する「活力」の分野が86件、16.5%と多くの意見が寄せられています。参画の中では適正な行政運営の推進、創出の中では中心市街地の整備、活力では商業の振興に関する内容の意見が最も多くなっています。

表．分野別自由意見回答数

区 分		自由意見回答数	割合
自由意見回答総数		521	
参画 (行財政、情報共有等) 131件(25.1%)	協働まちづくりの推進	28	5.4%
	情報共有の推進	19	3.6%
	男女共同参画の推進	7	1.3%
	適正な行政経営の推進	41	7.9%
	職員対応	20	3.8%
	その他	16	3.1%
活力 (産業、農林業、雇用等) 86件(16.5%)	産業の振興	18	3.5%
	商業の振興	28	5.4%
	観光の振興	16	3.1%
	農林業の振興	2	0.4%
	雇用環境の充実	22	4.2%
育成 (教育、文化、スポーツ等) 31件(5.2%)	学校教育の充実	10	1.9%
	生涯学習の充実	10	1.9%
	スポーツの振興	5	1.0%
	文化・芸術の振興	2	0.4%
	その他	4	0.8%
安心 (保健・福祉・医療等) 82件(15.7%)	保健の充実	3	0.6%
	病院の充実	25	4.8%
	地域福祉の充実	8	1.5%
	児童福祉の充実	27	5.2%
	高齢者福祉の充実	9	1.7%
	障がい者福祉の充実	2	0.4%
	社会福祉の充実	4	0.8%
	保険・年金の健全運営	2	0.4%
	その他	2	0.4%

安全 (環境、防犯、防災等) 30件(5.8%)	環境保全の推進	4	0.8%
	廃棄物処理・リサイクルの推進	11	2.1%
	交通安全の推進	5	1.0%
	防犯の強化	2	0.4%
	消防・救急の充実	1	0.2%
	防災の強化	3	0.6%
	その他	4	0.8%
創出 (生活基盤の整備等) 129件(24.8%)	中心市街地の整備	52	10.0%
	道路・河川の整備	27	5.2%
	公共交通の充実	25	4.8%
	上下水道の整備	10	1.9%
	街並み・景観の整備	7	1.3%
	公園・緑地の整備	3	0.6%
	その他	5	1.0%
その他 32件(6.1%)		32	6.1%

(意見中のキーワード等で分野を分けているため、同じような内容の意見でも分野が異なることがあります。)

寄せられた意見については、分野毎に次ページ以降に掲載しています。

(1) 参画(協働まちづくり、情報の共有、男女共同参画、行財政、職員対応)

協働まちづくり

- ・近隣の市と横並びではなく、特化した事を打ち出し、市民とともに向かう目標を作る。それを作るのがトップの仕事!!! (泉町、男性、60代)
- ・自治会に頼っている部分が多すぎる。(泉町、男性、50代)
- ・市民意識調査は、真に解決すべきと市民の多数が考えている項目・事柄についてこそ詳しく行われているのか。(泉町、男性、40代)
- ・アンケートを取るというパフォーマンスだけで市政に反映されてないのではないか。(下石町、女性、60代)
- ・いつも笑顔で話し合える地域づくりに、市民1人1人に意識が持てるような環境づくりが大切である。(泉町、女性、60代)
- ・定期的に継続して話し合いの場を設ける。×形式のアンケートではなく、少人数で対面しての話し合いをすべき。その会の主催者・進行係・司会者は、事前の十分な勉強が不可欠。プロでなくてはならない。(泉町、男性、70代)
- ・ボランティア活動を組織化し、市民の意見・要望を聞く場を設け、市政に反映すると良い。老若男女が集まって意見交換できると良い。(肥田町、女性、60代)
- ・市議会議員の高齢化は好ましくない。議員手当が目当ての者が多いのではないか。市政に対する意見が市民の中には多少なりともあると思うが、本当に市政に届くというのは機会がないのではないか。市長や役所の管理職が各地域に細かく出向き、町内ごとでもよいので話を聞く機会を設けてはどうか。話を聞いてほしい人がたくさんいる。(泉町、女性、60代)
- ・設問の意味が何を意図しているのかわからない。他市町村へ勤めているため、居住地である土岐市のことはあまり理解できず、積極的な意見が出せない。ただ、土岐市の市民サービスが市民に明確に伝わっていないのでは。市側の一方的なサービスのみで空回りしていないか。市民を交えた小さな会議のようなものを多々開催し、行政・議会・市民が真剣に話し合いを進め、具体的な施策を進めていくことが急務では。(土岐津町、男性、50代)
- ・意見を出しても市は耳を傾けてくれない。市民の声をもっと聴きとってほしい。(駄知町、男性、60代)
- ・市民の声が市政に反映され、きめ細やかな行政が取り組まれているという実感が無い。市民が行政に参加する機会が閉ざされ自治会役員に丸投げし、その地域役員が市民のパイプ役の意識を持っている場合は繁栄するかもしれない。が、その機能は民主主義的な仮面を持っているようだが、充分ではない。市民参加型の市政運営に改革する努力をしてもらいたい。(土岐津町、男性、70代)
- ・市長とコミュニケーションをとれる機会を作ってもらい有意義に思う。それとは別に市議会議員それぞれが各地域ごとに市の今後について話し合いが行われるのが当然ではないか。少なくとも市議会議員の年収の労働生産性を要望したい。(泉町、男性、70代)
- ・国のまちづくり支援策を活用すべき。(土岐津町、男性、50代)
- ・市民の小さな意見・提言を取り上げ、市政の場で時間をかけず取り組み、サクサクと単純に決意してほしい。裏切らない姿勢を望む。(泉町、男性、70代)
- ・土岐市は過疎化・高齢化が隣市より進んでいるように感じる。その中で変わらない地域社会制度があり、学校役員・活動制度があり、一部の相対的に若い世代にしわ寄せがある。放置すればその若い世代が市外へ流出する可能性もあり(近所では実際に起こっている)、市が役員数や役員にかかる責任を減らすよう、団塊世代や地域に対して指導すべき。(駄知町、男性、30代)

- ・市長と語る会へ行ってもつまらない。(鶴里町、男性、60代)
- ・こういったアンケートや意見を書く欄を設けてもらいたい良かった。気が付いたことを市役所まで電話するのはなかなか勇気がいるので、匿名で意見を述べる機会をもらえるのはありがたい。(肥田町、女性、60代)
- ・市長はまだ若いので素直に市民の声に耳を傾けて、土岐市にとって何が必要でどんなことをすべきか考えてもらいたい。説得力、行動力、人間力を磨いて皆が市長の名前を知っているくらいの人になってほしい。長い任期を務めて土岐を変えてほしい。(泉町、女性、60代)
- ・市議会議員は、選挙時のみしか顔を見ておらず、その後の活動が不明。もっと身近に我々の話を聞いてもらいたい。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・市民に優しい市政として、赤ちゃんから老人まで安心して暮らせるようにするために、いろんな世代の意見が出される場を多数作る。(曾木町、女性、50代)
- ・市政についてはよくわからないが、偉い人たちの意見よりも子育て世代の意見を取り入れてもらいたい。(土岐津町、女性、20代)
- ・婦人会の連合は負担が大きい。別の形はないものか。(泉町、女性、50代)
- ・現在の土岐市は全然いきいきとしていない。元気がない。もっといろいろ号令をかけて市民を動かしてほしい。策定しなくてはいけないので作る政策計画ではなく、それに添って市民も協力して作ってほしい。(駄知町、女性、50代)
- ・市が町内役員に仕事を押し付けすぎている。(駄知町、男性、60代)
- ・市民会議を開くなどして、広く市民の声を聞いてほしい。都市計画課が住民の意見を聞かずに公園の木を切るようなことはやめてほしい。市民の声を聞くと言いながら、少数派の陳情書などをなかなか取り上げない議会は問題あり。中身で見てほしい。(泉町、女性、60代)
- ・市長と語る会は今の形でぜひ続けるべき。内容を充実させるには時間がかかり、それなりの覚悟がいる。内容についても工夫をする必要があると思う。(泉町、男性、70代)
- ・市政について意見を述べても改善されないため、意見や提言を言っても無駄。(土岐津町、男性、60代)
- ・このアンケートの要望を実現するよう切に希望する。アンケート提出者には多少の謝礼があっても良いのでは。(下石町、女性、70代)

情報の共有

- ・広報での行方不明者、災害警報などの情報提供を電子メールで配信サービスしてもらえば、市外にいても情報の共有ができ便利だと思う(お悔み連絡も追加してもらえると良い)。(曾木町、男性、50代)
- ・広報が全く聞こえない。はっきり聞こえるようにしてほしい。(下石町、女性、70代)
- ・現在、市政等についての情報を得る機会が少ない。防災無線は名古屋市等と比べても非常に良い。(泉町、女性、20代)
- ・市政に対してのPRが不足している。イベントはもちろん小さなことでも各町での情報等を市が把握し提供するシステムも必要でありやるべき。新聞で読む限り土岐市としての記事が少ない。もっとうまく情報載せてPRすべき。PRが下手では、いろんなイベントを行っているはずなので、土岐市のイメージダウンにならないようがんばってほしい。(肥田町、男性、60代)
- ・町内会(自治会)に入っていないため、情報が全く入ってこない。母親の墓守のため転入してきて、一人頑張っている。(泉町、男性、70代)
- ・市政の情報開示をもっとはっきりわかりやすくしてほしい。(駄知町、男性、20代)

- ・市政・市のイベントに積極的に参加しようとしている人は正直、少ないのでは。衆院選を見ても、そういったことに興味関心を持つ人が少なく、財政も赤字か黒字か、あまり深いところまで見ようとしない。意見をネットから出せるようにしても「出そう」という意識がなければ変わらない。学校には「意見箱」というのがあがるが、各教室に1つずつおいていた時には活用されず、メールで送付できるようになっても変わらなかったが、「こんな意見が通って、こういう対応でこうなりました。」というような成功例を挙げることで、意見を出そうとする人が多少は増えた。より良い市になるように期待している。(駄知町、女性、10代)
- ・市政内容をできるだけ広報に掲載してほしい。(肥田町、男性、80歳以上)
- ・駄知から妻木に移住して2年、町内との交流は全くない。町内会長がどこに住んでいるかもわからず、回覧・広報もない。ごみは少し遠いところへ持っていき、気が引けている。広報は支所に取りに行けばよいが、年齢的に物忘れもあり思うようにならない。家のポストに入れてもらえたら。(妻木町、女性、70代)
- ・ホームページの内容が更新されておらず、新しい情報になってなかった。担当はホームページの更新を。(駄知町、女性、50代)
- ・こういったアンケートでどんな意見があったか、それをどのように対応・改善されたかわからないため、どう対応したのか改善された事項を公表してほしい。前回の窓口アンケートも改善されていない。聞く気がないなら何のためにやっているのか。こんなことをやっていますというポーズに思えてならない。(駄知町、男性、20代)
- ・町内会に入会していない者への情報提供がない(広報も配布されていない)。(泉町、男性、50代)
- ・インターネットの利用推進。老人にも使用できるように。(泉町、男性、60代)
- ・広報紙を出す回数を減らす。(駄知町、男性、60代)
- ・あれほどの集客力があるアウトレットに土岐市のPR施設がないのはなぜか。(下石町、男性、50代)
- ・以前に市役所へも出向き相談したことがあるが、一人暮らしで町内会費の支払いもできないため、市から配布される広報やその他諸々のことがわからないので、そういう人にも何とか配布してほしい。知り合いのもそういう人が10人ほどいる。市の行事が何もわからない。(泉町、女性、60代)
- ・広報ときで、市の情報と県を混ぜて記載しているときがあるが、担当部署が市か県か区別できるようははっきりと分けてほしい。また、紙面を昔のことで埋めるくらいなら、広報に広告を載せる募集を積極的に行うか、ページ数または発行回数を減らす。(泉町、男性、30代)
- ・陶磁器産業のPRだけでなく、住みやすい街であることをPRする。(泉町、男性、30代)
- ・市のホームページは見にくく、華がない。(泉町、女性、30代)

男女共同参画

- ・いつもいきいきコラムで情報を寄せられていることに感謝する。土岐市として何をしているのか。この点についても提供してもらいたい。男女共同参画というだけでなく、市として何をすべきか、市民に何を参画してもらうべきか。参画の姿が見えない。(肥田町、男性、60代)
- ・国政が市政に反映しており、市政のみでは判断できない。男女共同参画と言っても、土岐市は女性職員の雇用が少なく、夫婦で職員の場合、両者とも管理職登用がないなど問題外。(泉町、女性、60代)
- ・男は男らしく、女は女らしくという教育をすべき。(下石町、女性、50代)
- ・土岐市には古い考え方を持った男性(企業)が多く、女性に対して給与等の待遇も悪い。(泉町、女性、40代)

- ・男性より女性の賃金が少ない。(曾木町、女性、50代)
- ・設問にあった男女平等について、平等がすべてとは思わない。差別は良くないが、区別は必要では。(下石町、女性、20代)
- ・男女共同参画の講演会の開催や広報誌等の積極的な意識啓発について、良いことをたくさんやっているのですが、一部の人が知らなさすぎる。堅いものばかりすぎて若い人も興味を持っていないか。(泉町、女性、30代)

行財政(財政の健全化、行財政改革)

- ・選挙時に投票率が低いといつも言っているが、お金を使ってPRばかりせずに、投票した人は多少でも減税し、しない人には税をかけるなど税金の使い道を考えると良いと思う。(駄知町、女性、40代)
- ・市職員の削減がない(新市長の公費削減もされていない)。新職員を取ること自体おかしい。(泉町、男性、60代)
- ・文化会館・市民センター等の不要な施設を解体し、年間維持費の削減に努め浮いたお金を必要なところに回す。(妻木町、女性、40代)
- ・市職員の退職金他企業と比較して多い。土岐市内企業並みにするべき。(駄知町、男性、60代)
- ・緊縮財政のためと言って臨時採用者を極端に増やすべきではない。(泉町、男性、70代)
- ・市議会議員に依頼しても何もできないとの返答。議員に何の価値もない。議員の人数も少しにして経費を削減する。土岐市の議員は8人でよい。(下石町、男性、80歳以上)
- ・議員の報酬を削減すべき。議員は市民のために働き、決して自分の私利私欲であってはならない。必ず実績を上げてほしい。(妻木町、女性、60代)
- ・市役所内の組織構造が、あまりにも縦割り構造で横の連携や交流が全くと言っていいほどない。横の連携や交流を活発にすれば今の行政サービスは飛躍的に質を高めるのでは。(泉町、男性、40代)
- ・議員数・職員数の削減(コンピューター・オンライン化の時代)。適材適所の配属。(泉町、男性、60代)
- ・現在の市政について。常に検討し改善すべきところを行政・市議会で話し合い、実行に移す意欲が必要。慣習通りから脱却する意志を持つこと。そして、何をどう改善したか広報する。十年一日のごとく、市政を見直すよう。(土岐津町、男性、70代)
- ・一般市民が利用しない施設が多くあり無駄である(文化会館等)。(土岐津町、男性、60代)
- ・市議会議員数を削減する。議員・職員等の給与を削減する。(肥田町、男性、60代)
- ・経費を削減させるため、役所内の掃除等は外注にせず職員でやってはどうか。(泉町、女性、50代)
- ・陶磁器の街なので、土岐市の公務員の給料・ボーナスをその土地に合ったように減額する。陶器商もメーカーも給料減額、ボーナス無しになっている。少しでも同じにするべき。(土岐津町、女性、60代)
- ・土岐市を何とか良い街にしてほしい。人口に対して市議会議員が多すぎるのでは。(駄知町、女性、50代)
- ・市議会議員が多すぎる。(駄知町、男性、70代)
- ・公務員数を削減・給与減額・残業代カット等、市も民間並みに経営改善すべき。(土岐津町、男性、50代)
- ・どの市町村も総合計画を策定しなくてはいけなくなり、現在の形になってきたと思うが、多治見・瑞浪・土岐市どの市も同じような骨子となっていて、特に土岐市はあまり特徴のない内容のままきいているのでは。(特に福祉政策等)計画自体は市内部で話し合っているだろうが、まとめたり進めたりするのが業者指導(これありき)の内容ではないかとかねてから思っている。(駄知町、女性、50代)

- ・市役所職員数を減らし、減らしたことをきちんと発表してほしい。職員の事務方の給料を削減し、病院や警察等の給料を増額してはどうか。(土岐津町、男性、30代)
- ・市議会議員数削減。市職員数削減。土曜日も交代で窓口開放。(泉町、男性、60代)
- ・市職員の住居手当などの金額を、土岐市外に住む人より市内に住む人を優遇して、市内に定住する人を少しでも増やす。職員の土岐市に貢献しようとする気持ちも高まるのでは。(土岐津町、女性、20代)
- ・土岐と瑞浪の合併をしなければ、10万都市化が進まない。行政の経費・人件費等の節約のためにも。(駄知町、男性、70代)
- ・箱物、イベントのような発想はやめるべき。(土岐津町、男性、50代)
- ・市議会議員の話は「国が…だから」「県が…だから」という発言が多く国や県の代弁はしても市民の代弁の声は聞かれない。これでは市議会議員はいらないのでは。(泉町、男性、70代)
- ・市議会議員定数の削減が必要。無駄を省いて効率よい市政の運営。(下石町、女性、70代)
- ・自動車税の滞納に関して、督促状のハガキを2回ほど出すのみなのはどうか。集金に市職員が2,3回出向いても支払わないなら仕方がないが、しっかりやってほしい。(泉町、女性、60代)
- ・時々、支所へ行くがいつ行っても暇のようだ。支所業務は民間委託にしては。(下石町、男性、70代)
- ・議員には、漠然としたことを話さず、市民に分かりやすい言葉で説明をしてもらいたい。広報で政策を提案・結果を掲載してほしい。(肥田町、女性、40代)
- ・市議会議員数を削減するべき。(駄知町、女性、70代)
- ・市の財政も大変な時だと思うが、まずは財を作るということから始められたらどうか。何をしてもまずは金なので。金を作るにもいろいろと方法はある。24年度に市議会を傍聴した。結果、がっかりさせられた。市政と議員とのやり取りが全くない。もっと意見のやりとりをするべきだ。議員の要望は全て市民にとっては良いことばかりだったが、その内の1件でも取り上げて市政が事業として成すには財源がない。やっぱり財を作ることから頭を使い考えることだ。市職員数を100名削減してはどうか。市議会議員にその件を聞くと、国が定めた人口に合った職員の人数しかいないとのこと。それは国の意見だが、土岐市はそれより少ない人数で市政を運営してみてはどうか。100名削減で6億位浮くはず。人数が必要になれば年に少しずつ採用していけばよいこと。(駄知町、男性、70代)
- ・市議会議員を削減する。(駄知町、男性、60代)
- ・市内の所々に市有地があり時々シルバー人材センターの方が草刈りをしているが、空き地として何年もこのような状態では税金の無駄遣いではないか。市有地を活かす予定がなければ路上駐車している人たちに利用させたらどうか。(泉町、女性、80歳以上)
- ・市議会議員は月にどのくらい市のために仕事をしているのか。市議会議員の年棒はいくらか。人数が多いのでは。年金と自営業等、生活の楽な方たちが多数いる。見直して減給する必要があるのでは。介護保険、固定資産税、水道料金等々見直さなければならない事項が多々ある。(妻木町、女性、70代)
- ・縦割りではなく横のつながりがしっかりしている行政にしてもらいたい。1つの課で話が済むように。三市一町の統合がだめになった時に他の市の職員に「土岐市の職員はレベルが低いから一緒に仕事をしなくて済んで良かった」と言われるような職員が減ることを願っている。(妻木町、女性、40代)
- ・市の施設の囑託の職員等、どうやって選ばれているか不透明な部分がある気がする。(泉町、男性、70代)
- ・市役所は適正な人数が配置されているか。窓口で何人も対応されることが何度かあった。(駄知町、女性、40代)

- ・民間に委託できることは委託を進めたり(ごみ収集、図書館業務委託、水道事業等)、市議会議員の定数削減等の行政改革。(泉町、女性、50代)
- ・箱物を作り安易に指定管理者に任せるべきではない。病院、文化施設等の使用料ばかりが高くなり、市民が使用しにくくなれば何のための施設かわからなくなる。(泉町、男性、70代)
- ・税金を減税すべき。(駄知町、男性、60代)
- ・駅隣接地域に市役所の出張所を作り、夜8時前後や休日等の受付サービスを行う。仕事帰りに住民票や各種手続きの届け出ができるようにしてほしい。(駄知町、男性、80歳以上)
- ・市役所駐車場に役所とは関係のない人が駐車している。それなりの対価を支払ってもらわなければならない。(土岐津町、男性、60代)

職員対応

- ・国体の際、中央橋の蜘蛛の巣がたくさんあり、通るたびに見苦しかったのでハガキを出しましたが改善されず、他県から来た方もその様子を見たかと思うと悲しくなる。(土岐津町、女性、50代)
- ・市役所にいつ行っても明るさがない。行政全般同じだが、明確な返事がない。(鶴里町、男性、60代)
- ・以前、税務課に相談に行ったときに税金だけ払ってくれればよいと言われ相談にのってくれなかった。常に上からの目線で話をする。市民のための市役所ではないと思わせる態度だった。喫茶店で、土岐市名で領収書を切ってくれるように依頼しているところを目撃した。職員が給与と賞与の話をしていて、全体的に給与が高いと思われる。市の財政が悪い時には給与も下げる必要があるのでは。一般の事業所ならば当然に給与は下がり賞与も減額されてしまう。一般の事業所に比べ優遇されていると思う。そのことをふまえて市民のための市役所になってもらいたい。(妻木町、男性、40代)
- ・市職員が市民に対して大変サービスが良く、感じも良い。何事にも親切で気分良く用事を済ませられる。昔とは全てにおいて改善され誠に結構だ。(泉町、男性、70代)
- ・転入したとき、住民課で転入届を書いてもらって終わりではなく、該当者は年金・国保の課へ、ごみの捨て方の説明を聞くための課へ、と1枚にまとめた紙を渡すだけでもいいので、転入したときに何の手続きをすればよいか最低限の説明がほしかった。いかにも「土岐市は部外者お断り」という印象を受けた(職員の態度が設問29に反する)。(泉町、男性、30代)
- ・他市と比較して市役所の窓口の対応が悪い。笑顔がない。(妻木町、男性、40代)
- ・保育園の手続きで役所に行った際、40代中年の男性の対応が悪く気分が悪かった。(泉町、男性、30代)
- ・まじめに仕事をがんばってほしい。(土岐津町、男性、20代)
- ・以前、本人確認できるもの(保険証等)を忘れ、帰宅、出直しか…と思ったところ、実父実母名を聞かれ、確認してくれたことがあった。小さなことの改善があり、うれしかった。(泉町、女性、70代)
- ・60歳の時に病気になり2年間生活をみてもらい、相談にもものってもらい有難かった。病気も回復し現在は年金暮らしをしている。2年前にどうしても生活が出来なくなり福祉課へ相談に行くと、まるでこちらが悪いことをしたかのようにひどい口調でいろいろ言われ、その言われ方が警察より怖く1週間眠れなくなった。人間扱いではなかった。また、黙って家へ入ってきて通帳を出せと言われ、「この金はどこへ行ったのか」といろいろ調べられた。もう少し優しく思いやりのある福祉課になってもらいたい。(泉町、女性、60代)
- ・市役所の対応は、他市と比べてとても良いと思う(柔軟かつ明るい)。(泉町、女性、40代)
- ・市役所の水道課が水道点検と言って水道を勝手に止める。人の土地に勝手に入り込む。言葉使いも乱暴。社員教育が出来ていない。(下石町、女性、50代)

- ・市民課で以前、税金が高いと述べたら、「他市に住んでください」と言われた。他市からの移住者も多くいるが、この発言はどうか。市職員の給料が高額所得者となるような町は、まるで夕張市のような。土岐市の最低賃金を上げるべき。年金者の税金が所得者のそれより多い町は、市としての財政の低下を懸念する。(土岐津町、男性、60代)
- ・市役所の職員はいつ行っても親切な対応で感謝している。(駄知町、女性、30代)
- ・選挙の投票時、市職員の私語がうるさい。手当が出ていることだし、やめてもらいたい。(妻木町、女性、40代)
- ・支所の職員は時間はあるはずなので、周りを掃除しては。(肥田町、女性、70代)
- ・12時から13時の行政サービスを滞りなく対応してほしい。(妻木町、女性、40代)
- ・公務員の天下りが問題化しているが、土岐市でも幹部職員は退職すると天下っている。その職を一般人に譲るべきだ。(下石町、男性、70代)
- ・使えない人を天下りで使っている、そんな税金の無駄遣いは許せない。(泉町、女性、30代)
- ・市有地の木の伐採を依頼したが、自分でやっていいと言われた。それには限度があるためお願いしたい。(土岐津町、女性、20代)

その他

- ・市政の内容が正直なところ見えてこない。土岐市をどうしたいのか。明快な回答がほしい。(肥田町、男性、30代)
- ・市民にも使用できるFAXを市役所に置いてほしい。(土岐津町、女性、30代)
- ・市役所・保健センターの雰囲気が暗い。積極的に利用したいと思わない。(泉町、女性、30代)
- ・新市長になって土岐市は良くなっていくと思っていたが、一向に先が見えてこない。市民のかじ取りとして何をやりたいのか、どうしたいのか見えてこないのが残念。(泉町、男性、60代)
- ・市政が身近に感じられない。(泉町、男性、60代)
- ・公務員がどういった仕事をしているのかわからない。公務員は高給すぎる。土岐市は何をしているのかわからず、町の活気も感じられない。イベントがあったとしても気づかないことも多い。(下石町、女性、20代)
- ・土岐市はガソリン・住民税等は高いように思う。周辺の市町との状況を比較し、無駄をなくすようにすべき。(土岐津町、男性、40代)
- ・土岐市と瑞浪市を合併して10万人以上の都市にすれば、多治見市より上位になれるのでは。将来的にみてもメリットは大きいと思う。(泉町、男性、60代)
- ・曾木町の子供が減少してきている。このままでは若い人たちが転出してしまう。人口減少を食い止め、増加する工夫をしてほしい。どんどん高齢化し過疎化してしまう。早いうちに対応を。(曾木町、女性、40代)
- ・町内会は自治会なので市は関係ないと言われるが、市内の町内会役員の名簿を管理して広報を配布し、募金・寄付金の「ノルマ」を振り分けるといった業務を公務として行っていると聞く。人口6万余の市全体をひとまとめにとらえていくのが行政だと思う。しかし、自治の最小単位である町内会運営が健全でなければ人々は暮らしの場所には選ばないのでは。少子化対策に気を取られがちだが、今ここに暮らしている市民に「幸福感」が持てなければ若い人はここに住まないと思う。自分の子すらこの街にとどまらせることが出来なかったということを現状が示している。お祭り騒ぎや助成金のばら撒きでは一時しのぎに過ぎない。地方交付税に減額が報じられている最中、「ゆるキャラ」というアイデアには情けない思いを禁じ得ない。ふざけているのかと思う。(駄知町、女性、50代)

- ・昭和 40 年代には市職員になるには強力なコネが必要だったが、現在はどうか。(泉町、女性、60 代)
- ・核融合施設における「重水度実験」に同意する準備を進めているようだが、断固反対する。福島事故以降、多くの意見が出ているが安全性の有無が問題ではなく、人の命のかかわってくる放射能を自分たちで作ることは反対だ。放射能を生み出すエネルギー政策「重水素実験」は要らない。瑞浪にある放射性廃棄物質の埋め立て研究施設に伴う助成金を土岐市は受け取っているが、そこを期待しない市政運営をお願いしたい。また、重水素実験の賛成・反対はどのように決まったのか。市民参加の意見交換会などはあったのか。(妻木町、男性、30 代)
- ・未婚者や子供・高齢者のいない世帯は市政と言われてもほとんどかわりがないように思う。そういった世帯や個人でも土岐市民でよかったと思えるような施設等が充実すると良い(温水プールや図書館等)。(土岐津町、女性、40 代)
- ・核開発についてもいいように利用されるだけで一部の者の利益しかもたらさないようなもの、安全性も分かっていないようなものはやめるべきだ。(土岐津町、男性、50 代)
- ・土岐市には陶磁器あり、アウトレットあり、温泉あり、プラズマ研究所あり、高速・鉄道網あり、自然景観あり、要素はそろっている。足りないのはそれらを結びつける人であり、情報発信であり、謙虚な姿勢では。自営者が多く、その声が大きく、市政への影響も大きい、声なき納税者への配慮を忘れられないよう望む。(駄知町、男性、30 代)
- ・文化プラザでの催しは充実しているが、駐車場が少ない。駅裏の駐車場は使いやすい。(駄知町、女性、40 代)

(2) 活力(産業、商業、観光、農林業、雇用)

産業

- ・今後の美濃焼の発展と若い世代の定着のため、陶芸に打ち込める環境を充実させる。工房や工房兼住居を安価に提供する制度があると、もっと若い世代も住みやすくなるのでは(陶磁器業界の賃金が低い)。(土岐津町、女性、30 代)
- ・土岐市は美濃焼というとても素晴らしい強みがある。その伝統産業を中心とした町おこしをして、日本中、世界中から人を呼び入れる市にする政策をするとよいのでは。(下石町、男性、40 代)
- ・伝統工芸を守ることはとても重要なことだと思う。(駄知町、女性、30 代)
- ・国際競争力のない陶磁器産業に力を入れず、土岐市の交通利便性(IC が 2 つある)を活かし、企業誘致に積極的に取り組み活力ある町にする。(駄知町、男性、50 代)
- ・地場産業が廃れこれから先が不安。行政の力で何とかならないか。今の市政を見ると無理のように思う。市長を頭に市民全体で頑張らなければ。(土岐津町、男性、70 代)
- ・企業誘致。(妻木町、女性、70 代)、(泉町、男性、40 代)
- ・地場産業はイベント等頑張っているが、当の市民にそのがんばりや良さが十分に伝わっていない気がする。(駄知町、女性、40 代)
- ・問 32.に美濃焼以外と書いてあったが、これからも美濃焼をもっと PR していく必要があるのではないかと、若い人たちに伝えていく必要があるのではないかと。(泉町、男性、30 代)
- ・商業施設や企業の誘致に一層力を入れてほしい。JR 線で名古屋などの都市部とつながっていること、高速道路への乗り入れなどがしやすいことなど、今ある潜在的な利便性を活かし切れていないと思う。(泉町、男性、20 代)
- ・地場産業、陶磁器に力を入れ、市としてのイベントを多くし支援する。(曾木町、女性、50 代)

- ・アクアシルヴァ等の企業誘致(肥田町、男性、50代)
- ・今や陶磁器産業に頼るのではなく、大企業の誘致にもっと努めるべき。そうすれば市全体に潤って行くのでは。現状を守るのではなく、積極的に大胆な対策をするべきだ。土岐市は自然豊かで良いところだが、過疎地というイメージだ。このイメージを何とかできないものか。(泉町、女性、50代)
- ・企業を誘致してもっと産業を活性化させてほしい。(下石町、女性、50代)
- ・大企業の誘致。(泉町、男性、50代)
- ・各町に小さな陶芸村を多数つくり、若い陶芸家(を志す人)を通して特徴ある土岐市をつくる。(曾木町、男性、50代)
- ・陶器は鑑賞して楽しむものである一方、食器等として使用するものである。単に陶器の存在をアピールするのではなく、飲食物などとともにPRしては、土岐市の名物はもちろん、近隣各地、東北の名産などとのコラボなど面白いと思う。そのための他市区町村との連携を模索してはどうか。(泉町、男性、20代)
- ・活気がない(陶磁器)。大阪市を見習い、至急の対策をすべき。(泉町、男性、60代)

商業

- ・市民の買い物等が隣の町に流れる傾向がある。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・アウトレット+イオンなどの大型スーパーの誘致。土岐市を中心に東濃地域を活性化。(各務原市のように)(泉町、男性、30代)
- ・土岐市は田舎すぎて不便だ。車がなければ歩いて行ける距離に何も無い。もっと買い物、遊べる場所をたくさん作ってほしい。通勤や結婚等以外で住みたいと思えない。出来れば都会に戻りたい。(土岐津町、女性、30代)
- ・外食するのも多治見・春日井方面まで行く。飲食店やゲームセンター等若者が楽しめる店や、高齢者のために温泉施設等があれば地域発展に少しでも影響するかも。(肥田町、男性、20代)
- ・商業施設がなく買い物も多治見・瑞浪へ行ってしまう。(泉町、女性、70代)
- ・アウトレットに美濃焼を販売するところを作る。大型店を入れる。(肥田町、女性、60代)
- ・アウトレットだけしかショッピングや遊べるところがないのがさみしい。イオンや大型ショッピングセンターを作ってほしい。土岐市と言えばアウトレットだけ…のイメージを変えてほしい。(肥田町、女性、30代)
- ・アウトレット周辺の土地を活用し、住宅を増やすばかりではなく、大型商業施設等を作れば人口が増えるのでは。土岐市は大きな店がなく、瑞浪・多治見へ行かなくてはならず生活しづらく感じる。(泉町、女性、30代)
- ・イオンや電気屋のような大型スーパーが市内にあると良い。(土岐市にはないため、瑞浪・多治見・可児で買い物をすることが多い)駅から自宅まで、道幅が狭くアスファルトの状況など道路状況が悪いため、自転車に乗れない。(自転車で転んでいる学生をよく見かける。雑草も道路まで生い茂っている。)(土岐津町、女性、30代)
- ・市内で買い物をしようとしても、お店がなく品数も少なくつい市外に出かけてしまう。それでは市に税金が落ちず、ただサラリーマン・年金生活者の税金を当てにしていかなければならない。現に市に税金を納めている人の統計をしてみたらわかるはず。商売人はどのくらい税金を納めているのか。一度広報に掲載してほしい。そのため、全く活性化されない。金銭的に余裕のある老人がぶらぶら買い物に行ける場所がほしい。(泉町、女性、60代)
- ・イオンのような大型ショッピングモールが出来たらよい。(駄知町、女性、20代)

- ・商業施設や住居を増やしてほしい。(泉町、男性、20代)
- ・アウトレットのお陰で土岐市の知名度は上がったのでは。コストコやイケアの誘致も期待したい。(泉町、女性、40代)
- ・土岐市は今まで、大企業や温泉・映画館等を全て断るなど、企業誘致が出来ていなかったと聞く。せっかくアウトレットに集客があるのに他に行く場所がなく、このままでは活性化しないのでは。(泉町、女性、40代)
- ・土岐市所有の広い土地を利用して知名度のある大型商業施設(イケア・コストコ等)をもっと誘致することが出来れば活性化につながるのでは。(駄知町、女性、60代)
- ・多治見・瑞浪と比較し大型店舗がない。(土岐津町、男性、60代)
- ・土岐市に大型家電量販店がないのはなぜか。イオンを誘致してほしい。(泉町、男性、40代)
- ・商業施設が不足。多種多様の商業施設がほしい。(泉町、男性、50代)
- ・大型ショッピングセンターが出来れば、もっと土岐市が活性化するのでは。(土岐津町、女性、20代)
- ・駄知在住だが、スーパーもなくお店がないため買い物に困っている。特に高齢者は交通の便が悪く不便している。(駄知町、男性、20代)
- ・スーパーや飲食店を増やし、住みやすい街づくりをする。(土岐津町、女性、20代)
- ・アウトレットには週末など市外からの集客が多いため、それを活かし近辺に美濃焼を使用するおしゃれなカフェを作る。今、器を販売しているところは昔ならではという感じのところが多く、集客が全くないように見える。公共的な場所は堅いような古いような感じで魅力がない。こういった場所は元々器が好きな人しか寄り付かないため器を知らない人でも立ち寄りたくなる雰囲気のある場所があればよい。(泉町、男性、30代)
- ・商業がアウトレット頼みなのはさみしい。非常にもったいない。(肥田町、男性、30代)
- ・映画館を作ってほしい。(下石町、女性、20代)
- ・多治見・瑞浪と比較し、19号沿いに商業施設が少なすぎる。何か対策は考えているか。(下石町、男性、50代)
- ・商店はない(駅前を見たら誰もが分かる)。(泉町、男性、60代)
- ・市内のお店は近隣の市と比較し、行ってみたいと思える店が少ない。(泉町、女性、40代)
- ・市内で買い物をしてもらう振興策。(優待、ポイント制、特典等)(泉町、女性、50代)

観光

- ・色々な地域の、色々な人たちが来たいと思えるような場所がほしい。(土岐津町、女性、20代)
- ・現状から変えなければ活性はしないが、お金をかけるだけの事業はやめるべき。アウトレットに来る市外、県外からの客が土岐市でお金を使ってもらえるような複合型の施設を作ってはどうか。市外からは、「土岐市」というと「アウトレット」というイメージがあるそうなので、これを使わない手はない。(泉町、女性、60代)
- ・アウトレットに来る来客を、アウトレットだけで帰らせないように何か良い方法を考える。(泉町、女性、30代)
- ・道の駅などに観光案内の物が置いてあるが、期限が切れていたりボードが使用できないところや、パンフレットもないところもあるため、いろんなことをする前に一から見直しを進めると良いのでは。(泉町、女性、60代)
- ・土岐が丘の温泉施設の誘致を早急にしてほしい。アウトレット・温泉・レジャーで雇用確保・観光振興してほしい。(土岐津町、男性、40代)

- ・休日に子供が室内でも遊べる施設がほしい。アウトレット周辺にあれば、観光客も増えるのでは。アウトレットは集客数があるのにそれを生かさない手はないと思う。(肥田町、女性、30代)
- ・市内で他県他市の人がお金を使ってくれる施設を作してほしい。人が集まれば観光も変わってくるのでは。(肥田町、男性、30代)
- ・多治見のうながっぱのように土岐市を盛り上げるゆるキャラを作るべき。多治見・瑞浪と比較し、存在感が薄いように感じる。アウトレットもあるし、ゆるキャラで知名度を上げることが出来るのでは。(土岐津町、男性、10代)
- ・観光にもっと力を入れてほしい。市外に在住している人たちにも多く訪れてもらえるような街を作してほしい。例えば土岐市に現在、又は過去にみえた魅力的な人物(神戸峰雄氏や塚本快示氏)の美術館を造り、他市の方にも来てもらえるようにする。それによって地場産業の美濃焼やご当地グルメのPRにも発展させていけるのでは。(駄知町、女性、50代)
- ・市外からきてお金を使ってくれる施設や公園の充実。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・駅、商店街、アウトレット以外の通路、観光どれもが東濃地区では最悪となる気がする。土岐市に住みたくない理由は誰もが分かっていると思う。(泉町、男性、60代)
- ・美濃焼という素晴らしい産業を活かし、観光してもらえるような町づくりも大切なのでは。アウトレットのみが栄えているのが残念。(土岐津町、女性、40代)
- ・問32について、昨年3~4回土岐市を情報番組で取り上げていたが、過去の分も含めて同じ場所、同じ物品がほとんどだった。商工会・観光協会(同じ場所にあるから、同じ団体だから駄目なのか)だけに任せず、町おこし的なものを何とか作り出すべき(ゆるキャラはその後)。(駄知町、女性、50代)
- ・設問32は、どれも賛成しかねる。(土岐津町、男性、50代)
- ・アウトレットにあれだけの人が各地からきているのは市にとってもプラスになっているのか。事実を知りたい。(駄知町、女性、40代)
- ・曾木のバーデンパーク周辺に土地を提供し個人がイベントしやすい環境を作る。もみじのライトアップだけではもったいないため他にもいろいろ活用したらどうか。曾木で個人宅だが白樺の木を2本見た。土岐市のイメージアップ・バーデンパークの宣伝のため白樺の木をもっと植林してはどうか。ウォーキングコース・サイクリングコースを整備し、その後バーデンパーク温泉へ導くようにする。(バーデンパーク周辺での食事ができるよう土地の提供を行う)市外から来た人への販売と市内の人がこれこそ土岐市と土産物として持参できるような特徴ある「みやげ物」を作る。(曾木町、男性、50代)

農林業

- ・砂取りで山林を伐採したら植林をすべき。(鶴里町、女性、50代)
- ・空き地があれば農作を増やし安くて新鮮な野菜が取れるようにしてほしい。(下石町、女性、50代)

雇用

- ・土岐市最大の職場が役所では問題がある(土岐津町、男性、70代)
- ・土岐市の人口減少を食い止めるため、雇用の場を確保する。(肥田町、男性、50代)
- ・陶磁器産業では、市が発展するとは思えない。企業誘致をして地元の人働き場所を多く作る。(肥田町、不明、70代)
- ・優秀な若者が土岐市から流出しており、地元に戻りたくても仕事がないために戻れない状態になっている。市にとっては大きな損失だと思うので、積極的に企業を誘致する等、雇用の場を確保してもらいたい。(泉町、女性、30代)

- ・市政ではないが、雇用に関する意見。40歳になる息子はまじめに西可児にある大手物流センターで正社員と変わらず早出・残業・日曜出勤と会社の要請に応じて働いているが、10年経ってもパートのまま。これでは身を固めることもできない。行政で、まじめに働く若者誰もが家庭を持つことが出来るよう、パートから正社員の道へと義務付けてもらえるような制度を作ってほしい。このままの状態では先々のことを思うと不安で仕方ない。ボーナスも退職金もなく、私の死後どのように生きていくのかと思うと心配で仕方ない。(泉町、女性、60代)
- ・会社員の有給休暇を入社6か月以上になったら使用できるようにしてほしい。地域の参加も家族の介護もできない。働く場所を提供してほしい。(曾木町、女性、50代)
- ・陶芸をする者にとっては恵まれた地。作業も可能な住宅や工房等があるため、市から斡旋・紹介すればさらに若者が多く集まるのでは。物件を探している者は結構多い。(妻木町、女性、40代)
- ・前回の市長選の個人演説立ち会いに行った際、一番の要望は若い人の働く場所の確保だった。何をしてもこの件が一番だと思う。(駄知町、男性、70代)
- ・市内に雇用がない。(肥田町、男性、30代)
- ・雇用を生み出すために企業の誘致もとても重要だ。(駄知町、女性、30代)
- ・健康で働ける人に対しての雇用の提供。働くことによって、生きがい・自立・年金問題等を解決させてほしい。(駄知町、女性、50代)
- ・仕事も陶磁器関係が多く職に幅がない。新たな企業誘致に期待する。(駄知町、女性、50代)
- ・今後の就職状況が不安。静かで治安も良く住みやすいため、雇用環境が充実していたら今後も長く住みたい。(土岐津町、女性、30代)
- ・地場産業も衰退する一方で雇用がないため働く場所がなく、土岐市を離れていく人が多くなる。(泉町、女性、40代)
- ・正職員を増やさず、パート職員を増やし賃金は時給で採用してはどうか。仕事のできる人間はたくさんいると思われるためお勧めしたい。(妻木町、女性、70代)
- ・若者が最低でも2人は子供が育てられるよう、仕事場を確保し、安定した収入が得られるように企業誘致に取り組む。(曾木町、男性、50代)
- ・子育てを終えた主婦の働き口がない。雇用の充実を。(駄知町、女性、40代)
- ・雇用の場を作るために、それ専門の課を新設し本気で営業に努力してほしい。(泉町、男性、70代)
- ・陶磁器産業が落ち込み、土岐市の元気もなくなり働き口もない。大企業誘致に力を入れ、若い人たちが土岐市で働けるようにしてほしい。土岐市は立地条件が良い場所にあると思う。頑張っって明るく元気な土岐市にしてほしい。(駄知町、女性、70代)
- ・薄給で毎日10時間以上働いている市民もいる。何かしら動きを見せてほしい。(下石町、女性、20代)
- ・土岐市も衣食住が安定できるよう仕事・雇用の場を増やしアウトレットだけでなくおかげ横丁や安くておいしいものがたくさん食べられるような場所を作ってほしい。(下石町、女性、50代)
- ・転入希望者に対する近隣市町村のものも含めた求職情報や住居情報を市が主体で積極的に収集・発信しては。土岐市で暮らし土岐市で働く人はもちろん、土岐市で暮らし他市町村で働く人、他市町村で暮らし土岐市で働く人など、転入希望者の多様な居住・勤務希望に応えられるようにしては。その方が転入しやすい。(泉町、男性、20代)

(3) 育成(学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興)

学校教育

- ・小中学校の教育内容に部活動を入れ、教員による部活動の指導を復活してほしい。生涯スポーツの流れでクラブチーム化しているが、強くするスポーツではなく精神や身体を健康にするものとして教育のプロに任せたい。クラブチームはボランティア化しているためいつか責任面で運営が難しくなる。(泉町、男性、40代)
- ・子供の関係で不安に感じることもある。子供の人数の減少に伴いそれにかかわる大人も減少しているのに、校区は変わらないため、登下校や放課後の安全を見守る大人がカバーしきれていないように感じる。近所に子供がいなくて1人で下校しなければならない場合も多い。放課後教室に入っていない子は放課後に学校で遊ぶことが出来ないため、遠い家の友達と遊ぶのに車で送迎しなければならず、それができない子は一緒に遊ぶことが出来ない。何か習い事でもしないと子供同士のつながりが保てないのではないかと不安。個人情報関係で知り合いの親でないと連絡先も分からず、家もどこか知らず、親同士のつながりも知り合い限定で濃くなりバランスの悪さを感じる。どこをどう改善したらよいか指摘はできないが、地域の力がどんどん弱くなっていくのを実感している。(泉町、女性、40代)
- ・終業式・修了式に給食が出してもらえようになり助かっている。始業式にも給食を出してもらいたい。(泉町、女性、40代)
- ・市内の各小・中学校の給食費未納問題を市でしっかり考えるべき。回収方法を検討する市もある。一部未納者のために、他の者が負担になるようなことは改善すべきだ。(駄知町、女性、40代)
- ・土岐市へ引っ越してきて、今の小学生はあいさつを全くしないので驚いた。また、団地の道路の真ん中に座って遊んでいた、ボールで遊んでいた、危なくて仕方ない。小学校ではそういったことまでは指導していないのか。下石小学校の先生に伝えてもらいたい。(下石町、女性、20代)
- ・駄知小の校舎を早く改善してほしい。市内の他校との差が大きい。(駄知町、女性、40代)
- ・学校を統合した際にはスクールバスを市で運営してほしい。(曾木町、女性、50代)
- ・子供の教育やいじめの撲滅等やることは山積みだと感じている。(駄知町、女性、30代)
- ・小・中学校での体罰、いじめ等の対策の取り組み。(泉町、女性、50代)
- ・土岐市の土地柄を考えてその地にあったものをもっと工夫すべき。金がないならいなりなりに人とのふれあいの心を大切に、住みやすい街にしたいものだ。それには人の心が充実する教育をしてもらいたい。学校もいじめをなくするのはもちろん、勉強ばかりでなく農作業や人間の心の修行・生きるための知恵の教育をして楽しい毎日を送れるようにしてもらいたいものだ。(下石町、女性、50代)

生涯学習

- ・泉公民館(児童センター)の早期建設。(泉町、女性、60代)
- ・公民館利用について。多治見市は地域の公民館をどのような団体であっても快く貸し出すのに、土岐市は狭い地域の人のみの貸し出しで対応も感じも悪い(閉鎖的)。いろんな団体に利用してもらえば利益にもなるのにとっても不満だ。他の市から見ても良い町が本当の良い街づくりでは。(駄知町、男性、40代)
- ・問 29.7.の地域の世話役の件。市の様々な学習に補助という形で携わっている人がいるが、本当に補助をするに足る、皆から尊敬される人だったらよいがどう見てもこの人はどうなのか、と思われる人が携わっている。人選を考えてもらいたい。(妻木町、女性、60代)
- ・高齢者が活動できる場所をもっと近くに作ってほしい。(不明、不明、70代)

- ・2～3年前に市が開催したパソコン教室へ出席した際、たくさんのパソコンが置いてありその後も無料で使用できるとのことだったが、今はやっておらず問い合わせたら月一回程度花の木大学の方が使用してしるだけとのこと。パソコンを譲ってもらえるなら購入したいと申し出ると断られた。せっかくあるパソコンをもっと有効に利用し、教室を開いてもらいたい。需要はあると思う。(肥田町、女性、60代)
- ・近くの集会所で、高齢者の集う会があると良い。日中、体操などを教えてほしい。(肥田町、女性、70代)
- ・花の木大学の全体学習講演時に会場が冷房してあるかと思うほど寒かった。とても良い話だったが、寒すぎて早く終わってほしいとさえ感じた。良い対策を考えてほしい。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・図書館についても、近隣のそれと比較して土岐市の図書館はひどい。この時代、小さな子供たちの読書スペースがないとは驚く。教育の低下にもつながるのでは。(泉町、女性、40代)
- ・市役所の建て替えの構想と同時に市立図書館の充実を。多治見のまなびパークのように気軽に足を学び、交流しあう拠点になるように。(土岐津町、男性、70代)
- ・リタイヤした年配者が楽しめる企画を作る。活動できる場所を広報で広く知らせる。スポーツや年間を通しての勉強会等のイベントを起こす。その他、いろいろな場所を作り参加しやすくする。(曾木町、男性、50代)

スポーツ振興

- ・総合公園のパターゴルフの料金が高すぎる。プレイする人は65歳以上の人が多く、平日は安くするべき。1プレイ210円で、30分位で終わってしまう。高齢者が外で元気に過ごすためにも安くするべき。(下石町、女性、70代)
- ・市民の交流の場として利用しやすい施設を整備してほしい(スポーツを楽しんでいる人は多いはず)。土岐市にはきちんとした市民体育館がない。西部支所隣の市民センターの新設は無理でも、もう少し安心・安全なきれいな施設になると利用しやすい。床や扉など直してほしい。(妻木町、女性、30代)
- ・市民が利用できるスポーツ施設がほしい。(泉町、女性、50代)
- ・ごみ焼却の熱を利用して温水プール等を作る。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・市の活性として1年に1度の大運動会を催す。(曾木町、男性、50代)

文化振興

- ・文化プラザ開館30周年で文化的イベントが多くよいことだ。陶磁器関係への投資を減らし市民の文化レベルを上げるようなイベントを増やし今後も続けられることを切に望む。(駄知町、男性、30代)
- ・公共施設のホール使用料が高すぎる。値段を下げて文化活動等に気軽に利用できるようにすると良いのでは。(泉町、女性、40代)

その他

- ・駅にたむろする子供たちを何とかしてほしい。(泉町、女性、30代)
- ・人や企業は、社会・経済の状況によって流動しやすい存在であると思うので、そういったことに容易に左右されない普遍的な価値を持つもの、例えば自然科学や人文社会科学の研究施設の誘致などを積極的に進めてほしい。(泉町、男性、20代)
- ・教育面では、せっかくプラズマ研究で成果をあげているのだから、若い研究者が土岐市で勉強できるように施設を充実させては。大都市にも近く環境も素晴らしいので、全国にアピールできるような土岐市にしてほしい。(下石町、女性、50代)

- ・発達障害に全く知識のない人が教育に関わりふんぞり返っている。放課後教室の人たちは特にひどい。マニュアル通りにしか話せない人や、健常の子供に対しても、暴力でいうことを聞かせている。結果、子供は叩かれるので参加したからなくなった。一度くらい、保護者からのアンケートを取ってはどうか。言いたくても言えない人もいる。苦情がない=問題なし、ではない。あきらめるしかないからだ。(泉町、女性、30代)

(4)安心(保健、病院、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉、国保・年金)

保健・健診

- ・子宮頸がんワクチンの無料化。(土岐津町、男性、40代)
- ・高齢者の健康も大切だが、仕事に追われ会社も休むことが出来ず体調が悪くても我慢している40代後半～50代前半の年代にも強制的に健康診断を受けさせてほしい。(肥田町、女性、70代)
- ・土岐市に転入した時、市の健診の連絡がなくいつどこへ行ったら健診できるのかわからなかった。結局、知人に教えてもらい保健センターに連絡し受診できたのだが、他の一般の人にはハガキで連絡があることも聞き、転入者にはなぜ連絡が来ないのか不思議に思った。市の中での連携はどうなっているのか。他市では、低料金で健診できる制度も充実している。土岐市ももっと健診のサービスに力を入れてもらいたい。(泉町、女性、40代)

病院

- ・総合病院に皮膚科医を常勤にする。整形外科の拡大等。(土岐津町、男性、20代)
- ・総合病院の改革をする(医師の充実、赤字改善等)。(肥田町、男性、50代)
- ・医療環境の充実。総合病院には1,000名近く働いているらしいが、看護師には患者・その家族のことを考えずノルマをこなしているだけのような者がいるのを親の介護時に感じた。大幅経営赤字で何をしているのか。市政の失敗に思う。何が原因で赤字を生み出してきたのか、責任はどこにあったのか。(土岐津町、男性、50代)
- ・総合病院の対応が悪すぎる。近くても行く気にならない。早く民営化してほしい。(下石町、男性、50代)
- ・土岐市で子どもを産める医療整備を確立しないと若者は他市に出ていくのでは。(土岐津町、男性、60代)
- ・総合病院には設備や待遇に見合った医師を確保してほしい。県病院や東濃厚生病院にたらいまわしにするような医師は必要ない。(肥田町、男性、40代)
- ・総合病院の赤字解消と抜本対策。市長公約の実現に努力を。(下石町、女性、70代)
- ・総合病院の産科を早く復活させてほしい。子供を産み育てる環境が充実していないと人口減少は進んでいく。(泉町、女性、40代)
- ・総合病院を何とかしてほしい。(駄知町、女性、30代)
- ・産婦人科を作ってほしい。総合病院を整備し、もっと医療を充実させてほしい。(土岐津町、女性、20代)
- ・産科病院がない。総合病院ももっと医療を充実させてほしい。整形外科など、医師の人数も少なく安心できる医療体制が整っているとは思えない。(下石町、女性、50代)
- ・総合病院に安心してかかれるように医師(特に小児科)を確保してほしい。(泉町、女性、60代)
- ・総合病院の看護師の対応が悪い。(泉町、女性、50代)

- ・総合病院入院時に点滴注射を静脈ではなく上腕部に打たれたため、問いただすと「じゃあ普通の方法にしましょう」と言って打ち直された。翌朝、別の看護師にその件を話すと、「それがどうしたの。そのくらい当たり前」と言われそのままに。退院するまで主任なり師長からの話は一切なかった。この2名の看護師は特別な不良看護師だろうとは思いますが、院長・市長まで直接訴える方法を考えてほしい。(妻木町、男性、50代)
- ・総合病院の医師の評価が低く、通院する人も減っている。もっと良い医師を雇用し評価を高くし周辺地域の核となる病院にする。評判がよくなれば土岐市の経済にとっても良い方向へ行くのでは。(駄知町、男性、50代)
- ・家族を総合病院で亡くした際、看護師たちの対応に何かさびしいものを感じた。人の死に慣れてしまっているのかもしれないが、温かい対応をすべき。(泉町、女性、60代)
- ・市内に産婦人科がほしい。(土岐津町、女性、20代)
- ・市内に産婦人科がないのも改善すべき。(泉町、女性、60代)
- ・総合病院の夜間外来の対応が悪い。医療の資格を持っているとは思えないほどの対応で腹立たしかった。(駄知町、女性、30代)
- ・総合病院の借金問題について、病院は土岐市のものだ。土岐市が責任を持つこと。市の財源から借金へ年間に少しもまわっていないと思われる。(駄知町、男性、70代)
- ・市内に小児科・産婦人科の病院がほとんどないのが大きな問題だ。(泉町、女性、40代)
- ・総合病院は看護師・医師不足のためか、親切な対応が出来なくなっている。(下石町、女性、50代)
- ・多治見に比べサービスが充実していない。特に医療など。(土岐津町、男性、50代)
- ・総合病院を財政困難を理由に民営化すべきではない。小児科・産婦人科の再建を。医師集めに努力を。(泉町、女性、60代)
- ・産婦人科の開設についての取り組みはどのような進捗状況か。「来る医師がないから仕方がない」ではどうかと思う。(泉町、男性、70代)

地域福祉

- ・西窯第2・5・10地区の見回り(泉町、男性、70代)
- ・設問35について。個人情報保護の間違った解釈を考え直してほしい。(土岐津町、男性、50代)
- ・民生委員が怠慢だ。(下石町、男性、70代)
- ・民生委員の性質がよくわからない。かつての民生委員の仕事とずいぶん違っているように感じる。ボランティア活動だと解釈しているが、どのような仕事を指示されているのか、市広報等で表記されれば理解できるのだが。(泉町、女性、80歳以上)
- ・特に民生委員の方は、同一町内で仕事調査をしても無理があるのでは。他の町内の調査であれば意見をしやすいのではないか。(泉町、女性、80歳以上)
- ・問35は「本人同意」を取るのが一番望ましく、それをどうするのか深く討論してほしい。(駄知町、女性、50代)
- ・民生委員は活動地区によって格差がある。独居老人だからと甘えるつもりはないが、格差があることは確か。現在住んでいる町は、独居に対してもう少し理解してもらいたい。心配りがほしい。瑞浪の駅前にある「ときわ」のような場所が土岐市にもできたらよい。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・子供たちの登下校の見守りはありがたい。(泉町、女性、40代)

子育て支援、保育園・幼稚園

- ・多子世帯への減税。安心して仕事ができる福祉の充実。(土岐津町、男性、30代)
- ・母子家庭、父子家庭の支援にもっと力を入れるべき。子供たちがかわいそう。(肥田町、女性、40代)
- ・子育て支援や保育園・幼稚園の充実、推進と言うが、0～3歳までは母親の手で子育てができる環境づくりを充実してもらいたい。未満児を預ける親が多くなり、その子供たちのなかには情緒不安定や支援の必要な子が多いように思う。母親の愛情不足の子供が多いように見受けられる。また、母親のための講義を多数行い、良き母親を育てることができる市になってもらいたい。(妻木町、女性、50代)
- ・子育て支援はだいぶ充実してきたが、産科がないので出産をするには苦勞する。(駄知町、女性、50代)
- ・子育て支援の充実を強く希望。共働き世帯が多い中、子供を安心して預けられる場所があってほしい。料金が高いのでは意味がない。保育料の見直しも。(駄知町、女性、40代)
- ・待機児童の問題について。待機児童減とするために児童福祉法の最低基準を満たしているのであれば、単純に子供を受け入れようとする考え方に疑問を感じる。1歳児は現在4:1という保育士の配置だが、来年、再来年には5:1、6:1になることに対して大きな問題がある。1歳児の発達段階として、まだ友達(仲間)意識というものがほとんどなく、1対1でゆったりとした関わりがとても大切な時期である。しかし、「家庭的な雰囲気」を目標にしていながらも1部屋に10人～15人の子供たちが生活すれば、集団生活を送らざるを得ない。保育士に十分に抱っこされたり甘えたりしたくても、欲求が全て満たされることはない。健やかに成長するために、この時期に必要な関わりや経験しなければいけないことが、5:1、6:1では絶対にできない。また、子供が落ち着かず、1歳児特有の噛みつきやひっかきもより増えてしまうのでは、1日を安全に終えるという一番大切なことさえもできなくなってしまうのでは。待機児童を減らすことはとても大切だが、保育の質や子供たちの健やかな成長を第一に考えてもらいたい。市民の声が届けられる機会・場がもっと増えるといい。(土岐津町、女性、20代)
- ・少子化を改善すべき。若い力がなくなれば、活力がなくなる。子や孫が元気に暮らせる街を作ってもらいたい。雨降りなどの天候が悪い時に子供を遊ばせられる場所を作ってほしい。(肥田町、男性、60代)
- ・保育園2年～幼稚園1年という制度がよくわからない。瑞浪や可児は幼稚園3年保育が多い。土岐市は保育料が高すぎる。(下石町、女性、20代)
- ・もう少し子育てのしやすい街にしてほしい。このまま収入が変わらないことを思うと子供は産めない。他の街に引っ越す等考えるようになってしまう。(妻木町、女性、20代)
- ・保育施設の充実。土日も開いているような0歳児から遊べる施設を増やしてほしい。母親同士が情報交換できるような(身体測定もできる)場を年齢別で月2回作ってほしい(保育園で自由にどうぞではなく、日にちを決めてボランティアなどを何人か呼んで子育ての悩みやわからないことなどを聞ける場)。保育園だと一人しかいないため聞くに聞けない。(泉町、女性、30代)
- ・幼稚園の抽選をなくしてほしい。(土岐津町、女性、20代)
- ・少子化について。子育てにお金がかかりすぎるのも原因の一つだと思う。小さいうちはそれほどかからないが、高校、大学と進むと子供二人が大学生になった時など、年間収入の半分ほどは必要になる。あと、クラブ活動や行事に休みのたびに出なければならず親の負担が増しているのは事実。まして、役員等を引き受ければ家庭どころではなくなり嫌がられる。高校もそろそろ目的に合わせた義務教育になることを期待する。(駄知町、女性、40代)
- ・出産・育児のサポートも充実してほしい。(泉町、男性、20代)
- ・子育てしやすい町が人口増加につながるのでは。(泉町、女性、40代)

- ・一つ土岐市で誇れるのは、子供の医療の助成は大変助かっている。中学生まで助成があり、ありがたいです。年金生活をしている親世代の医療費・介護等の負担が軽くなると良い。(駄知町、女性、40代)
- ・女性が仕事・家庭の両方をきちんとできる環境づくり(病児保育等)を積極的に進めてほしい。(泉町、女性、40代)
- ・仕事と子育てが両立できるような環境がもっと充実していたら良い。学童保育や、児童館ももっと充実してほしい。土岐津小学校附属幼稚園も年少児からの受け入れを行ってほしい。(土岐津町、女性、30代)
- ・病児・病後児保育を受け入れてもらえる施設があるとよい。(泉町、女性、40代)
- ・保育園・幼稚園の充実。(土岐津町、女性、20代)
- ・子供たちが安心して遊べる場所を作ってほしい。(泉町、女性、60代)
- ・子育てしやすい環境を整備しないと若者が安心して働けない。(曾木町、男性、50代)
- ・保育園の統合計画を見直し、大規模保育園でなくもっと子供たちに目の届く保育園にすべき。そうすることが保護者への子育て支援になり、子育てしやすい市を作ることになる。(泉町、女性、60代)
- ・子供の医療に関しては感謝している。土岐津と泉の児童館がとても古いため改善してほしい。(泉町、女性、40代)
- ・子育てしやすい土岐市にしてもらいたい。(土岐津町、女性、20代)
- ・子供を大事にする街づくり。(泉町、女性、50代)
- ・子育て支援を充実してほしい。ベビーシッターを育成してほしい。(下石町、女性、30代)
- ・待機児童がゼロなのは大いに評価できる。先日、名古屋市の学習会(子育ての心理学)に参加したが、土岐市でもこういった催しはないか。集客できないか。(泉町、女性、30代)

高齢者福祉、介護保険

- ・高齢者の独り暮らしで年金で生活している。貯えも底をつきやっついていけない状態。いつまで生きられるか不安。(土岐津町、女性、60代)
- ・市内で福祉(高齢者・障がい者)の充実をすれば、市外へ出て行ってしまいう人も少なくなるし、市の財政も良くなるのでは。利用価値の少ない施設を作るより、高齢化社会に向けての対策が必要。(土岐津町、女性、40代)
- ・独居生活だがとても親切に見ていただいており、今のところ元気だ。(泉町、女性、80歳以上)
- ・70代・80代の人たちは高度成長時代で厚生年金・健康保険・税金を納めて国を支えてきた。老人が多いと言われるが、急に老人になったわけではない。体がぼろぼろになってから医療費がいる。老人施設はない。今の病院のあり方、老人施設、これらを考えてはじめて安心して暮らせる市になる。若い時には税金を納めさせられ老人になったら邪魔者扱い。それなら、施設・病院のある市に住んだ方が良いが、老人になってからではそれもできない。買い物・病院・老人施設等、すべてのお金は市で使えるように、他市からお金を使いに来てくれるような市になればよい。(土岐津町、女性、70代)
- ・1人暮らしの高齢者に支援をしてほしい。(泉町、女性、70代)
- ・土岐市民が運営する生涯老人ホームを設立し、市民だけが入居できるようにする。(駄知町、男性、60代)
- ・年に一度くらいは独居老人の実態を知るために訪問してみても。(泉町、男性、70代)
- ・高齢者が家以外で過ごすことが出来るように、デイサービスの負担料金が安くなるようにしてほしい。(泉町、女性、50代)

- ・高齢者に優しい行政になってほしい。(泉町、女性、60代)

障がい者福祉

- ・障がい者が買い物に行けるようにしてほしい。(鶴里町、女性、70代)
- ・障がい者が利用できる施設が必要では。ウェルフェアは利用しにくい。(駄知町、女性、40代)

社会福祉

- ・助成や補助の減額、雇用の少なさ等、生活困窮者がさらに苦しむようであれば誰でも市外へ出ていくのでは。(下石町、女性、30代)
- ・生活保護者への保護費の支給に関して、もっと厳重に調べて支給するべき。書類のみで決定せず、市の職員が現場に行き確認した上で決定するべき。(泉町、女性、60代)
- ・不正な生活保護受給者の罰則等、生活保護費の正しい使い方を考えるべき。本当に必要な人に支援するべき。(土岐津町、女性、60代)
- ・生活保護に対して税金を使いすぎている。国民年金者より多いのはどうか。(駄知町、男性、60代)

国民健康保険、国民年金

- ・世帯主性が強く、国民保険証が世帯主以外の加入であっても、宛名も連絡も世帯主に来る。スローガンではなく、制度の改定など簡単にできることからでもすべきでは。(泉町、女性、60代)
- ・国民保険料の値下げをすべき。(泉町、男性、70代)

その他

- ・土岐市で観光を盛んにしようとするのは無理では。アウトレット以外、目を引くものがない。観光業に税金を投入するより、市民のため住みやすい街づくりのために使った方がよい。医療・福祉・子育て支援を充実させれば、土岐市で育った子が大きくなって土岐市に残るのでは。(駄知町、女性、30代)
- ・他市を見習い福祉・医療にも力を入れてほしい。(泉町、女性、40代)

(5)安全(環境保全、ごみ処理、交通安全、防犯、消防・救急、防災)

環境保全

- ・cop10が名古屋で開催されたとき、外国からの来賓を名古屋市は藤前干潟と海上の森に案内し、都市に残された貴重な自然であると誇ったとのこと。このことから、誇れる自然環境が存在することの重要性は今日的であり、将来はさらに増すのでは。住民にとって誇れる自然環境があることは、郷土への愛着につながっていく。が、土岐市の現状は、環境基本条例すらない。隣接する瑞浪、多治見、御嵩は条例を制定し自然環境は保護すべきとしている。そんな市政の中でも土岐市の自然は素晴らしいの一言だ。シデコブシやハナノキなどの伊勢湾周囲植物が自生する湿地が点在し、その規模と種の豊富さは他の地域と比較してトップクラスである。すぐれた自然環境は土岐市の宝物だ。それを大切に保護しなくては。"緑・美濃焼・みんなの笑顔"のコピー、この緑とは豊かな自然を指しているのでは。ならば、実際に自然を守る取り組みを、今すぐしてほしい。(曾木町、女性、60代)
- ・近所で野焼きをされ困っている。きちんと行政指導してほしい。(下石町、女性、30代)
- ・よく近所で何かを燃やす臭いがする。10分くらい外に出ただけで髪も服も匂いがついてくさい。(土岐津町、女性、30代)

- ・自然豊か(動植物で貴重な物が多数ある)であることを自覚して、保護・保全をする条例を作してほしい。その豊かな自然をアピールすることも必要。(曾木町、女性、50代)

ごみ処理・リサイクル

- ・資源のリサイクルとしてプラスチックごみを資源物として分別すべき。(泉町、男性、20代)
- ・環境センターのごみの持ち込みを月に1回でも土、日にできるようにしてほしい。(鶴里町、女性、30代)
- ・土岐市のごみ袋の型の変更(マチを付ける、縛る部分をつける等)。(泉町、女性、50代)
- ・リサイクルのため資源ごみを出すのが、分別時に迷う(ペットボトルのフィルムをはがすのか、キャップについているシールはとるのか等)。広報等でよい例、悪い例のような形で定期的に知らせてほしい。また、どのようにリサイクルされ、どんなものになるのかなどの流れを写真等で教えてもらえると資源ごみを分けることに興味ももて、正しく楽しく協力できるのでは。(肥田町、女性、40代)
- ・環境センターはよく機能している。しかし、何でも指定の袋と言わずに指定以外の袋でも融通をきかせてほしい。(泉町、男性、70代)
- ・資源ごみの区分をもっと細分化し資源化に努めるべき。(泉町、女性、60代)
- ・ごみ袋を買い物袋のように取っ手を縛りやすいようなものに変えてほしい。(土岐津町、女性、20代)
- ・ごみ焼却の熱を利用して発電はできないか。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・ごみ処理場の昼休みをやめてほしい。仕事の休憩時間に行っても受け付けてもらえず困っている。交代で受付ができないものか。(泉町、女性、30代)
- ・資源ごみの日をせめて月2回にしてほしい。不燃ごみが月2回もあるが、1回でよいのでは。(土岐津町、女性、30代)
- ・資源ごみをもっと細かく細分化してほしい。他市で資源ごみとして出していたものが土岐市では可燃ごみになっている。資源として再利用できるものが可燃ごみとして処分されることに心が痛む。リサイクルすることで市の財源にはならないのか。(下石町、女性、30代)

交通安全

- ・児童の集団登校・下校時の列に車が突っ込むような痛ましい死亡事故が全国で起こっている。以前、下石陶史台へ行った際、あの細い道、急カーブの道路でひやっとした。いつ事故が起きても不思議ではないと思った。他にもたくさん危険な道路がある。事故が起きる前にぜひ危険箇所を整備して、児童を守ってもらいたい。(妻木町、男性、60代)
- ・住宅近辺の道路に夜間路上駐車が多く通行しにくいことが多々ある。一軒に2~3台の車を所有することが多くなり、そのための傾向だと思われる。(泉町、女性、80歳以上)
- ・下石の県道66号線は交通量も多くスピードも出しやすいにも関わらず歩道橋も信号も少なく、とても住みにくい。交通事故0の街づくりをしてほしい。(下石町、女性、40代)
- ・土岐市に限らないが、自動車の左折時に合図をだすのが遅すぎる。曲がる地点の30m前のはずなのに、皆30cm手前で出している。県庁から離れているためか交通ルールがなっていないようだ。市としても交通ルールを守る条例を作り、違反した者にはそれなりの罰則を設ける。(泉町、男性、30代)
- ・高齢者のドライバーが多く危険を感じたことが数回あるため、運転適性検査を厳しくしてほしい。(下石町、女性、30代)

防犯

- ・防犯・災害対策が良く、地域には熱心な世話役がいて安心して生活ができる町として口コミで伝わるような街づくりが理想。(泉町、男性、70代)
- ・昨年は近隣の市で凶悪な犯罪が発生した。治安維持や防災にも引き続き注力してほしい。(泉町、男性、20代)

消防・救急

- ・女性消防団員への補助をしてほしい。(肥田町、男性、50代)

防災

- ・災害時に備え高速道を跨ぐ道路(橋)が少なすぎる。土岐市上流にはダムがありまた、市街地の大火災時の避難は風向きで方向を定めなければならない。南北両方への避難道の確保が必要。財源が多額に必要なため、長期計画を立案して足がかりの有望なところから早急に実施する必要がある。(泉町、男性、80歳以上)
- ・現在の市役所の建物では災害時に対応できないと思われる。使えない職員をリストラし人件費を浮かせ建て替えてほしい。現在の状況では個人情報管理はできているのか不安。(妻木町、女性、40代)
- ・防災に対する市の取り組みを地区ごとに広報に掲載(具体的な避難先等)。(泉町、女性、50代)

その他

- ・人間には考える力があり、自分たちを守るために色々な考えを出しあい実行できる。が、犬や猫たちは身勝手な人間たちにいじめられたり捨てられたりする。今もよく野良猫たちを見かけるが、同じ一つの命なのに望まれない命であったり交通事故や飢え・病気等で死んでいく。保健所で殺処分される命もある。何の罪もないのかかわいそうだ。自治体や市でそういう問題に取り組んでいるところも増えているようなので、土岐市もそういった問題に目を向けてはどうか。(下石町、女性、40代)
- ・田んぼが多いので虫もたくさんいて気持ち悪い。(土岐津町、女性、30代)
- ・原発に頼らない再生エネルギーの問題に積極的に取り組み、市が積極的にアプローチできるように提起してもらいたい。この問題をこのアンケートで触れないというのはどういうものか。(土岐津町、男性、70代)
- ・核施設に頼らないエネルギーの確保として地熱・小水力発電の開発にもっと力を入れてもよいのでは。(駄知町、女性、30代)

(6) 創出(駅前整備、道路・河川、公共交通、上下水道、住環境、公園・緑地)

駅前(中心市街地)整備

- ・土岐市は活気がない。さびれている駅前、買い物に出かけるにも徒歩で行けるところがなく、電車で名古屋へ出かけた方が便利だし、一カ所で買い物等ができ便利。(泉町、女性、70代)
- ・土岐市は住みやすい街だと思う。ただ、夕方の土岐市駅前の若者の姿を見ると残念…。立ち入り禁止区域ができる前よりは良くなりましたが。(泉町、女性、40代)
- ・土岐市駅前通りの活性化を望む。土岐市！?「あっ、アウトレットのところ！あっ、ライトアップのところ！」と少しだけ認知してもらえている。(曾木町、女性、50代)

- ・どんな駅前になりたいか、まず駅前が土岐市の顔だということを認識すべき。市民に意見ばかり求めず、電車から降りてまず観光者の方々がどんな気持ちになるのか、もう少し明るく楽しいと思わせる駅前を市の若い職員に考えてもらいたい。(泉町、女性、70代)
- ・現在駅前がずいぶんさびれている。いくら障がい者のエレベーターがついていても肝心なのは駅前活性化ではないか。独身時は土岐市内で就職、今は市内在住だが以前と比較しても全く発展していない。多治見、瑞浪のように、駅前開発に着手しては、土岐市はアウトレットばかりに着手しすぎて駅前には何も目を向けていないのでは、何か一つ自慢できるものを考えてもらいたい。(駄知町、女性、40代)
- ・駅周辺をもっと明るく、駅前道路をもっと広くしてほしい。駅前商店街に活気を。(泉町、男性、30代)
- ・駅前の整備・開発が必要である。(多治見・瑞浪に比べ非常に不便)(駄知町、男性、50代)
- ・駅前のシャッター通りを何かに利用してほしい。(土岐津町、女性、70代)
- ・駅前商店街を活性化してほしい。(泉町、女性、80歳以上)
- ・駅を中心にステーションビル(飲食店・ゲームコーナー・歯科・スーパー・コンビニ・衣料品店・床屋等)のような場所を作る。(泉町、女性、60代)
- ・土岐市は多治見や瑞浪と比較して、駅前の状況やその他でも何となく元気がないように見受けられる。もう少し活気のある市政を望む。(妻木町、男性、60代)
- ・駅的环境・駅周辺的环境があまりにさみしい。駅前の開発を望む。(土岐津町、女性、20代)
- ・駅前商店街を活性化するため、空き店舗は市が主導に新規事業開業者へ積極的に貸し付けを行うべき(今まで行っていない理由として地権者の壁を述べているが、自治会を通じ協力を強く推進しその業を行う専任部署をつくるべき)。特徴ある細かい店舗が増えれば資産のある老人等が買い物をして結果土岐市に税が入る。(泉町、男性、60代)
- ・市のやることは全くわからない。土岐市には財政がなく赤字と言いながら、駅前の事業は何か。シャッター通りの駅前に税金を多く使う必要があるのか。そんな金があれば高齢者や身体の悪い人の施設を作ってほしい。駅前の住民は楽しいかもしれないが、他所の者は面白くないと思う。断固として駅前の事業は反対!!!市もよく考えて。(泉町、女性、60代)
- ・駅前の整備、商店街の充実。(駄知町、男性、60代)
- ・土岐市駅周辺の整備は何としても行ってほしい。駅は市の顔。(駄知町、男性、60代)
- ・土岐市駅前のシャッター通りを市長の選挙公約通りに実行してもらいたい。(駄知町、女性、70代)
- ・土岐市駅周辺の整備と市役所前の道路の整備を何よりも早く行うべき。(泉町、男性、40代)
- ・瑞浪・多治見・可児と比較して駅周辺の整備が遅れている。(泉町、男性、50代)
- ・土岐市駅前のシャッター街を改善し集客に尽力しなければならない。まず、土岐市の顔である駅前を、商店街を中心に考えるべき。(土岐津町、男性、60代)
- ・駅前・駅裏ともにひどい。車の渋滞、見た目も古くさい。(泉町、女性、40代)
- ・駅前の整理・整備を。町に活気を。(泉町、男性、50代)
- ・土岐市駅前をもっと明るく人間味あふれる町にしてほしい。駅の中、前にも腰掛が一つもない。中央にあるトイレはおかしい。(肥田町、女性、70代)
- ・駅前再開発希望。(泉町、男性、40代)
- ・とにかく駅前の商店街が寂れていて残念。難しい問題だと思うが、緑を増やして活用してほしい。(土岐津町、女性、40代)
- ・土岐市駅を明るいイメージにしてほしい。今は、薄暗く若者の溜まり場になっているので治安も悪く、夜は女性にとって怖いよう。多治見・瑞浪駅に対抗するくらいになってほしい。(泉町、男性、30代)

- ・土岐市駅前が寂れている。人が集う駅前商店街を作れば活気が出てくるのでは。(肥田町、女性、60代)
- ・中央通りの閑散とした状況はさみしく思う。全国的にもこういったことは珍しくはないが、何とかならないものか。高齢者社会に突入しているので、高齢者が集えて多少のお金を使えるような環境が整うと良い。(土岐津町、女性、60代)
- ・土岐市駅前は土岐市の顔。元気の源になるように工夫してほしい。さびしすぎる。(駄知町、女性、70代)
- ・現市長は知名度が低く、何をしたかも具体化されず今までにない残念さを持っている。土岐市駅前は他市から「死の街」と言われているのを知っているか。(泉町、男性、70代)
- ・土岐市駅前を含む新たな街づくりに取り組んでほしい。土岐市は何十年来、全く変化がない。商店に対する充実を求める。高齢者関連の施設を多く作る必要があるでは。(泉町、男性、50代)
- ・駅周辺の整備、特に商店街はさみしい。(肥田町、女性、60代)
- ・土岐市駅を出ても、ここは何に特徴のある町かわからない。しっかりした特徴を現す。その前提として活力ある土岐市がないと。(曾木町、男性、50代)
- ・駅前のシャッター街、何とかならないか。(泉町、女性、60代)
- ・駅前をもっときれいにしてほしい。(泉町、女性、40代)
- ・駅前について、昔日の活気を取り戻してほしい。シャッター街ではさみしい限り。自分は恵那出身で、恵那に行った際、駅前整備で整然とした街並みとなりとても活気にあふれていると思う。予算の関係もあると思うが、駅は土岐市の顔でもあるゆえに、何とかならないものか。(肥田町、女性、60代)
- ・駅前駐車場も有料とする。(土岐津町、男性、60代)
- ・駅前はさびれ他市からきた人に驚かれた。なぜ、多治見・瑞浪は大きく発展しているのに土岐市はさびれていく一方なのか。土岐市駅前は日本一のシャッター通りだ。(泉町、女性、70代)
- ・駅前のあまりのさびれかたに他市民からも土岐は終わっていると言われた。せっかくアウトレットがあるのだから駅前ももっとにぎやかになるといい。(泉町、女性、30代)
- ・駅裏ロータリー周辺の拡張・整備。(泉町、女性、60代)
- ・駅前商店街を何とかしてほしい。(泉町、女性、30代)
- ・駅前周辺にコンビニがほしい。一軒もない。土岐川から駅方面を見てもさびしいものだ。あの寂れたシャッター街を市長をはじめ市議会議員の方々はもっと頭を使って何とかすべきだ。土岐に住む者にしてみたら本当に恥ずかしい限りだ。すでに我々の知らないところで着々と準備を進めているかもしれないが、やるのが遅い。我々の心を裏切らない住みやすい土岐市を立て直して見せてほしい。自然がいっぱいの魅力あふれる土岐市を作りましょう。(土岐津町、女性、70代)
- ・駅周辺の閑散とした雰囲気はどうかならないか。(土岐津町、女性、20代)
- ・駅前をもっと改善してほしい。(泉町、女性、60代)
- ・駅周辺の車・自転車・人の流れを整理することはできないか。夕方には送迎の車や下校する高校生の自転車が多く通り危険。また、駅西の踏切は整備されたものの、機能している感じがしません。駅裏の自転車道は全く機能していない。スーパー前の道は常に路上駐車しており、ロータリー周辺は駐車場がないため、送迎の車で冬場は特にごちゃごちゃしている。観光バスが停まると他の車の通行にも支障が出ることも多々ある。停車して待てる場所を確保してほしい。(泉町、女性、40代)
- ・土岐市は陶器どころだがあまりぱっとしない街で駅前は活気がなく、皆同じ気持ちで通っていると思う。(妻木町、女性、70代)

- ・駅前整備してほしい。(泉町、男性、60代)
- ・駅前整備が必要なのでは。(肥田町、男性、50代)
- ・JR土岐市駅は非常に寂れている。外部から来た人はこれが土岐市の商店街なのかと、評価が非常に低い。駅前特区構想案でも計画し、やる気のある企業を駅前に呼び活性化させる。(駄知町、男性、50代)
- ・土岐市駅は市の窓口であるが、その駅前には舗装が荒れている。アウトレットに来た客もバスに乗るのにあまりの荒れように驚いていた。(泉町、男性、60代)
- ・駅前通りがさみしい。(泉町、女性、40代)
- ・土岐市駅前の活性化も何とかしてほしい。(泉町、女性、40代)

道路・河川

- ・土岐ICと国道21号の合流点を常々危険と感じている。国道は管轄外かと思うが、ぜひ担当課に働きかけて改善してほしい。(泉町、男性、20代)
- ・市役所前の通りは通学路であるにもかかわらず危険。整備を望む。(泉町、女性、30代)
- ・街灯をもっと増やしてほしい。自治会の仕事かもしれないが、手続きがなかなか難しいため市で簡単に取り付けることはできないか。(妻木町、女性、60代)
- ・道路の整備していないところを整備してほしい。寺などの木が生い茂っているところからの落ち葉が多すぎるため、木の伐採をするかどうにかしてもらいたい。(泉町、男性、50代)
- ・市役所前の道路を、人も歩ける道にしてほしい。(土岐津町、女性、70代)
- ・市役所前の道路は危険で子どもを一人で歩かせられない。歩道と自転車が通行できるような道にほしい。(泉町、女性、30代)
- ・旧19号の道路幅が狭すぎるので広くしてほしい。(土岐津町、男性、30代)
- ・街路樹を勝手に切れないのなら、市で剪定・落ち葉の処理などをしてもらいたい。街路樹が成長しすぎて電線にかかりそうだと連絡を入れても対処してもらえない。(泉町、女性、40代)
- ・河川を整備して昔のように釣りが出来たり、水遊びができるようにしてほしい。常に川床を清掃してほしい。(下石町、男性、70代)
- ・市や県が測量した道路や側溝に、個人の木などがはみ出している(税金の無駄遣いだ)。歩道を広げてほしい(歩道のない道に歩道を作ってほしい)。(妻木町、女性、60代)
- ・下石北の交差点を東へ100mほど行った橋の老朽化が気になる。小学生の通学路でもあり、大変歩き辛く転倒する恐れもあり、雨の日には水たまりが出来て困っている。補修工事をしてほしい。(下石町、女性、30代)
- ・道路の整備が不十分。ガードレールのない通学路が多く、なのに車の通りは多い。そんな場所が通学路となっている。親や学校だけが気を付けても環境は全く変わらない。看板を設置するより、柵を1つつけてくれる方が安心。子供の目線・視野・認識不十分さを理解すべき。(泉町、女性、30代)
- ・駅前の中央橋はバスが通行するにも関わらず異様に狭い。下石貢の交差点の渋滞解消のために、右折レーンと矢印信号を作れないか。中央道ICの出入り口が不便。立体交差にするか、矢印信号を付けて利用しやすくしようとは思わないか。市外から土岐市に来てもらおうという気持ちを感じられない。(下石町、男性、50代)
- ・河川の水量が少ないように思う。緑の護岸を多く作って水をためるような工夫を考えるべき。(駄知町、男性、70代)
- ・河川取り締まり強化。(土岐津町、男性、40代)

- ・不必要な場所の工事ばかりで、必要な場所は歩道すらない。幼稚園・保育園の近くであるにもかかわらず、道路整備していないのはなぜか。街灯が少なすぎる。(泉町、女性、20代)
- ・幹線道路の歩道整備をしてほしい。特に子供たちの通学路の安全確保を重要に考えるべき。(下石町、女性、40代)
- ・道路整備の予算をもっと増やしてほしい。(妻木町、女性、60代)
- ・高齢者だけでなく、一般の人にも歩きやすい道路の整備。(泉町、女性、50代)
- ・中央橋の車道が狭く、大型車とのすれ違いが怖い。(肥田町、女性、60代)
- ・街灯や横断歩道を作ってほしい箇所がある。(土岐津町、女性、20代)
- ・歩いて安全に行ける道路を整備してほしい。(泉町、女性、50代)
- ・街灯もたくさん作ってほしい。マンションなどがほとんどないので夜は暗すぎる。(土岐津町、女性、30代)
- ・市道美しが峰線は秋～冬にかけて落ち葉で側溝がつまり雨水が道路にあふれ土手に流れている。土砂崩れから土石流となる恐れもある。県の防災説明会で土石流は国の管理ということで明確な回答は得られなかったが、側溝の清掃管理は市の担当ということなので、もっとこまめに清掃すべき。横に除くだけでなく、取り除いて谷へまとめて投棄するようにしないと全く実施していないのと同じ。(土岐津町、男性、60代)
- ・歩道がない。何より子供を一人で外出させづらい。(土岐津町、女性、20代)
- ・市道をきれいに。(駄知町、男性、60代)
- ・10月頃、夕方「思索坂」で大型いのししと遭遇した。冬季に入りこの下から140段位の箇所まで水が染み出て朝凍っている。最低限できることをしてほしい(車道も歩行者も通れるようにする等)。(泉町、男性、30代)

公共交通

- ・もう少しバスの量を増やしてほしい。(泉町、女性、40代)
- ・JR線を利用して名古屋で仕事をし、土岐市で納税しているものが多い。土岐市は陶磁器関係のみに手厚くなりすぎている。市県外で働いている者に対して対応が悪すぎる。駅までの公共交通の充実と、JRは「ホームライナー・セントラルライナーの廃止・無料の特別快速を東海道本線と同様の本数を走らせる」よう東濃5市で要請する。(駄知町、男性、30代)
- ・市民バス運行に関して東鉄に任せっぱなしではないか。回送バスを含めて運行は市民のためとすべきではないか。JRの本数を増やす。(土岐津町、男性、60代)
- ・市民バスを増やしてほしい。(泉町、女性、70代)
- ・市民バスの本数を増やしてほしい。(泉町、女性、10代)
- ・高齢者には参加しづらいアンケートではあったが、特に希望したいことは、100円バスの全く利用できない地域にも頻繁に走らせてもらいたい。高齢者を活性させるには絶対に必要なことだ。(土岐津町、女性、80歳以上)
- ・100円バスが手を挙げればどこでも乗れるようになると良い。(泉町、女性、70代)
- ・なぜ、市民バスが泉が丘優先になっているのか。他地域は「のってこ」になっているのに。(土岐津町、女性、40代)
- ・高齢の二人暮らしのため、市民バスがなくなり買い物に行くにも不便であり交通の便が悪い。病院に行くにもタクシーを利用しなければならず、これから先が不安。(肥田町、男性、70代)
- ・駅に出るのにバスの本数が少ないので増やしてほしい。(不明、不明、70代)

- ・土岐市駅までの交通手段がなく不便。多治見駅からの交通手段もない。特にバスの本数が少なくて困っている。(下石町、男性、10代)
- ・公共交通の整備、もっと便を良くしてほしい。高齢者や学生には絶対に必要。今の状態では不便で、土岐市にいるのが嫌になる。(駄知町、女性、20代)
- ・市民バスを使いたい予約などになりこれから先困る。(土岐津町、女性、60代)
- ・JR土岐市駅に停車する電車の本数を増やし、かつセントラルライナー発車時刻の前後に1本設ける、そのように働きかけるべきだ(普通料金で乗車できるのが1時間に2本しかなく、利用者が不利益を被る)。現状、駅自体の不便さや駅から職場への交通の便がないため起こる不便さが人口流出の一因になっていると思う。(駄知町、女性、20代)
- ・各町との交通網の整備、公共交通の整備。(駄知町、男性、50代)
- ・市民バスについて、市当局は改善したと言っているが一部を除きまだ利用者(特に老人)側のニーズに合ったダイヤになっていない。コミュニティバスはもう1サイズ小型のバスにしては、特定の商業施設への直通は一部特定業者の利益になるためダイヤ作成は難しいが、今の路線の延長上に商業施設近くへ廻るダイヤを充実し老人の買い物難民をなくすべき。(泉町、男性、60代)
- ・市民バスのダイヤをJRと10分以内にするとか、もう少し市民のことを考えたダイヤ、本数、停留所にしてほしい。また、やる気のない東鉄バスに任せるなら時間通りに決まった停留所に来るようにするという最低限のことは契約するべき。わからなければ国交省に聞けばよい。(泉町、男性、30代)
- ・市内のバス交通の活用(高齢者に利用しやすく)。(泉町、男性、30代)
- ・東鉄バスが1時間に1本というのを、電車との連絡・他で不便な時が多いため、朝夕の本数をもう少し増やしてほしい。(肥田町、女性、60代)
- ・市バスの本数増加と運行時間延長。(泉町、女性、40代)
- ・JRも多治見止まりが多く不便。もう少し本数が増えるよう交渉してもらいたい。(泉町、女性、70代)
- ・バスの本数が少なくて不便。(泉町、女性、30代)
- ・仕事をしていると子供や老人の送迎ができないので市民バス等を増やしてほしい。(曾木町、女性、50代)
- ・市民バス、東鉄バスの増便・路線の拡大・料金の値下げと見直しを検討してほしい。市民バスは住宅街等も走行してもらい、100~200円とお値打ちで助かっている。(下石町、女性、30代)
- ・駄知はスーパーがなくなり、特に年配者についてはますます住みづらいところになったと感じる。車移動ができない世帯はどうしているのか。市民バスをもっと利用しやすく改善し、駅前の店に出かけられるような支援が必要では。東鉄も以前と比較し運行数が激減し利用しにくい。安い運賃で運行数が増えれば利用したい。(駄知町、女性、40代)

上下水道

- ・土岐市の人口減少の原因が水道料金が高額であることも一つの要因だと思う。改善してほしい。(下石町、女性、40代)
- ・下水道代がとにかく高い。せめて多治見市くらいにしてほしい。(泉町、男性、60代)
- ・水道代を安くしてほしい。(泉町、女性、50代)
- ・上下水道の使用料を下げる。(土岐津町、女性、20代)
- ・水道料金が高い。他地域から越してきたが、以前の地域の4倍以上する。味もかなりまずい。もう少し近いところから水を引いてくることはできないものか。(泉町、女性、20代)
- ・田舎なのに水道代、町内会費等が高くメリットが何もない。(土岐津町、女性、30代)

- ・水道料金が安い。(泉町、男性、60代)
- ・水道代が高い。(肥田町、女性、60代)
- ・水道代も他市と比較して高いため、改善してほしい。(泉町、女性、40代)
- ・水道代等の値下げをすべき。(泉町、男性、70代)

住環境・街並み

- ・街並み、市役所周辺の雑草が非常に気になる。(土岐津町、女性、70代)
- ・土岐市の中央丘陵地を整地し、公共施設(市役所庁舎等)をまとめて作ればよい町ができるのでは。(下石町、男性、60代)
- ・市営住宅の申し込み時に、保証人が土岐市在住か土岐市に隣接する市町村在住の者のみと言われ、断念するしかなかった。住宅に困っている人のための市営のはずなのに、これでは土岐市とゆかりのある人しか入居できない。この制度は間違っている。だから人口が減っていくのでは。(妻木町、男性、20代)
- ・市営住宅は公共の乗り物がない場所にあえて設置しているのか。(下石町、男性、80歳以上)
- ・町のあちこちに彫刻のようなものが設置されているがセンスが悪い。どうせ置いたら町を明るくするようなものを設置すべき。(下石町、女性、20代)
- ・町が全体的に汚い。(泉町、女性、20代)
- ・市営住宅をもっと作る。(駄知町、男性、60代)

公園・緑地

- ・大型公園等、子育てしている者にも優しい町を目指して。(肥田町、女性、30代)
- ・駅周辺・土岐川等の河川敷、公園等にベンチを設置。(泉町、男性、30代)
- ・子供が遊べる公園が少ない。川沿いが上手く使われていない。せっかくきれいになっている箇所があっても、何もアピールされておらず、自転車やスケボー・ローラースケートをしてよいのかわからない。(泉町、女性、30代)

その他

- ・光熱費が高く日々の生活がしにくい。この点から非常に住みにくい市だ。見直しを希望。都市ガスの導入等考えるべき。(泉町、女性、50代)
- ・都市基盤の整備がかなり劣っている。一步でも半歩でも継続して進めてほしい。(泉町、女性、60代)
- ・財政状況的に市レベルでできることは限られていると思うが、市民が寛いだ生活ができる自然豊かな環境を維持してほしい。高齢者が生活しやすい住環境を考えれば、市民全体にも優しい街になる。市内には多くの市有地が利用されないでロープに囲われたままになっている。安全管理上の責任があり、自由に解放できないのかもしれないが、地域の住民が利用できるようにならないか。テレビで世界の田舎町を見ていると多くの人が外に出ておしゃべりや散歩、ベンチに座ってのどかにしている様子ごく普通に存在する。土岐市がそんな暮らしのできる町になればよい。市民全体の意識がインフラ(道路・公共施設)の整備重視から脱却してほしい。利用されていない市有地の解放。(泉町、男性、30代)
- ・古くなった橋や建物等、市でできる限りの点検・補修。(泉町、女性、50代)
- ・自然豊かな地域に設置された看板広告を規制し景観の保全を進める。(泉町、男性、30代)

(7)その他

- ・郵送されてきた意識調査アンケートの内容を見てたくさんの項目がありすぎてびっくりしている。現在、高齢者の独り暮らしで内容についてどう返答したらよいかとても違和感がある。土岐市の18歳以上の2,000人に送付したというこのアンケートが私に届いたことに驚いたが、私の意見や要望だけでどうかなるわけではないように思う。(土岐津町、女性、60代)
- ・市役所の建物がとても古いせいだと思うが、トイレが何ともいえない。いろんな都合とはわかるがとても気になる。臭うようにも思う。(土岐津町、女性、70代)
- ・高齢のため、このアンケートに答えるのがめんどろ。(肥田町、女性、70代)
- ・このアンケート用紙に別添えて「市政サービスの内容(現在行っている内容についての説明)」がほしい。(駄知町、女性、20代)
- ・今後も住みよい街づくりに取り組んでほしい。(泉町、男性、30代)
- ・土岐市だけでなく国全体のことだが、健全な成人男女で結婚できない人が大勢いるのは本当にさみしいことだ。市でも色々取り組んでいるとは思いますが、何か良い案はないものか。(土岐津町、男性、70代)
- ・土岐市の街全体がいろんな意味において暗く感じる(過疎化・利便性が悪い)。少子高齢化・介護の問題・無駄な通院等、老後を元気に過ごせるように市をあげて取り組んでほしい。(駄知町、女性、50代)
- ・多治見や瑞浪と比較して活気がない。良いところはたくさんあると思うが、地味なので目立たない。土岐市の良さをわかってもらえるようにしては。(泉町、女性、40代)
- ・全体的に明るさがなく進歩・発展が他市と比較して見劣りがする。(泉町、男性、70代)
- ・代筆:長男嫁・他県在住、途中まで記入したが母親が回答できる状態にないため無回答とする。(妻木町、女性、80歳以上)
- ・年齢が89歳にて質問にも充分答えられない。(泉町、女性、80歳以上)
- ・1人暮らしの老人にこのアンケートはとても分かりにくく負担だ。どういう人に送付しているか、わかっているのか不思議に思う。(肥田町、女性、80歳以上)
- ・健康に気を付け、なるべく迷惑をかけないように頑張っ生きていきたい。(曾木町、女性、60代)
- ・アウトレット以外、土岐市全体が暗いイメージ。もう少し明るいイメージにすることが必要。(妻木町、女性、20代)
- ・このアンケートがすごくわかりづらい。(駄知町、女性、20代)
- ・どのような制度があり、どのように取り組みがされているのか詳しいことが実際わからないため、このアンケートに答えることが難しい。(泉町、女性、50代)
- ・土岐市に住んで30年になるが、本当に発展していない。出来ることなら他県に移りたい。良いところがない。物価は高いし、賃金は安い。(泉町、女性、50代)
- ・土岐市はとても良いところだ。観光に良いところではないが、災害がないというのは一番では。だから、東北の災害地方への支援をもっともっと続けるべき。協力する。(泉町、女性、70代)
- ・事情があって独身だが、土岐市民として平等に行政サービスを受けさせてもらい感謝している。(土岐津町、女性、50代)
- ・問9は満足度で丸を付けるものではない。問16わからないことが多い。問28行政サービスの過剰・不要なサービスは何か、最低限のサービスが何なのかわからないので丸を付けようがない。(駄知町、女性、40代)
- ・広報を見る程度なのであまりよくわからない。(泉町、女性、60代)

- ・選挙時に加藤市長を時間も忘れ応援した。加藤市長に期待しようと友人たちに語り合ったものだ。災害や次から次へと世の中に異変があり、その中でも土岐市は今のところ何事もなく住みやすい町で助かっている。有難い。(妻木町、女性、70代)
- ・土岐市は環境も良く住みやすい町だと思う。何年たっても住みやすい町であってほしい。(土岐津町、女性、30代)
- ・不便。保育園もなくなり、今後どんどん人口が減少していくのが心配。生活しやすい街づくりをしてほしい。(曾木町、女性、10代)
- ・不正にお金を使っている人を罰するべき。(泉町、女性、10代)
- ・アンケートを時々行っているがわかりにくく意見が言えない。一考を希望する。(土岐津町、女性、80歳以上)
- ・40～50歳代で結婚の経験がない男女がいるとのこと。ぜひ、取り持ち上手な仲人さんの養成に根気よく力を入れ数多くの職人(仲人)を作ってほしい。(泉町、男性、70代)
- ・土岐市は元気がないので元気な町づくりに徹する。アウトレットから土岐市の街へも目を向けてもらえるように働きかける。元気な土岐市にすることにより、未来は明るい。(土岐津町、男性、60代)
- ・教師や医師も学歴だけでなく、もっと豊かな心を持っている人材を増やすべき。(下石町、女性、50代)
- ・活気ある暮らしやすい街づくりも重要。(駄知町、女性、30代)
- ・民間も厳しい時代を一生懸命生きている。行政も大変かと思うが、夢の持てる暮らしができるようさらに頑張ってもらいたい。(駄知町、女性、30代)
- ・市長が変わり何が変化したか、改善されたか、何に力を入れているのか見えてこない。(駄知町、女性、40代)

土岐市市民意識調査

調査へのご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

土岐市では、まちづくりを進めていくための指針となる第五次土岐市総合計画が平成18年度からスタートし、総合計画に基づいて市政運営を行っています。

この調査は、市民の皆様のニーズや市の施策の満足度等をお伺いし、計画の進捗状況を把握するとともに、市民の皆様の声を今後の市政へ活かしていくために、18歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した2,000人を対象に行うものです。回答は無記名で、集計結果は公表させていただく予定ですが、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成25年1月

土岐市長 加藤 靖也

ご記入に当たってのお願い

この調査に、封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答えください。

ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に 印をつけてください。

この調査票は、1月31日(木)までにご記入のうえ、同封しました返信用の封筒に入れ、ご投函ください(切手は不要です)。

ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先>

土岐市役所 総務部 総合政策課 担当：熊崎、古田

(電話) 54 - 1111 内線213 (Eメール) sosei@city.toki.lg.jp

***** ここからが設問です *****

1 あなたのプロフィールについて

設問1 お住まいの地区は？

<1つだけに 印>

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 土岐津 | 2. 下石 | 3. 妻木 | 4. 鶴里 |
| 5. 曾木 | 6. 駄知 | 7. 肥田 | 8. 泉 |

設問2 あなたの性別は？

<1つだけに 印>

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

設問3 あなたの年齢は？

< 1つだけに 印 >

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80歳以上 |

設問4 土岐市に住んで、通算何年になりますか？

< 1つだけに 印 >

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～4年 | 3. 5～9年 |
| 4. 10～14年 | 5. 15～19年 | 6. 20年以上 |

設問5 土岐市にはいつから住んでいますか？

< 1つだけに 印 >

- | |
|-------------------------------|
| 1. 生まれてからずっと |
| 2. 他市区町村で生まれ、土岐市に転入 |
| 3. 土岐市で生まれ、他市区町村へ転出した後、土岐市に転入 |

設問6 設問5で2・3を選択された方におたずねします。土岐市に転入した理由は何ですか？

< 1つだけに 印 >

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 仕事の都合（就職、転勤、退職等） | 2. 就学の都合 |
| 3. 住宅の取得 | 4. 住宅（賃貸アパート等）の住み替え |
| 5. 結婚・離婚 | 6. 親の介護など家庭の都合 |
| 7. その他（具体的に | ） |

設問7 あなたの職業は？

< 1つだけに 印 >

- | | | |
|--------------------|-------------|---|
| 1. 会社員等（公務員・教員を含む） | 2. 自営業 | |
| 3. アルバイト・パート・内職 | 4. 学生 | |
| 5. 専業主婦（夫） | 6. 求職中 | |
| 7. 無職（年金生活者を含む） | 8. その他（具体的に | ） |

設問8 設問7で1～3を選択された方におたずねします。お仕事は陶磁器関連事業ですか？

< 1つだけに 印 >

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 陶磁器関連である | 2. 陶磁器関連ではない |
|-------------|--------------|

2 市政に対する満足度と今後への期待

設問9 以下の項目について、回答例にならって、満足度と重要度をお答えください。

すべての項目について、 『満足度』の1～5の中から1つに 印 『重要度』の1～5の中から1つに 印 をつけてください。		満足度					重要度				
		満足	やや満足	いどえちならいとも	やや不満	不満	重要	やや重要	いどえちならいとも	であまいるり重要	重要でない
(回答例) に関する対策		5	④	3	2	1	5	4	3	②	1
市民協働・行政運営	1.市政に関する市民参加の機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2.市民団体やNPO ¹ などの活発化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3.市政に関する情報提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4.男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5.健全な財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6.行政改革の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7.広域行政・広域連携の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	8.在住外国人との交流や国際交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
産業振興	9.陶磁器産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	10.陶磁器産業以外の産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	11.商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	12.観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	13.農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	14.林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	15.雇用環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
教育・文化	16.学校教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	17.生涯学習の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	18.スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	19.文化・芸術活動の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
保健・医療・福祉	20.保健・健診サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	21.医療機関(病院)の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	22.地域活動や福祉活動に対する市の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	23.子育て支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

すべての項目について、 『満足度』の1～5の中から1つに 『重要度』の1～5の中から1つに をつけてください。 印 印		満足度					重要度				
		満足	やや満足	いどえちならいとも	やや不満	不満	重要	やや重要	いどえちならいとも	であまいるり重要	重要でない
保健・医療・福祉	24.保育園・幼稚園の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	25.高齢者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	26.介護サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	27.障がい者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	28.要支援者 ² に対する支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
環境・安全・防災対策	29.環境保全の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	30.大気汚染・騒音・水質など公害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	31.ごみ処理対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	32.資源のリサイクル対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	33.交通安全対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	34.防犯・治安対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	35.消防体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	36.救急医療体制（夜間・休日・救急）の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37.地震・台風などの災害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
基盤整備	38.土岐市駅周辺の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	39.幹線道路の整備（国道・県道など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	40.身近な生活道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	41.河川の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	42.公共交通網の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	43.上水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	44.下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	45.住環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	46.街並み・景観の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	47.公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
市政を総合的に評価した満足度		5	4	3	2	1					

1 NPO ... 営利を目的としない民間の組織や団体のこと

2 要支援者 ... ひとり親家庭や低所得者などの社会的支援が必要な者

設問10 設問9の1～47の項目のうち、今後特に力を入れて取り組んでもらいたいと思う項目の番号を記入してください。 < 3つまで記入 >

--	--	--

設問11 市政に対する満足度は、5年前（5年以内に転入された方は転入当時）と比較してどうなりましたか？ < 1つだけに 印 >

1. 高くなった	2. やや高くなった
3. どちらともいえない	4. やや低くなった
5. 低くなった	

3 まちの暮らしやすさについて

設問12 総合的に見て、土岐市は暮らしやすいまちですか？ < 1つだけに 印 >

1. 暮らしやすい	2. ある程度暮らしやすい
3. どちらともいえない	4. あまり暮らしやすいとはいえない
5. 暮らしにくい	

設問13 今後も土岐市で暮らしたいですか？ < 1つだけに 印 >

1. ずっと土岐市で暮らしたい（いったん市外に出ても土岐市に戻ってきたい場合を含む）
2. 市外で暮らしたい
3. どちらともいえない

設問14 住みたいまちはどんなまちですか？ < 3つまでに 印 >

1. 自然環境に恵まれたまち	2. 静かな住環境のまち
3. 医療・福祉が整ったまち	4. 防災対策が整ったまち
5. 犯罪や事故が少ないまち	6. 学習・スポーツ・文化活動が盛んなまち
7. 産業が盛んなまち	8. 交通の便がよいまち
9. 買物・飲食・レジャーに便利なまち	10. 働きがいのある仕事が多いまち
11. 子育てのしやすいまち	12. その他（具体的に ）

4 男女共同参画について

設問15 あなたの家族構成は？

< 1つだけに 印 >

1. 単身世帯	2. 夫婦のみの世帯	3. 夫婦と子どもの世帯
4. 三世帯同居世帯	5. その他（具体的に _____）	

設問16 次の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか？

< 項目ごとに1つだけに 印 >

分野	男性が 優遇さ れる	女性が 優遇さ れる	平等 である	女性が 優遇さ れる	男性が 優遇さ れる	わからない
1. 家庭生活	1	2	3	4	5	6
2. 学校教育	1	2	3	4	5	6
3. 職場	1	2	3	4	5	6
4. 地域活動	1	2	3	4	5	6
5. 法律や制度	1	2	3	4	5	6
6. 社会通念やしきたり、慣習	1	2	3	4	5	6
7. 政治の場	1	2	3	4	5	6
8. 社会全体	1	2	3	4	5	6

設問17 あなたの生活全般について、現在の状況と理想の状況にあてはまるものはどれですか。

【現在の状況】

< 1つだけに 印 >

1. 家庭生活や地域活動よりも仕事を優先している 2. 家庭生活や地域活動と仕事を両立させている 3. 家庭生活や地域活動を優先している 4. わからない

【理想の状況】

< 1つだけに 印 >

1. 家庭生活や地域活動よりも仕事を優先したい 2. 家庭生活や地域活動と仕事を両立させたい 3. 家庭生活や地域活動を優先したい 4. わからない

設問 18 結婚、家庭等についてどう思いますか？

< 項目ごとに1つだけに 印 >

項目	賛成	いど えち ばら 賛か 成と	いど えち なら いと も	いど えち ばら 反か 対と	反 対
1. 結婚は個人の自由なので、してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
2. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
3. 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
4. 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5

設問 19 男女がともに家庭生活や地域活動に参加していくためにはどうしたら良いと思いま
すか？

< 2つまでに 印 >

<p>1. 家庭で、家庭生活の役割分担や地域活動について話し合う</p> <p>2. 勤務時間の弾力化・短縮、育児・介護休暇の普及など社会全体の仕組みを改める</p> <p>3. 家庭で、男女の区別なく家庭生活や地域活動に参加することの必要性を教える</p> <p>4. 学校で、男女の区別なく家庭生活や地域活動に参加することの必要性を教える</p> <p>5. 男性に対して、家事講座、情報提供、相談窓口などの支援施策を進める</p> <p>6. その他（具体的に _____ ）</p>

設問 20 男女共同参画社会の実現に向けて、必要と思われる取り組みは何ですか？

< 2つまでに 印 >

<p>1. 学校教育や社会教育、生涯学習の場で男女平等に関する学習の機会を増やす</p> <p>2. 企業や事業主への啓発活動と、女性の就業を支援する</p> <p>3. 保育や介護サービスを促進し、福祉・介護施設を充実させる</p> <p>4. 地域で活動する団体の支援を行う</p> <p>5. 講演会の開催や、広報誌・パンフレットなどを作成し、積極的な意識啓発を行う</p> <p>6. 男女共同参画推進のための情報提供や交流の場、相談窓口の機能を充実させる</p> <p>7. 各種審議会など女性を政策決定の場に積極的に参画させる</p> <p>8. 男女共同参画社会を積極的に推進するための条例を制定する</p> <p>9. その他（具体的に _____ ）</p>

5 公共交通について

設問 2 1 市民バスを利用したことがありますか。また、どのくらいの頻度で市民バスを利用していますか。 <1つだけに 印、()内に数字>

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがない | 2. 週 () 回程度 |
| 3. 月 () 回程度 | 4. 年 () 回程度 |
| 5. ほとんど利用しない | |

設問 2 2 設問 2 1 で 1 または 5 を選択された方におたずねします。普段の生活（通勤、買い物、通院等）の移動には、主にどのような交通手段を利用していますか。 <1つだけに 印>

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 自家用車 | 2. 家族、知人等による送迎 |
| 3. タクシー | 4. 東鉄バス |
| 5. 徒歩・自転車 | 6. その他（具体的に) |

設問 2 3 JR土岐市駅を利用したことがありますか。また、どのくらいの頻度でJR土岐市駅を利用していますか。 <1つだけに 印、()内に数字>

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがない | 2. 週 () 回程度 |
| 3. 月 () 回程度 | 4. 年 () 回程度 |
| 5. ほとんど利用しない | |

設問 2 4 設問 2 3 で 2 ~ 4 を選択された方におたずねします。ご自宅からJR土岐市駅までの移動には、主にどのような交通手段を利用していますか。 <1つだけに 印>

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 自家用車 | 2. 家族、知人等による送迎 |
| 3. タクシー | 4. 東鉄バス |
| 5. 徒歩・自転車 | 6. 市民バス |
| 7. その他（具体的に) | |

6 個別の施策・項目について

設問 2 5 市政に関する情報やイベント等の情報を何から得ていますか？

<あてはまるものに 印>

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 広報とき | 2. 市のホームページ |
| 3. 町内回覧 | 4. 市役所に直接問い合わせる |
| 5. 新聞やテレビ | 6. その他（具体的に) |

設問 2 6 市政に市民の意見が反映されていると思いますか？

< 1 つだけに 印 >

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. よく反映されている | 2. ある程度反映されている |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり反映されていない |
| 5. まったく反映されていない | |

設問 2 7 市民の意見を市政に反映させるためには、どんな取り組みが必要だと思いますか？

< 2 つまでに 印 >

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1. 特に取り組む必要はない | |
| 2. 市の計画策定などの際に市民が参加できる機会を充実する | |
| 3. アンケート調査や懇談会など意見を聞く機会を増やす | |
| 4. インターネットや電子メールなど自宅から意見を提出できる機会を充実する | |
| 5. 自治会やNPOなどの市民団体と市の連携を強化する | |
| 6. 市民が政策や事業を提案し、事業を行えるような制度をつくる | |
| 7. その他（具体的に | ） |

設問 2 8 今後市の財政状況は、少子高齢化の進展など社会情勢の変化により、厳しさを増していくことが予想されます。行政サービスと市民負担のあり方について、どのように思いますか？

< 1 つだけに 印 >

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 現状より多くのサービスを受けたいので、負担がかなり増えてもよい | |
| 2. 現状のサービスを維持するため、ある程度負担が増えても仕方がない | |
| 3. ある程度サービスが低下しても、負担は現状のままがよい | |
| 4. 最低限のサービスが受けられればよいので、負担を減らして欲しい | |
| 5. 過剰・不要なサービスを廃止し、負担を減らして欲しい | |
| 過剰・不要なサービスの内容（具体的に | ） |

設問 2 9 土岐市は人口が減少していますが、人口増加のために市が取り組むべき施策は何だと思いますか？

< 2 つまでに 印 >

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 特に取り組む必要はない | 2. 税金・公共料金の減額 |
| 3. 医療・福祉の助成等の充実 | 4. 不妊治療助成・出産奨励金等の出産支援 |
| 5. 住宅取得等の支援・助成 | 6. 空き家情報の提供 |
| 7. 移住者のための地域の世話役 ⁴ の育成 | 8. 公共交通の充実 |
| 9. 企業誘致等による雇用の場の確保 | 10. ブロードバンド ⁵ 環境の充実 |
| 11. その他（具体的に | ） |

4 地域の世話役 ... 移住希望者が安心して移住でき、地域に溶け込んだ生活ができるようアドバイス等を行う人

5 ブロードバンド ... 光通信等による、高速・大容量のデータ通信が実現するネットワークサービス

設問30 地球温暖化防止のための取り組みを行っていますか？ <あてはまるものに 印>

1. 特に取り組んでいない
2. 冷暖房の適切な温度設定(夏28 以上、冬20 以下)、こまめな消灯など節電に努めている
3. 蛇口をこまめに閉めるなど節水に努めている
4. 食材を全部使い切る、中火を上手に使うなどエコクッキングを実践している
5. マイバッグ、マイボトルを持ち歩いている
6. ふんわりアクセルやアイドリングストップなどエコドライブを実践している
7. 買い替えの際にはエコカーや省エネ家電など省エネ性の優れたものを選んで
8. 太陽光発電や高効率給湯器³の導入など住宅のエコ化に取り組んでいる(検討中も含む)
9. その他(具体的に)

3 高効率給湯器 ... エコキュートやエコジョーズ、エコウィルなどエネルギーの消費効率に優れた給湯器

設問31 交通安全に関する取り組みとしてどのようなことを実施していますか？

<あてはまるものに 印>

1. 特に取り組んでいない
2. 家族、職場、地域等で交通安全について話し合っている
3. 夕暮れや夜間に歩行・自転車利用する際には、明るい服装や反射材を着用している
4. 後部座席のシートベルト、子どものチャイルドシート等の着用を徹底している
5. 飲酒運転をしないだけでなく、させないことも徹底している
6. 歩行・自転車利用・運転しながら携帯電話を使用しないようにしている
7. その他(具体的に)

設問32 美濃焼以外で土岐市の観光及び観光PRのために必要なものは、何だと思いませんか。

<2つまでに 印>

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. ゆるキャラ | 2. 観光大使 |
| 3. ご当地グルメ | 4. 大規模なイベント |
| 5. 観光案内施設 | 6. その他(具体的に) |

設問33 平成23年6月1日より、寝室及び階段（寝室が2階以上の階にある場合）に住宅用火災警報器の設置が義務付けられましたが、現在お住まいの住宅に、住宅用火災警報器を設置していますか？

< 1つだけに 印 >

1. 全てに設置している 2. 一部設置している 3. 設置していない

設問34 設問33で3を選択された方におたずねします。住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか？

< あてはまるものに 印 >

1. 義務化されていることを知らなかった 2. 設置費用負担が大きい
3. 自分で設置することが難しい 4. 購入方法がわからない
5. 借家のため設置してよいのかわからない 6. その他（具体的に ）

設問35 災害時や平常時における要援護者⁶の支援・見守りなどのため、自治会役員や民生児童委員等に対し、本人の同意の有無にかかわらず、市が要援護者情報を提供することについて、どう思いますか。

< 1つだけに 印 >

1. 自治会役員と民生児童委員に加え、地域を支える団体等（消防団や老人クラブ等）にも情報提供するべきである
2. 自治会役員と民生児童委員に限定して情報提供するべきである
3. 自治会役員に限定して情報提供するべきである
4. 民生児童委員に限定して情報提供するべきである
5. 本人が同意した場合に、同意した団体等に限定して情報提供するべきである
6. 個人情報のため、一切情報提供するべきではない
7. その他（ ）

6 要援護者 ... 独居高齢者・高齢者のみの世帯・要介護3以上の者、身体障害者1級または2級の者・90歳以上の高齢者等

7 市政について自由な意見をお聞かせください

設問36 市政について、意見や提言、改善すべき点等がありましたら、ご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

不足する場合は裏面にもご記入ください。

